

第2章 調査結果

本報告書の分析では、「特に理由はない」「分からない」「該当するものはない」など、いずれにも当てはまらない場合に選択する選択肢及び「その他」は分析対象外とし、必要に応じて割合のみを補足的に確認した。

調査結果まとめ

(1) 広義の学びに対する意識

男女ともに「学びたいという意欲は少なからずみられる一方、実際の学習経験（行動）は限定的」という傾向が確認された。

- **能力向上につながる学び直しへの意欲は若い年代ほど高い**：人生をより良くするために「新しいことを身につけたい」・「いまの自分の能力やスキルを更に磨きたい」という気持ちは、男女ともに若い年代ほど高い。(P22・Q21)
- **学びへの意欲は上の年代ほど高い**：学びを6つの項目【仕事や職業キャリア／家庭や日常生活／文化・教養／地域活動や社会貢献活動／健康／その他】に分類し、各項目について「学びたいと思うか」を5段階で尋ねた。その結果、いずれか1項目以上で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者（＝広義の学びへの意欲がある層）の割合は、男女とも6～7割程度で、上の年代ほど高い。特に女性60代で割合が高い。(P24・Q22)
- **学びの関心領域は「健康」が中心**：学びたい項目は男女ともに「健康」が最上位（5割程度）。学びの経験でも男女ともに同項目が相対的に高い。(P23・Q22、P25・Q23)
- **意欲と行動の乖離**：学びへの意欲は男女ともに約7割と相当程度みられる一方、過去1年以内に学びの経験がある者は男女とも3割程度にとどまり、全体として「意欲はあるが学んでいない」割合が高い。特に40代から60代女性で意欲との差が大きい。(P24・Q22、P26・Q23)
- **学びの場所・形態は独学中心**：学びの場所・形態では、男女ともに独学の割合が最も高く、特に「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」による学習が高い。男性20代で「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」の割合が約14%とやや高めになっていることが特徴的で、女性を含む他の性・年代と比べて高く、女性20代と比較すると2倍以上。(P27、28・Q24)
- **学びの効果**：男女ともに、約9割が何かしらの学びの効果を感じている。女性は「日々の暮らしに役に立った」「興味・関心の幅が広がった」「心身の健康につながった」、男性は「興味・関心の幅が広がった」「教養が深まった」「日々の暮らしに役に立った」が上位。(P29・Q25)
- **学びの阻害要因は費用・時間・選択困難**：学んでいない理由は「費用」「時間」「何を学ぶべきか分からない」が中心。上位理由は女性は「費用」、男性は「仕事多忙による時間不足」。(P31・Q26)
- **今後の学びに必要なことは「情報」と「活用の場」**：男女ともに「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」と「学んだことをいかせる場所」が上位。(P34・Q27)
- **学ぶことへの意識**：男女ともに「費用をかけたくない」意識が強い。加えて、女性は年齢を問わない能力向上、男性は社会変化に対応するために学び続ける意識が強い。(P37・Q28)
- **学びに関する配偶者の姿勢**：男女ともに「支援・理解あり」と「否定的・無関心・分からない」の割合は概ね均衡している。(P38・Q29)

(2) デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識

デジタルツールの習得意向が一定程度みられる一方で、習得意向のない層も大きいという傾向が男女ともに確認された。※ 本調査は、インターネット・モニターを対象とした調査であるため、インターネットリテラシーの高い層に偏るなどのバイアスが生じている可能性がある。

- **習得意向は「生活の利便」と「仕事・キャリア」の両面**：身につけたい理由は「快適で便利な生活を送るため」が上位である一方、仕事に関する理由（「現在の仕事を続けるため」「キャリアアップ」「転職」等）も一定割合みられる。また、「特に身につけたいとは思わない」も男女とも4割前後と高い。(P52・Q30)
- **保有スキルは「生活者としての利用」が中心**：現在のスキルは「スマホでの電子決済・オンラインショッピング」「SNS閲覧」など、日常生活で使う領域が男女ともに上位を占める。(P53・Q31)
- **今後の習得意向もトップは生活スキル、次点は仕事関連だが男女で志向に差**：身につけたいスキルの最多は「電子決済・オンラインショッピング」。続いて女性が「オフィス系ソフト・実践的PCスキル」、男性が「生成AIを活用した業務効率化」で、志向に差がみられる。(P54・Q32)
- **非習得意向の理由は「理由なし／必要性なし」が中心**：身につけたいと思わない理由は「特に理由はない」「必要性を感じない」が主要で、特に男性で「特に理由はない」が高い。(P55・Q33)

調査結果まとめ

(3) 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

仕事・職業キャリアに関する学びは、就業状態や性別によって目的・学習内容に違いがみられ、費用・時間・情報不足等が学びの障壁になっている傾向が確認された。

- **無業者の就業意欲**：働く意欲がある層では、女性は「パート・アルバイト」希望が相対的に高く、男性は「正社員」希望が相対的に高い。性・年代により希望形態に差がみられる。(P57・Q34)
- **仕事観**：男女とも「ワーク・ライフ・バランス重視」が最も高いが、女性の方が高い。(P58・Q35)
- **学びの形態**：仕事・キャリアに関する自発的な学びは男女ともに「独学」が中心で、書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索、動画配信サイト等が高い。会社等の指示による学びでは、男女ともに社内教育やOJT等も活用される。(P59、61・Q36)
- **学びの内容（男女差）**：学びの内容には男女差がみられ、女性は「対人スキル、コミュニケーション」「語学」「教養・ビジネスマナー」等が相対的に高く、男性は「IT関連、デジタルツール」「経済、社会、政治、歴史」等が相対的に高い。(P64・Q37)
- **学習投入（時間・費用）**：1か月あたりの学習時間・費用には幅がある。学習時間は「4時間未満」が最多で、女性の方が「4時間未満」の割合が高い。また、次に多く挙げられたのは、「16時間以上」で、男女とも2割を超えている。費用は「0円」が最多で、女性の方が「0円」の割合が高い。(P67・Q38、P68・Q39)
- **学習環境（コミュニティ）**：男女ともに正規雇用者は「積極的な社外の人との付き合い」「自主的な勉強会」「職場の学びの風土」等が相対的に高い。女性非正規雇用者・その他有業者・無業者は「学び合う仲間・友人」が相対的に高い。なお、男女とも全体で見ると、「該当するものはない」との回答が4～5割に上っている。(P69、71・Q40)
- **学びの目的（就業状態・雇用形態別）**：男女ともに有業者は「現在の仕事に必要な知識・技能の習得」が高い。また、男女ともに無業者は、今後の仕事への準備や再就職に向けた準備を目的とする傾向がある。(P74・Q41)
- **学びの効果（仕事・キャリア）**：過去5年間の学びについて、「現在の仕事やキャリア、転職、再就職などにいかせていると思うか」を4段階で尋ねたところ、「いかせている」「どちらかといえばいかせている」の計（＝学びの主観的な効果を感じている層）の割合は男女とも6割以上で、男性の方が高い。また、「将来的に、仕事や昇給・昇進・昇格、転職、独立等のキャリアアップにつながると思うか」についても4段階で尋ねたところ、「つながると思う」「どちらかといえばつながると思う」の計（＝学びの効果を期待している層）は、男女とも約7割。(P75・Q42、P76・Q43)
- **学びの障壁と今後学ぶために必要なこと**：障壁として男女ともに「金銭的余裕がない」「時間がない」「収入アップにつながらない」「何を学んでいいかわからない」等が挙げられる。今後学ぶために必要なこととしては男女ともに「経済的支援」「学びが収入アップやキャリアアップにつながること」「学びに関する情報」「学びの機会」等が上位に挙げられる。(P77・Q44、P83・Q46)
- **就業先の支援**：男女とも非正規雇用よりも正規雇用の方が様々な取組・支援がある。(P82・Q45)
- **仕事や働き方、職業キャリアの満足度**：仕事や働き方、職業キャリアの満足度は、男女ともにいずれの項目も2～4割程度に留まる。(P86・Q47)
- **今後学びたいスキル（男女差）**：今後学びたい領域は男女差がみられ、女性は「語学」「心理学、カウンセリング」等、男性は「IT関連、デジタル」「経済、社会、政治、歴史」等が相対的に高い。(P87・Q48)

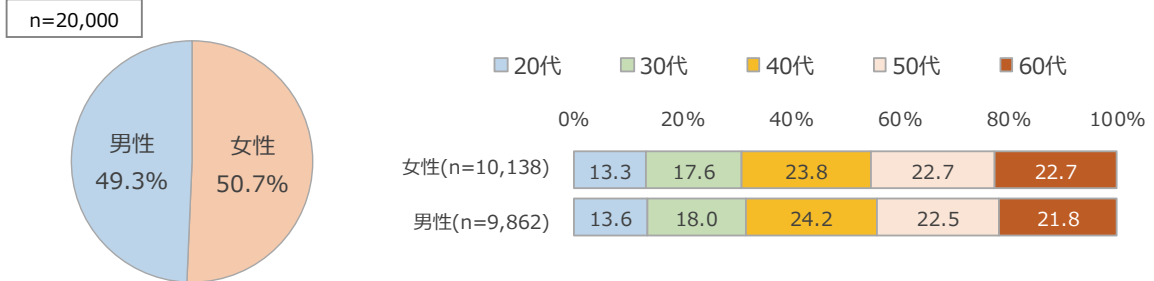
(4) 役割や居場所に対する意識

- 役割・居場所があると感じている割合は、男性が女性より低く、特に中高年で男女差が大きい。男女ともに学びの経験がある層は、学びの経験がない層に比べて、役割・居場所があると感じている割合が高い。男女ともに学びの経験がある層のなかでも、1年以内に学んだ層は、5年以内に学んだ層より高い。(P92～94・Q49、P95～97・Q50)

1. 属性情報

• 本調査における回答者の基本属性を以下にまとめる。

(1) 性別・年代 (Q1・Q2)



(2) 居住地 (Q3)

(人)

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
女性	532	77	85	205	72	68	105	182	120	123	611	478
男性	507	64	80	176	73	88	122	192	131	117	663	501
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
女性	1,318	783	173	78	87	54	47	138	157	258	717	145
男性	1,326	831	192	68	75	50	54	133	154	229	637	140
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
女性	98	226	850	513	113	68	44	38	147	237	96	51
男性	101	198	767	464	120	67	32	51	135	200	107	53
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
女性	72	108	37	388	40	77	99	63	43	63	54	
男性	67	90	47	313	42	68	86	64	47	78	62	

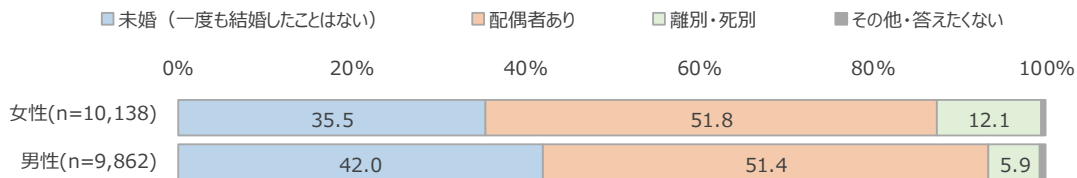
(3) 生まれ育った地域 (Q4)

(人)

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
女性	600	108	104	211	95	104	134	193	134	143	506	421
男性	549	99	118	198	113	107	164	197	147	122	526	415
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
女性	1,054	642	222	83	98	75	47	153	175	276	674	170
男性	1,115	632	233	79	80	51	58	133	181	256	593	150
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
女性	89	224	818	494	107	90	55	53	173	240	119	64
男性	95	212	770	476	117	79	41	56	155	234	136	59
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外
女性	78	138	45	358	58	116	117	70	51	82	55	22
男性	80	119	56	310	59	100	92	75	62	99	55	9

1. 属性情報

(4) 配偶者の有無 (Q5)

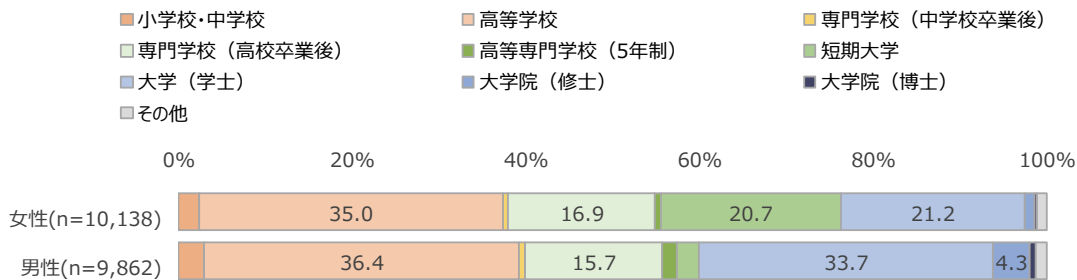


(5) 同居している子供の有無 (複数回答・Q6) 女性 (n=10,138) 男性(n=9,862)

(%)

	3歳未満の子供がいる	小学校入学前 (3歳~6歳) の子供がいる	小学校低学年(1年生~3年生)の子供がいる	小学校高学年(4年生~6年生)の子供がいる	中学生~18歳の子供がいる	19歳以上の子供がいる	子供はいない
女性	4.2	5.2	4.6	4.9	8.4	19.7	62.2
男性	4.7	5.9	5.7	5.9	9.6	16.8	62.5

(6) 最終学歴 (Q7)



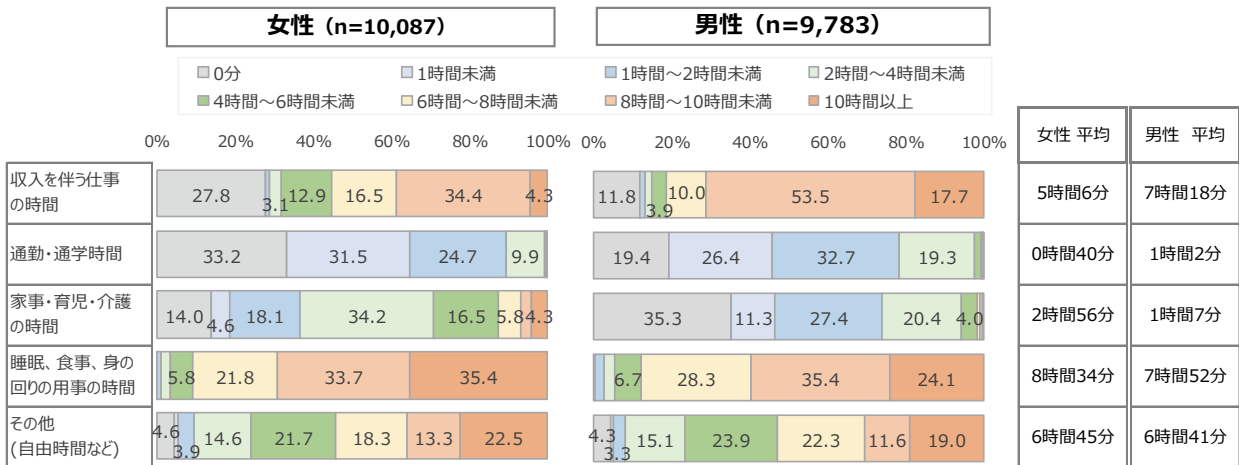
(%)

	非大卒						大卒			その他
	小学校・中学校	高等学校	専門学校 (中学校卒業後)	専門学校 (高校卒業後)	高等専門学校 (5年制)	短期大学	大学 (学士)	大学院 (修士)	大学院 (博士)	
女性	2.3	35.0	0.7	16.9	0.6	20.7	21.2	1.2	0.2	1.1
男性	2.9	36.4	0.7	15.7	1.7	2.7	33.7	4.3	0.7	1.2

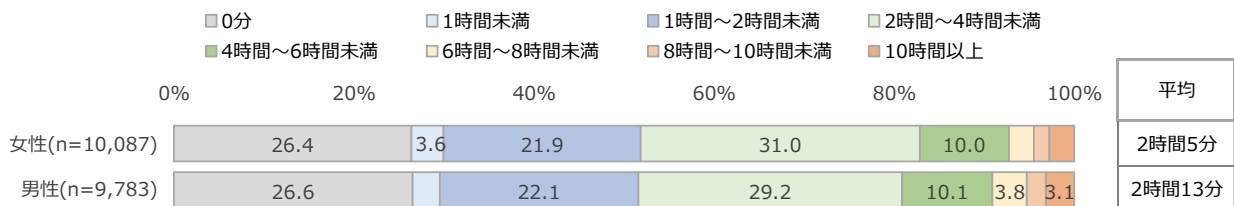
※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

1. 属性情報

(7) 普段の1日の時間配分 (Q8①)

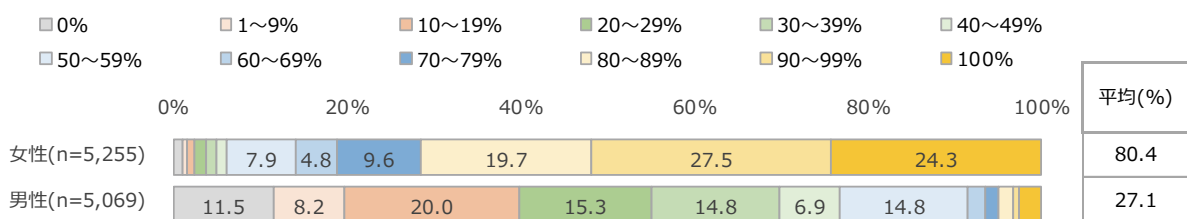


(8) 趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間 (Q8②)



※Q8①及びQ8②の集計に当たっては、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」を「0分」と回答したサンプル（130人）を、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

(9) 家事関連時間の配偶者との分担割合 (Q9・有配偶者)



(10) 個人年収 (Q10①)

女性 (n=10,138) 男性(n=9,862)

	1円~50万円未満	50万円~99万円	100万円~149万円	150万円~199万円	200万円	300万円	400万円	500万円	600万円	700万円	800万円	900万円	1,000万円~1,499万円	1,500万円以上	0円 (収入はない)	分からない・答えたくない
女性	11.9	10.5	9.5	6.7	12.0	11.0	6.6	3.2	1.5	0.7	0.5	0.3	0.4	0.2	7.4	17.6
男性	4.3	2.1	3.0	4.0	7.9	13.6	14.4	11.7	7.8	5.4	3.5	2.6	3.4	0.9	1.8	13.7

※3%未満は、数値表示を省略しています。

1. 属性情報

(11) 世帯年収 (Q10②)

女性 (n=10,138) 男性(n=9,862)

(%)

	1円～50万円未満	50万円～99万円	100万円～149万円	150万円～199万円	200万円	300万円	400万円	500万円	600万円	700万円	800万円	900万円	1,000万円～1,499万円	1,500万円以上	0円 (収入はない)	分からない・答えたくない
女性	1.7	1.6	2.1	3.3	7.0	10.5	9.1	8.5	6.0	5.3	4.1	4.2	6.4	2.3	0.6	27.2
男性	1.8	1.1	2.0	2.7	5.2	9.4	10.9	10.0	8.4	7.0	6.1	6.1	8.8	2.7	0.6	17.2

(12) 過去5年間の出来事 (複数回答・Q11)

女性 (n=10,138) 男性(n=9,862)

(%)

	結婚	子供の誕生 (出産)・育児	産前産後休業、育児休業の取得	親や親族等の介護	育児や介護の一段落	離婚・配偶者との死別	社会人になって以降の留学・大学等への入学 ※1	勤務先での部署又は職場の異動 ※2	転職	再就職 ※3	事業継承・起業・フリーランスへの転向	退職 (その後、現在まで働いていない)	該当するものはない
女性	5.4	6.2	3.1	9.4	3.2	1.9	0.8	4.3	12.2	4.3	0.7	4.0	62.9
男性	4.9	6.2	2.3	7.3	2.4	1.3	1.4	8.8	10.7	3.7	1.2	3.8	63.3

※1:社会人になって以降の留学・大学等への入学 (学生時代を除く)

※2:勤務先での部署又は職場の異動 (海外転勤・出向を含む)

※3:再就職 (一定期間、仕事を離れた期間を経て就職)

(13) 仕事以外で参加している取組や活動 (複数回答・Q12)

女性 (n=10,138) 男性(n=9,862)

(%)

	スポーツ・運動	教養や芸術文化など趣味・娯楽の活動 (スポーツ・運動を除く)	自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子供会など地域での活動	上記以外のボランティア活動 (プロボノ含む)	その他	特いない
女性	14.4	7.8	5.3	2.3	2.6	74.6
男性	26.0	9.6	8.9	2.8	3.2	62.5

(14) 就業状態・雇用形態 (Q13)

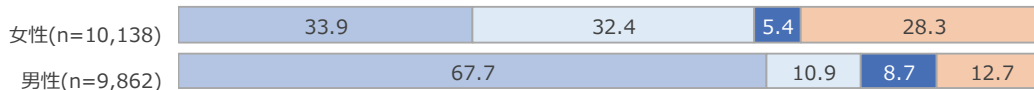
■ 正規雇用

□ 非正規雇用

■ その他有業

■ 無業

0% 20% 40% 60% 80% 100%



(%)

	正規雇用		非正規雇用	その他有業			無業			
	会社経営者・役員	正規の会社員・職員・従業員	非正規の会社員・職員・従業員 ※4	自営業・自由業	自家営業の手伝い ※5	その他 (働いている)	学生 (社会人経験なし) ※6	学生 (社会人経験あり)	主婦・主夫 (働いていない)	その他 (働いていない)
女性	0.7	33.1	32.4	3.5	0.7	1.1	-	0.1	19.9	8.4
男性	3.1	64.6	10.9	7.4	0.5	0.8	-	0.1	1.3	11.3

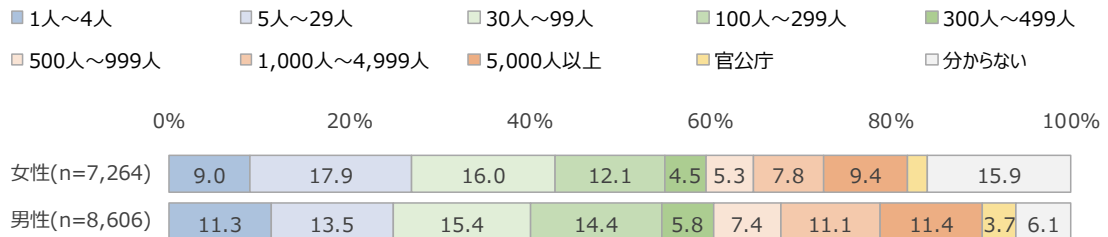
※4:非正規の会社員・職員・従業員 (パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等)

※5:自家営業の手伝い (家族従業者)、家庭内の賃仕事 (内職)

※6:「学生 (社会人経験なし)」を選択したサンプルは調査対象外とし除外しています。

1. 属性情報

(15) 勤務先の企業規模 (Q14・有業者)



(16) 職種 (Q15・有業者)

女性 (n=7,264) 男性(n=8,606)

(%)

	事務職	販売職	サービス職	保安職	製造・加工	輸送・機械・運転	建設・探掘	運搬・清掃・包装等	専門的・技術的職業※1	専門的・技術的職業※2	農林漁業	管理的職業※3	管理的職業※4	管理的職業(その他)	その他
女性	35.8	8.6	16.9	0.3	7.5	0.4	0.6	2.3	2.5	12.3	0.5	0.4	0.4	0.7	10.9
男性	16.4	6.7	12.2	1.8	15.1	2.9	4.9	3.7	7.9	9.7	1.1	2.2	3.0	2.9	9.5

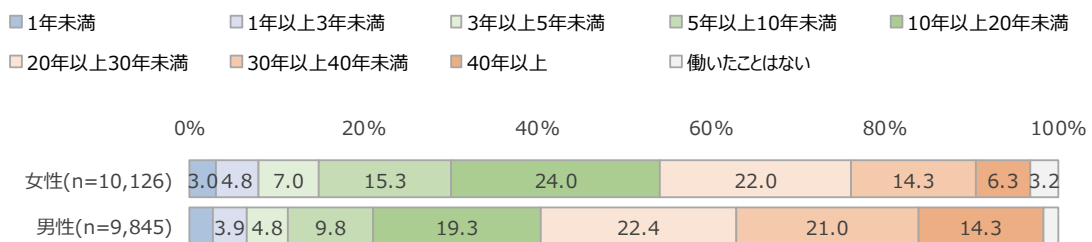
※1：専門的・技術的職業（IT・システム関連など）

※2：専門的・技術的職業（研究者、技術者、医師・看護師・栄養士、教員など）

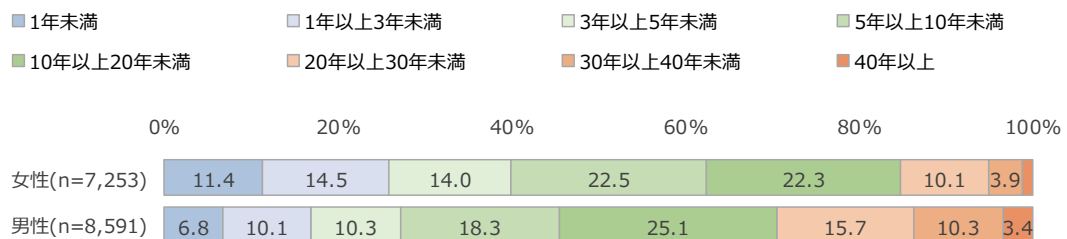
※3：管理的職業（会社役員、議員など）

※4：管理的職業（部店長・所長など部署の責任者）

(17) 通算の就業年数 (Q16①)



(18) 現在の会社等での勤続年数 (Q16②・有業者)



※Q16①及びQ16②の集計に当たっては、「就業年数」又は「勤続年数」のいずれかが回答者の年代からみて成立しないサンプル（29人）について、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

※3%未満は、数値表示を省略しています。

1. 属性情報

(19) 多様な働き方の利用状況 (複数回答・Q17)

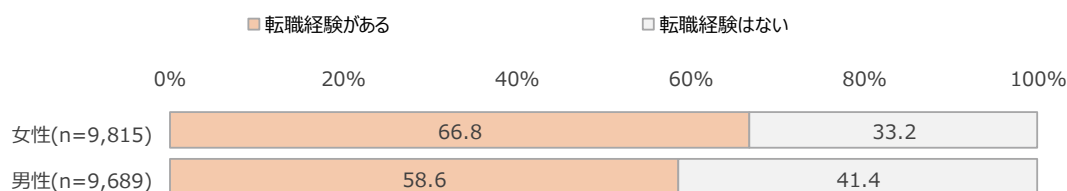
女性 (n=7,264) 男性(n=8,606)

(%)

	リモートワーク・テレワーク	フレックスタイム制	裁量労働制	時短勤務	多様な正社員 ※1	副業・兼業	その他の多様な働き方	該当するものはない
女性	10.6	8.0	6.2	11.1	5.2	5.2	0.0	62.0
男性	15.0	14.5	10.6	3.6	6.2	4.9	0.2	59.8

※1:多様な正社員 (週休3日制、職務内容・勤務地・勤務時間等を限定した働き方)

(20) 転職経験 (Q18・就業経験のある人)



(21) 転職活動で重視したこと (複数回答・Q19・転職経験のある人)

女性 (n=6,559) 男性(n=5,676)

(%)

	仕事内容	給与や待遇面	職場の雰囲気・人間関係	自分の能力やスキルをいかせること	福利厚生	家族の事情 ※2	自分が成長できること	新しいことに挑戦できること	会社の将来性	能力開発など人材育成制度の充実度	キャリア開発支援制度の充実度	その他	特になし
女性	63.8	56.9	36.9	21.6	23.2	20.0	9.5	9.3	7.3	1.6	1.5	5.9	7.5
男性	58.5	53.2	24.3	26.0	17.9	8.4	14.0	13.1	14.3	3.4	3.4	5.1	9.4

※2:家族の事情 (パートナーの転勤、子供の教育、介護など)

(22) 配偶者の就業状態・雇用形態 (Q20・有配偶者)

女性 (n=5,255) 男性(n=5,069)

(%)

	正規雇用		非正規雇用	その他有業			無業				把握していない
	会社経営者・役員	正規の会社員・職員・従業員	非正規の会社員・職員・従業員 ※3	自営業・自由業	自家営業の手伝い ※4	その他 (働いている)	学生 (社会人経験なし)	学生 (社会人経験あり)	主婦・主夫 (働いていない)	その他 (働いていない)	
女性	3.7	52.5	17.1	6.7	0.6	0.7	0.0	0.0	7.4	8.6	2.6
男性	2.8	44.9	24.6	3.9	0.6	0.7	0.0	-	16.9	3.3	2.4

※3:非正規の会社員・職員・従業員 (パート・アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等)

※4:自家営業の手伝い (家族従業者)、家庭内の貴仕事 (内職)

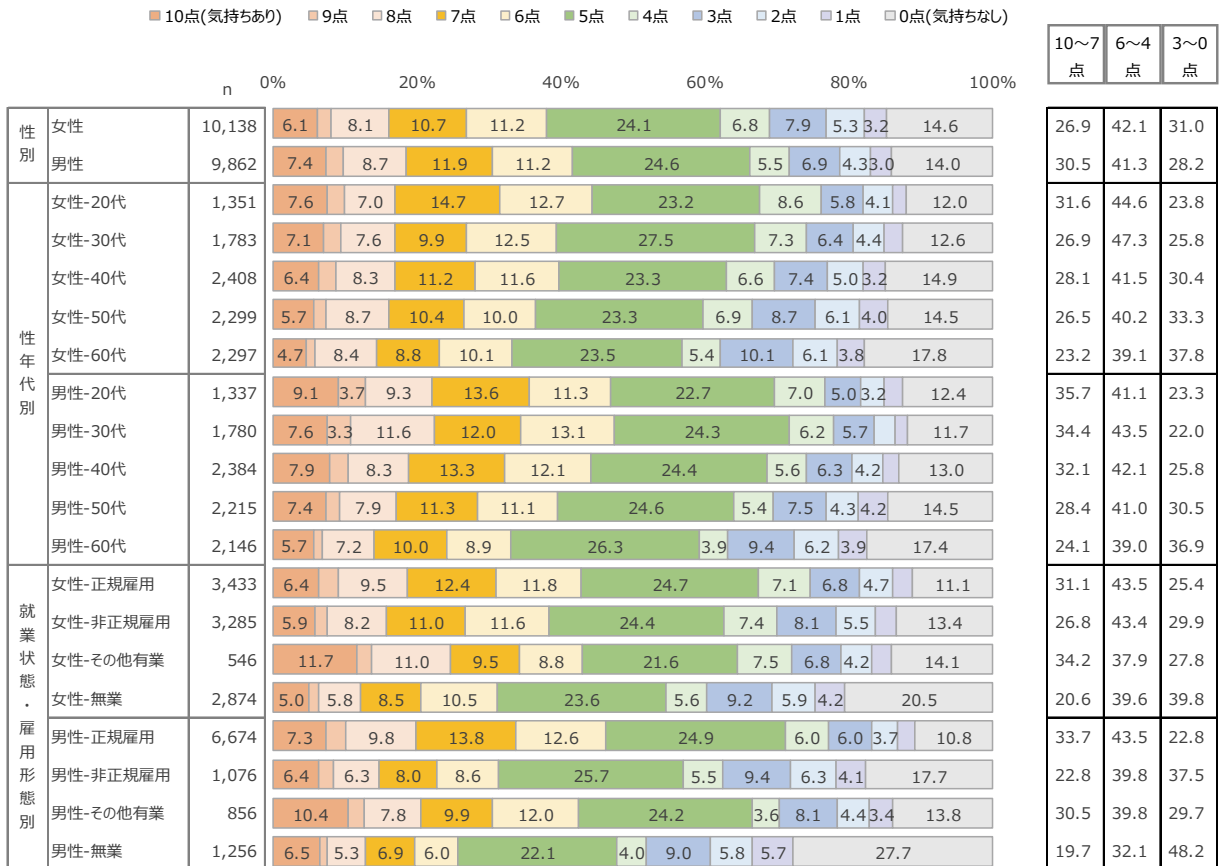
2. 広義の学びに対する意識

(1) 学び直しへの意欲 (単数回答・Q21)

【対象】全員

Q21.あなたは、人生をより良くするために「新しいことを身につけたい」・「いまの自分の能力やスキルを更に磨きたい」という気持ちを持っていますか。0点～10点でお答えください。

- 性別にみると、男女ともに「5点」が最も高く、女性は24.1%、男性は24.6%。「10～7点」は、女性が26.9%、男性が30.5%で、男性の方が3.6%ポイント高い。
- 性年代別に「10～7点」をみると、女性は20代が31.6%と最も高く、60代が23.2%と最も低い。男性は20代・30代・40代が3割を超え、60代で24.1%と最も低い。いずれも年代が低い層で学び直しへの意欲が高い。男女差をみると、男性は女性より「10～7点」の割合が高く、30代で7.5%ポイントと差が大きい。
- 就業状態・雇用形態別に「10～7点」をみると、男女ともに正規雇用、その他有業で3割を超えている。男女差をみると、非正規雇用で差が大きく、女性が26.8%、男性が22.8%と、女性の方が4.0%ポイント高い。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

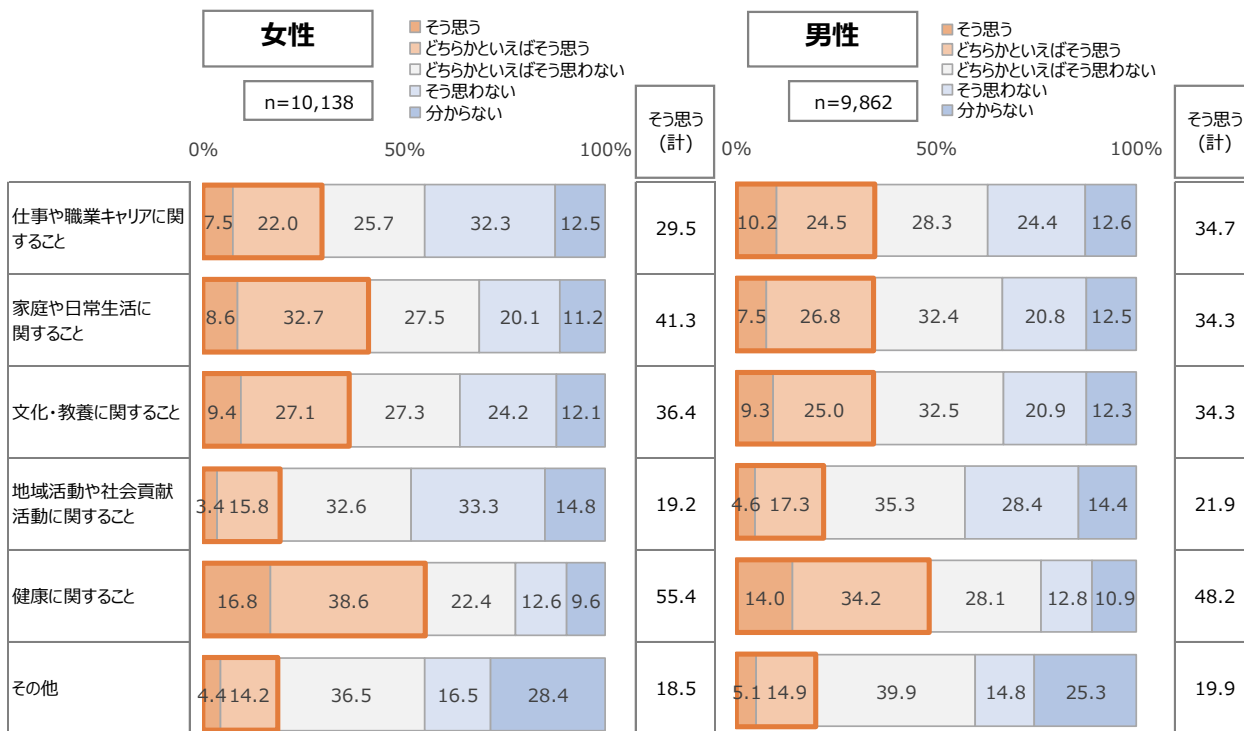
2. 広義の学びに対する意識

(2) 学びへの意欲 (マトリクス項目・単数回答・Q22)

【対象】全員

Q22.あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 性別に「そう思う (計)」をみると、男女ともに「健康に関すること」が最も高く、女性55.4%、男性48.2%。次いで、女性は「家庭や日常生活に関すること」、男性は「仕事や職業キャリアに関すること」が高い。
- 男女差が大きい項目は「健康に関すること」「家庭や日常生活に関すること」で、女性は男性よりも7%ポイント以上高い。



学びへの意欲あり：
69.1%

上記6項目のうち、1つ以上の項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択

※ 上記グラフのオレンジのボックスのいずれかに該当する場合、意欲ありと判定

学びへの意欲あり：
65.2%

上記6項目のうち、1つ以上の項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択

※ 上記グラフのオレンジのボックスのいずれかに該当する場合、意欲ありと判定

※「そう思う (計)」 = 「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」で算出

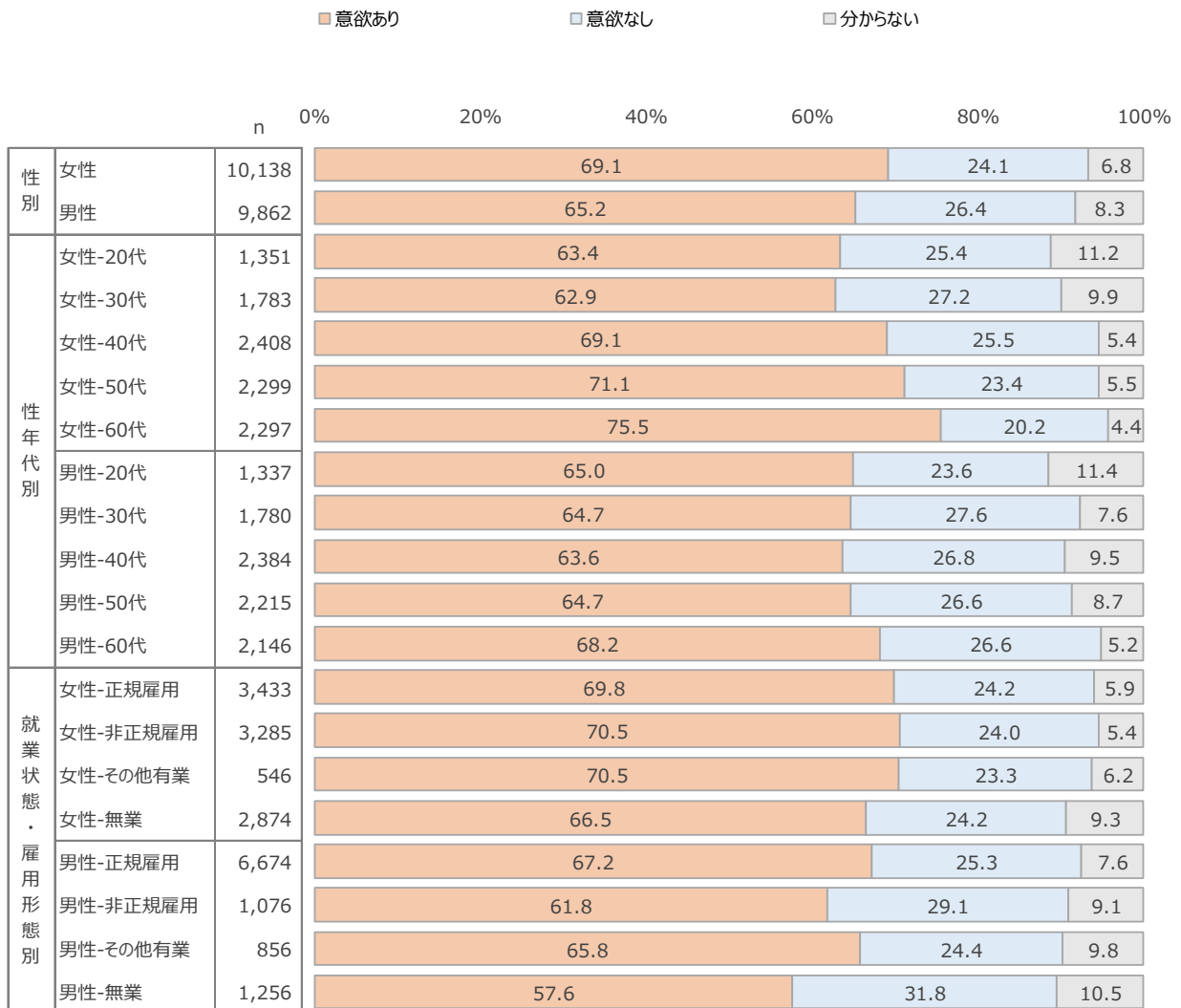
2. 広義の学びに対する意識

(2) 学びへの意欲 (マトリックス項目・単数回答・Q22)

【対象】全員

Q22.あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 性別に「意欲あり」についてみると、女性は69.1%、男性は65.2%と7割近くが学びへの意欲がある。
- 性年代別にみると、男女ともに60代が最も高く、女性は75.5%、男性は68.2%。相対的に意欲が低いのは女性30代で62.9%、男性40代で63.6%。年代が上がるにつれ男女差が大きくなり、60代では7.3%ポイントの差がある。
- 就業状態・雇用形態別にみると、女性は非正規雇用、その他有業がそれぞれ70.5%と高く、男性は正規雇用が67.2%と最も高い。男女差をみると、無業と非正規雇用で差が大きく、それぞれ8.9%ポイント、8.7%ポイントの差がある。



※選択肢について Q22の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工
 意欲あり：1つ以上の項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択
 意欲なし：全ての項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の選択がなく、1つ以上の項目で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択
 分からない：全ての項目で「分からない」を選択

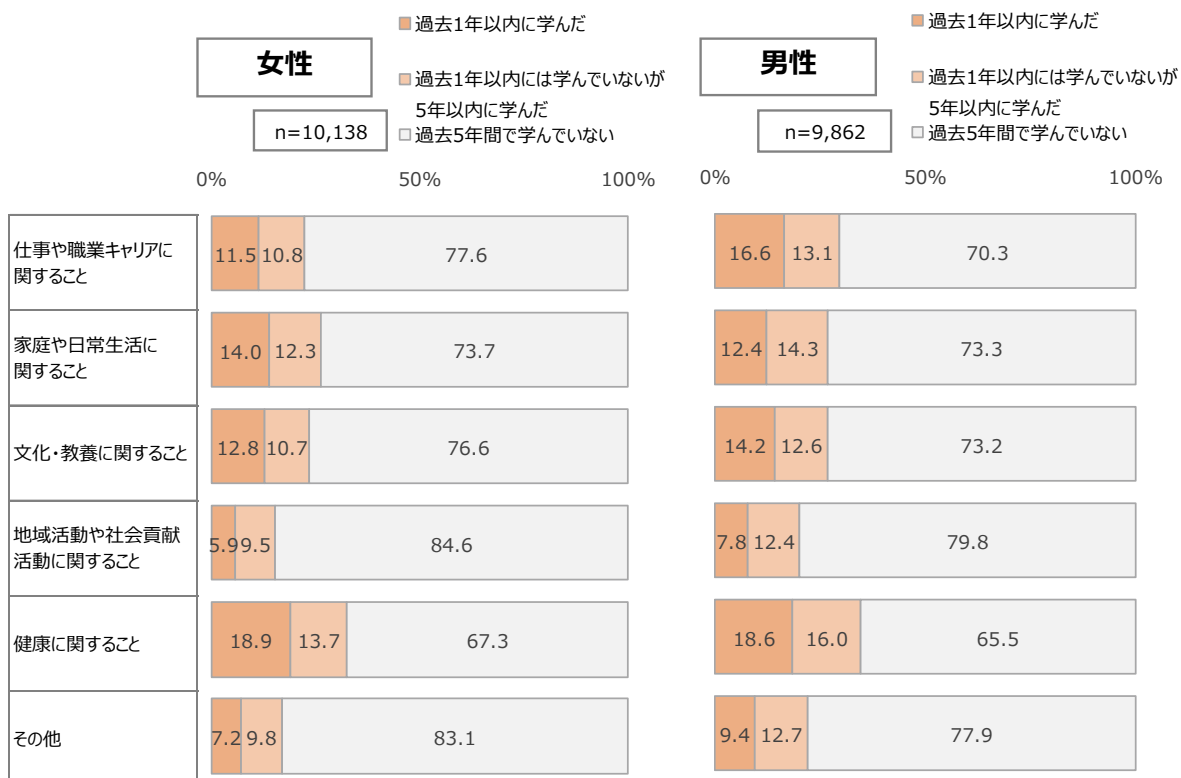
2. 広義の学びに対する意識

(3) 学びの経験（マトリックス項目・単数回答・Q23）

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 性別に「過去1年以内に学んだ」割合が最も高い項目をみると、女性は「健康に関すること」（18.9%）が最も高く、次いで「家庭や日常生活に関すること」（14.0%）。男性は、「健康に関すること」（18.6%）が最も高く、次いで「仕事や職業キャリアに関すること」（16.6%）。
- 男女差が最も大きい項目は「仕事や職業キャリアに関すること」であり、女性11.5%に対し男性16.6%と、男性が5.1%ポイント高い。
- なお、いずれの項目においても「過去5年間で学んでいない」が6～8割を占めている。



2. 広義の学びに対する意識

(3) 学びの経験 (マトリックス項目・単数回答・Q23)

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- ・「過去1年以内に学んだ」割合を性別にみると、女性は31.5%、男性は33.6%。
- ・性年代別にみると、男女ともに20代が最も高く、女性は38.4%、男性は44.5%。相対的に1年以内の学びの経験が低いのは女性50代及び男性50代で、27.7%。男女差が最も大きい年代は20代で6.1%ポイントの差がある。
- ・就業状態・雇用形態別では、男女に大きな差はみられない。

■ 過去1年以内に学んだ □ 過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ ▨ 過去5年間で学んでいない

		n	0%	20%	40%	60%	80%	100%
性別	女性	10,138	31.5	12.8	55.7			
	男性	9,862	33.6	13.1	53.2			
性年代別	女性-20代	1,351	38.4	14.6	47.0			
	女性-30代	1,783	32.2	12.9	54.9			
	女性-40代	2,408	29.0	12.7	58.3			
	女性-50代	2,299	27.7	12.7	59.6			
	女性-60代	2,297	33.2	12.0	54.8			
	男性-20代	1,337	44.5	14.7	40.8			
	男性-30代	1,780	38.3	12.4	49.3			
	男性-40代	2,384	33.0	11.6	55.4			
	男性-50代	2,215	27.7	12.3	60.0			
	男性-60代	2,146	29.8	15.4	54.8			
就業状態・雇用形態別	女性-正規雇用	3,433	34.3	14.0	51.7			
	女性-非正規雇用	3,285	29.7	13.8	56.5			
	女性-その他有業	546	41.0	11.9	47.1			
	女性-無業	2,874	28.3	10.4	61.3			
	男性-正規雇用	6,674	34.9	13.4	51.7			
	男性-非正規雇用	1,076	29.7	13.9	56.3			
	男性-その他有業	856	37.6	12.0	50.4			
	男性-無業	1,256	27.2	12.0	60.7			

※選択肢について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工
 過去1年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」を選択
 過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ : 全ての項目で「過去1年以内に学んだ」の選択がなく、1つ以上の項目で「過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ」を選択
 過去5年間で学んでいない : 全ての項目で「過去5年間で学んでいない」を選択

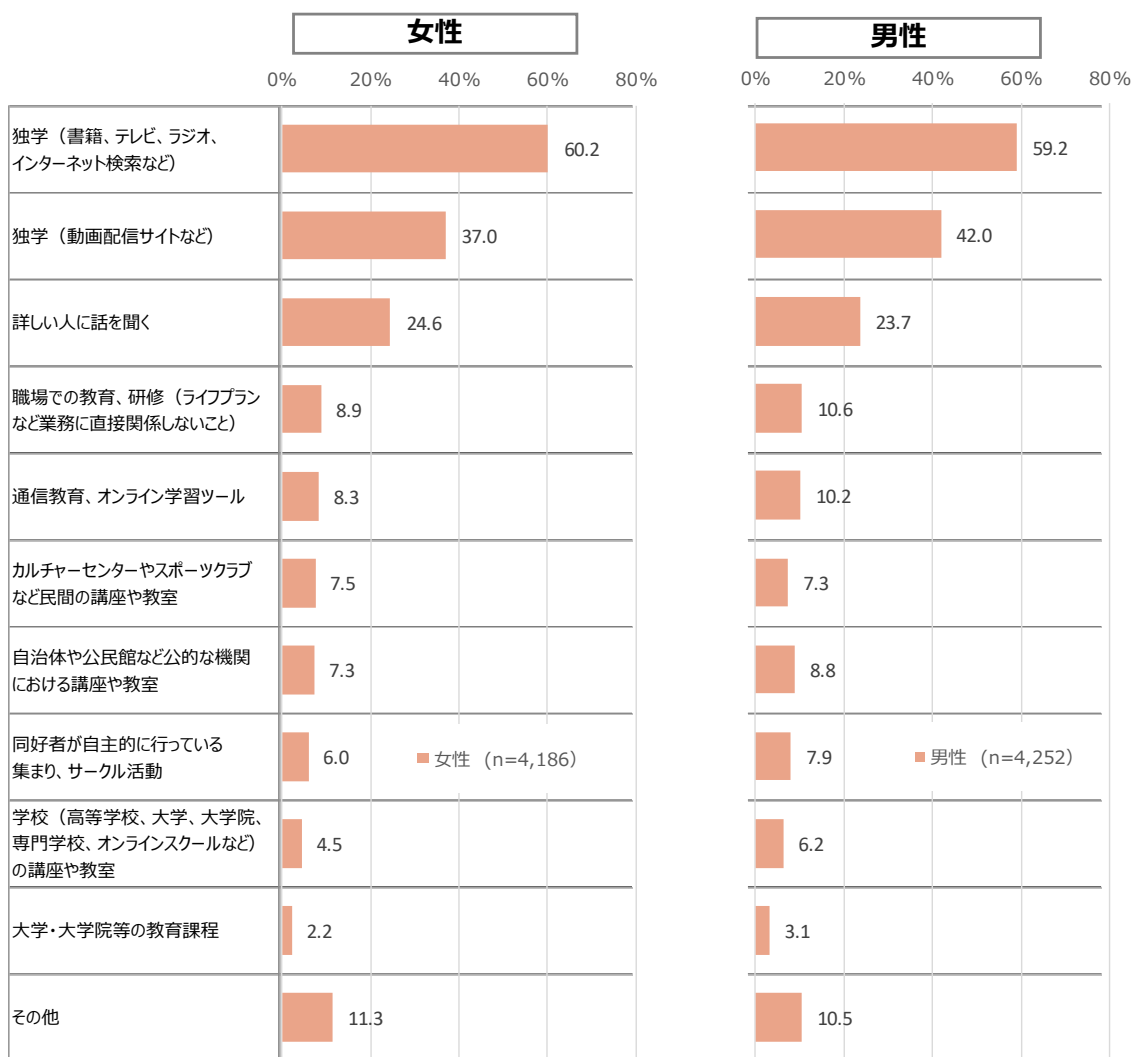
2. 広義の学びに対する意識

(4) 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態（複数回答・Q24）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q24.どのように学びましたか。有料・無料を問わず、お答えください。

- 性別にみると、男女ともに「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が最も高く、女性60.2%、男性59.2%、次いで男女ともに「独学（動画配信サイトなど）」が高く、女性37.0%、男性42.0%。
- 男女差が最も大きい項目は「独学（動画配信サイトなど）」で、男性の方が5.0%ポイント高い。



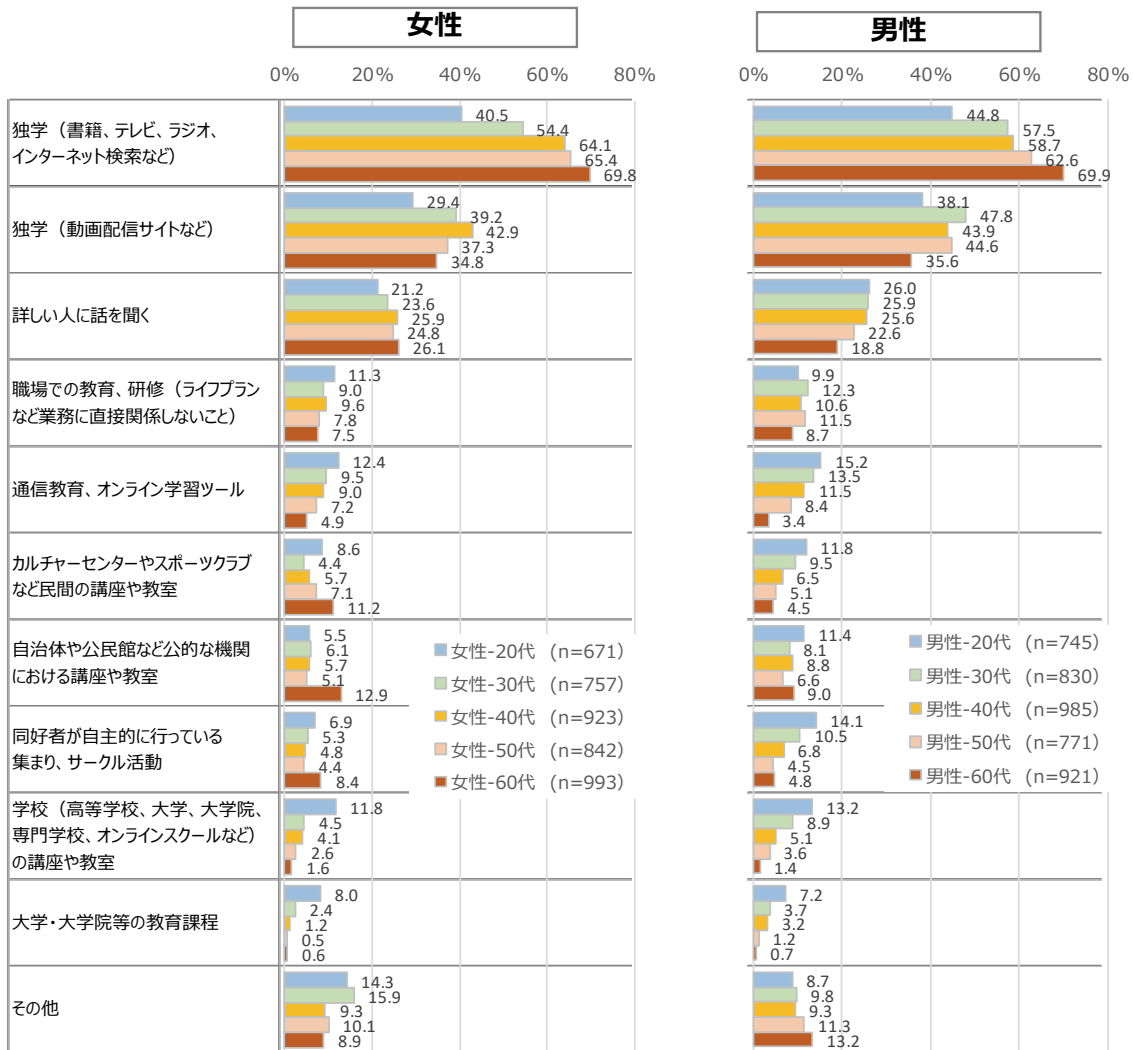
2. 広義の学びに対する意識

(4) 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態（複数回答・Q24）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q24.どのように学びましたか。有料・無料を問わず、お答えください。

- 性年代別に見ると、男女ともに、いずれの年代においても「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が最も高い。「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」は年代差が大きく、上の年代ほど割合が高く、女性20代の40.5%に対し、女性60代は69.8%、男性20代の44.8%に対し、男性60代は69.9%と、男女ともに25%ポイント以上の差がみられる。
- 男性20代の「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」は14.1%と女性20代の2倍以上で、また、男性の他の年代と比べて高い。
- 男女差が最も大きい「独学（動画配信サイトなど）」をみると、若い世代で差が大きく、20代では8.7%ポイント、30代では8.6%ポイント男性の方が高い。



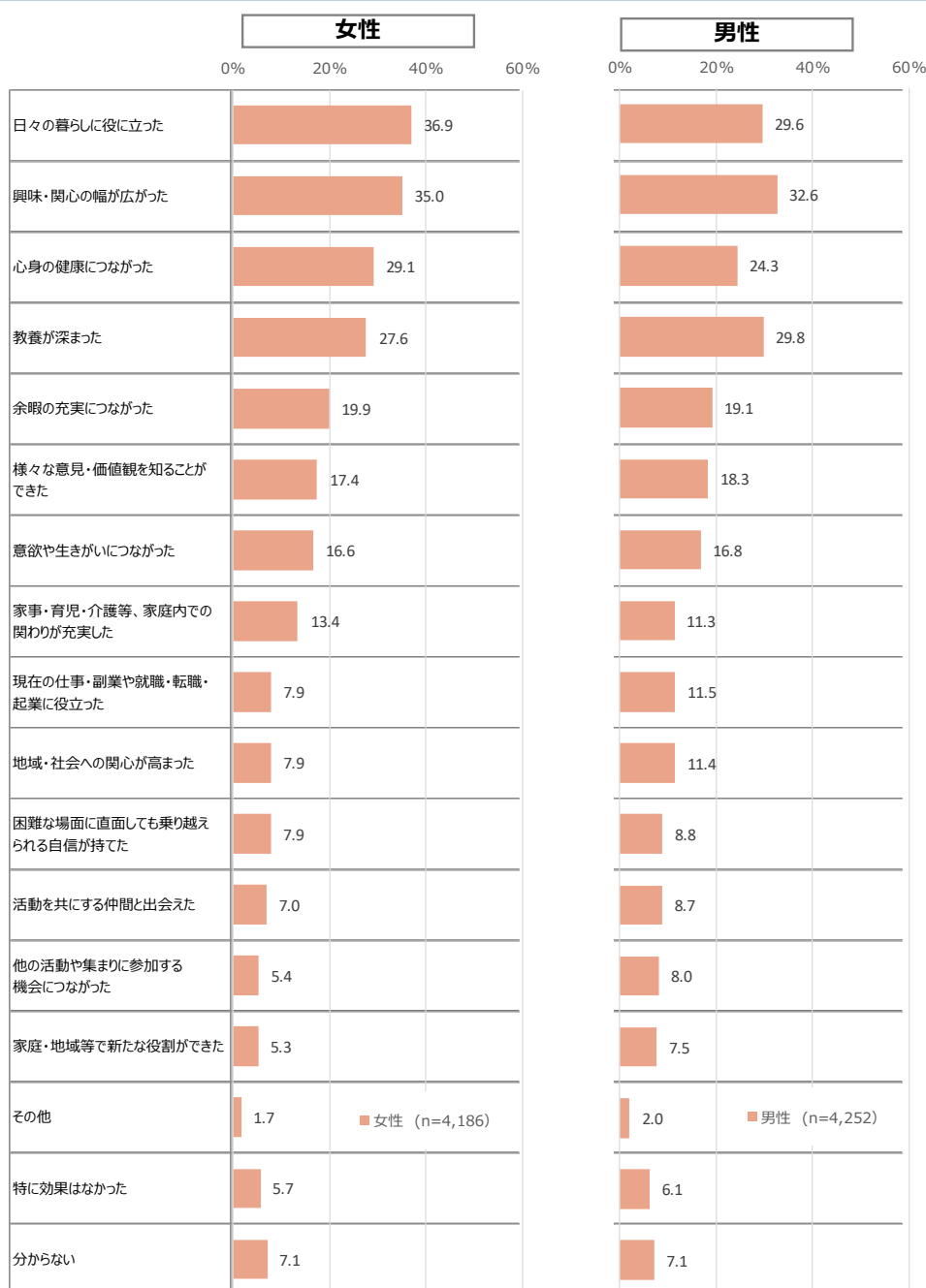
2. 広義の学びに対する意識

(5) 仕事や職業キャリア以外の学びの効果（複数回答・Q25）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q25.あなたご自身がこれらのことを学んだことで、どのような効果を感じましたか。現在も学び続けている場合は、いま感じている効果を教えてください。

- 男女ともに、約9割が何かしらの学びの効果を感じている。
- 性別にみると、女性は「日々の暮らしに役に立った」が36.9%と最も高く、次いで「興味・関心の幅が広がった」「心身の健康につながった」。男性は「興味・関心の幅が広がった」が32.6%と最も高く、次いで「教養が深まった」「日々の暮らしに役に立った」。
- 男女差が最も大きい項目は「日々の暮らしに役に立った」で、女性の方が7.3%ポイント高い。



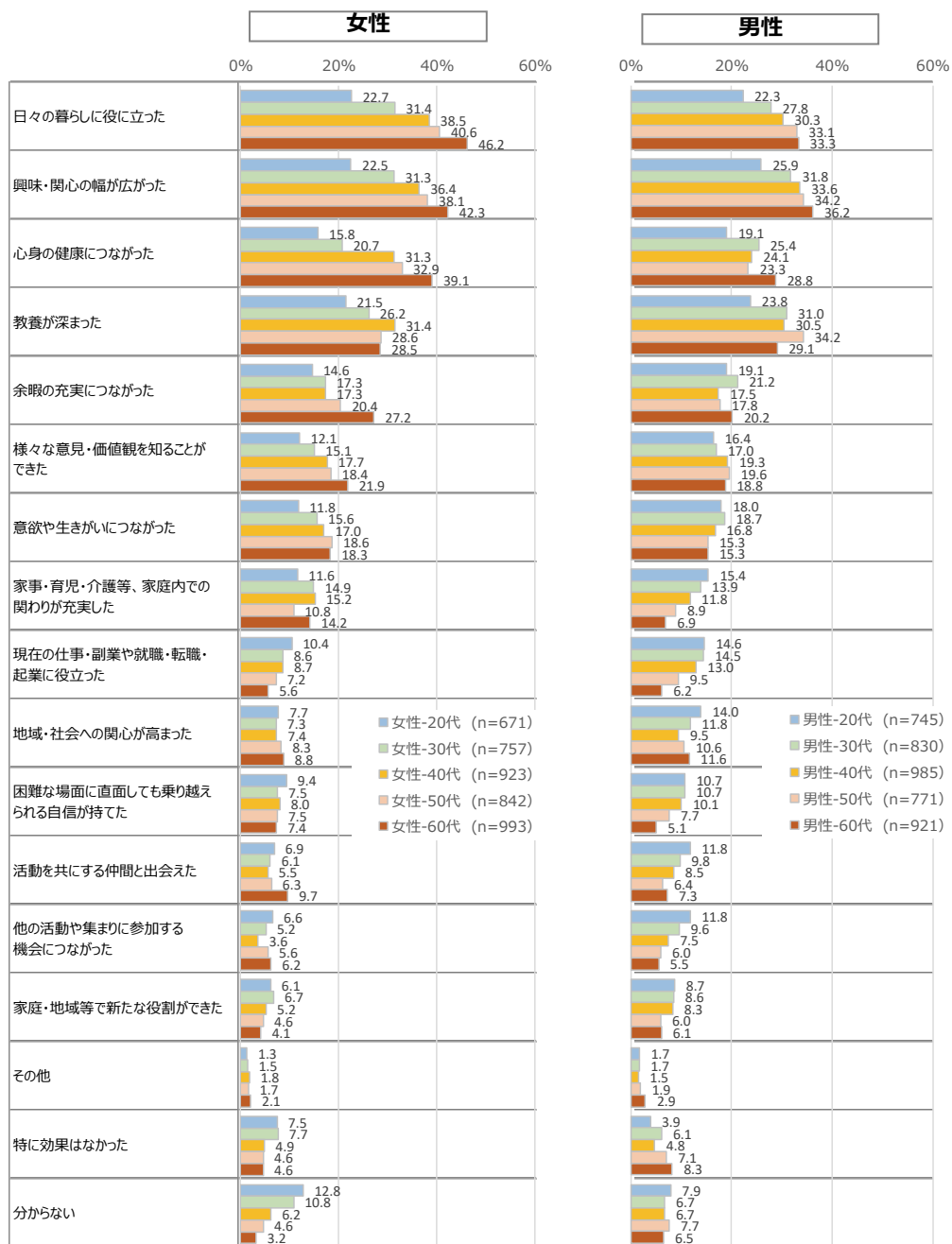
2. 広義の学びに対する意識

(5) 仕事や職業キャリア以外の学びの効果（複数回答・Q25）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q25.あなたご自身がこれらのことを学んだことで、どのような効果を感じましたか。現在も学び続けている場合は、いま感じている効果を教えてください。

- 性年代別に見ると、女性はいずれの年代においても「日々の暮らしに役に立った」及び「興味・関心の幅が広がった」が上位。特に「日々の暮らしに役に立った」は60代で最も高く46.2%。
- 男性は「興味・関心の幅が広がった」及び「教養が深まった」が上位項目となっており、「興味・関心の幅が広がった」は60代で最も高く36.2%。
- 男女差が最も大きい「日々の暮らしに役に立った」をみると、60代で最も差が大きく、女性の方が12.9%ポイント高い。

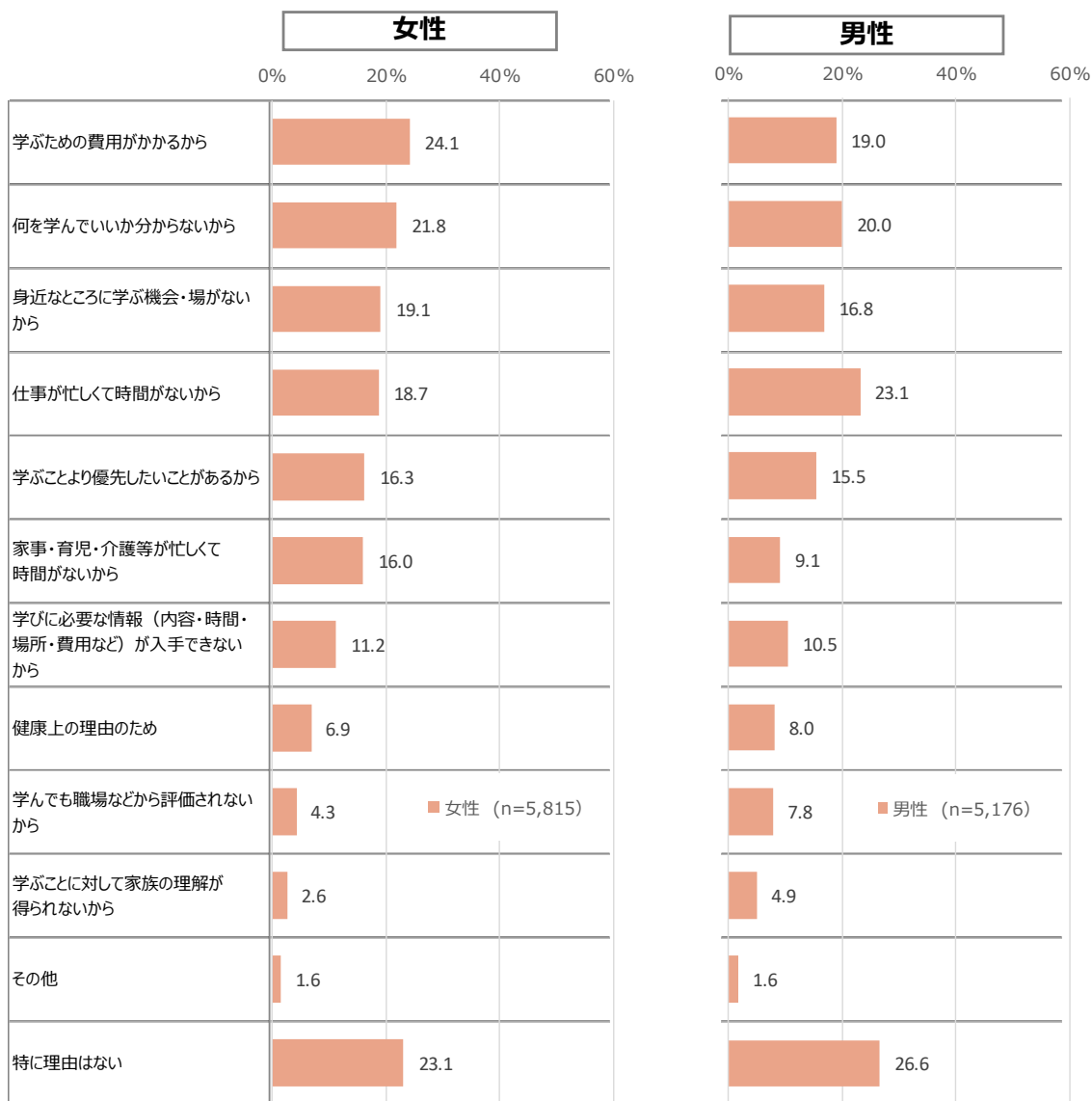


2. 広義の学びに対する意識

(6) 仕事や職業キャリア以外で学びへの意欲はあるが1年以内に学びの経験がない理由 (複数回答・Q26)

【対象】Q22及びQ23の ii ~ viのうち、学びへの意欲はあるが過去1年以内に学んでいない項目が1項目以上ある人
Q26.あなたが、過去1年以内に学んでいない理由を教えてください。

- 性別にみると、女性は「学ぶための費用がかかるから」が24.1%と最も高く、次いで「何を学んでいいかわからないから」、男性は「仕事が忙しくて時間がないから」が23.1%と最も高く、次いで「何を学んでいいかわからないから」。
- 男女差が最も大きい項目は「家事・育児・介護等が忙しくて時間がないから」で、女性の方が6.9%ポイント高い。

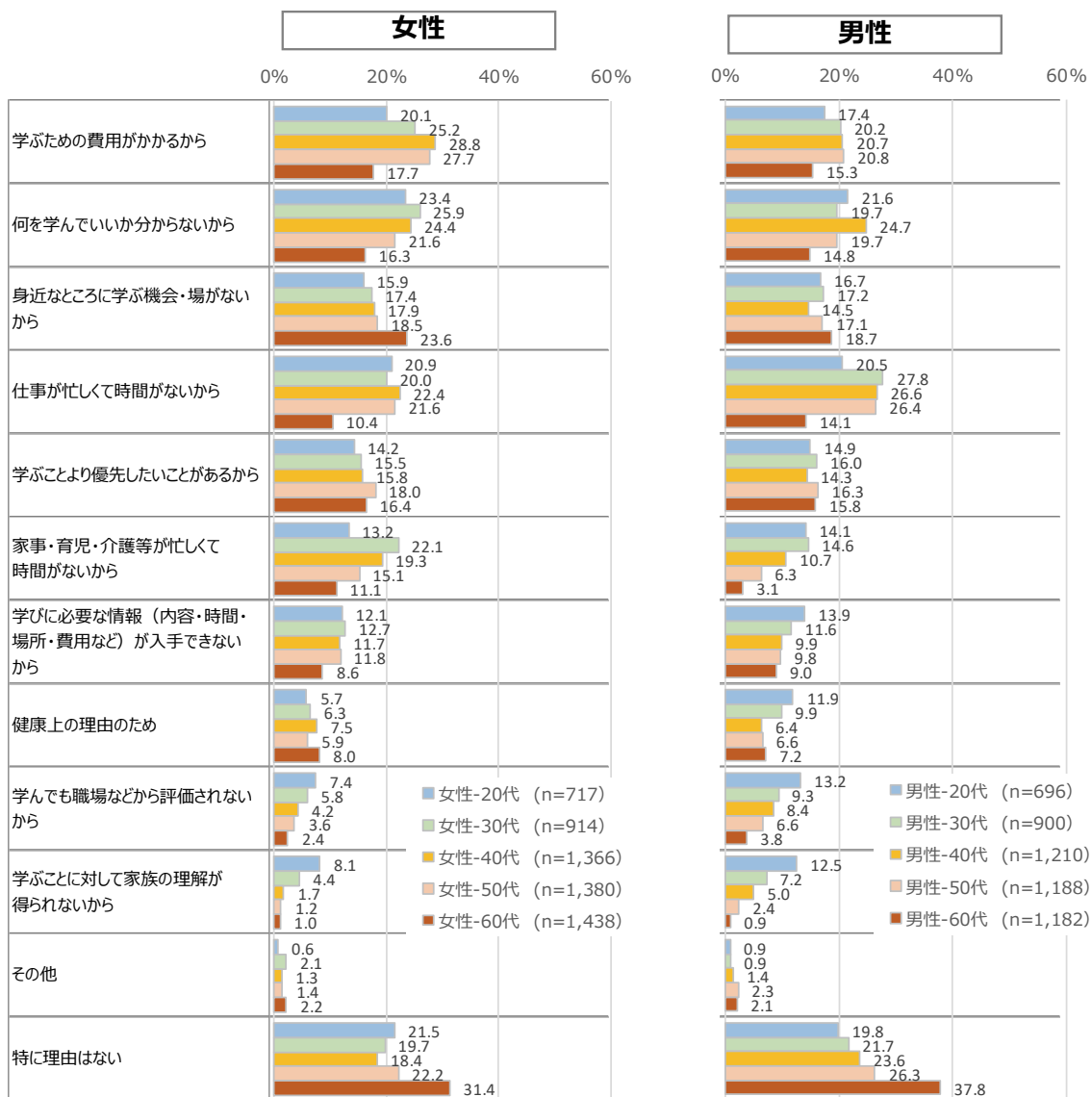


2. 広義の学びに対する意識

(6) 仕事や職業キャリア以外で学びへの意欲はあるが1年以内に学びの経験がない理由 (複数回答・Q26)

【対象】Q22及びQ23の ii ~ viのうち、学びへの意欲はあるが過去1年以内に学んでいない項目が1項目以上ある人
Q26.あなたが、過去1年以内に学んでいない理由を教えてください。

- 性年代別に見ると、女性は40代、50代で「学ぶための費用がかかるから」、20代、30代で「何を学んでいいかわからないから」、60代で「身近なところに学ぶ機会・場がないから」が最も高い。
- 一方、男性は30代から50代で「仕事が忙しくて時間がないから」、20代で「何を学んでいいかわからないから」、60代は女性と同じく「身近なところに学ぶ機会・場がないから」が最も高い。
- 男女差が最も大きい「家事・育児・介護等が忙しくて時間がないから」をみると、50代では8.8%ポイント、40代では8.6%ポイント、60代では8.0%ポイント、30代では7.5%ポイント、20代では6.3%ポイント、女性の方が高い。

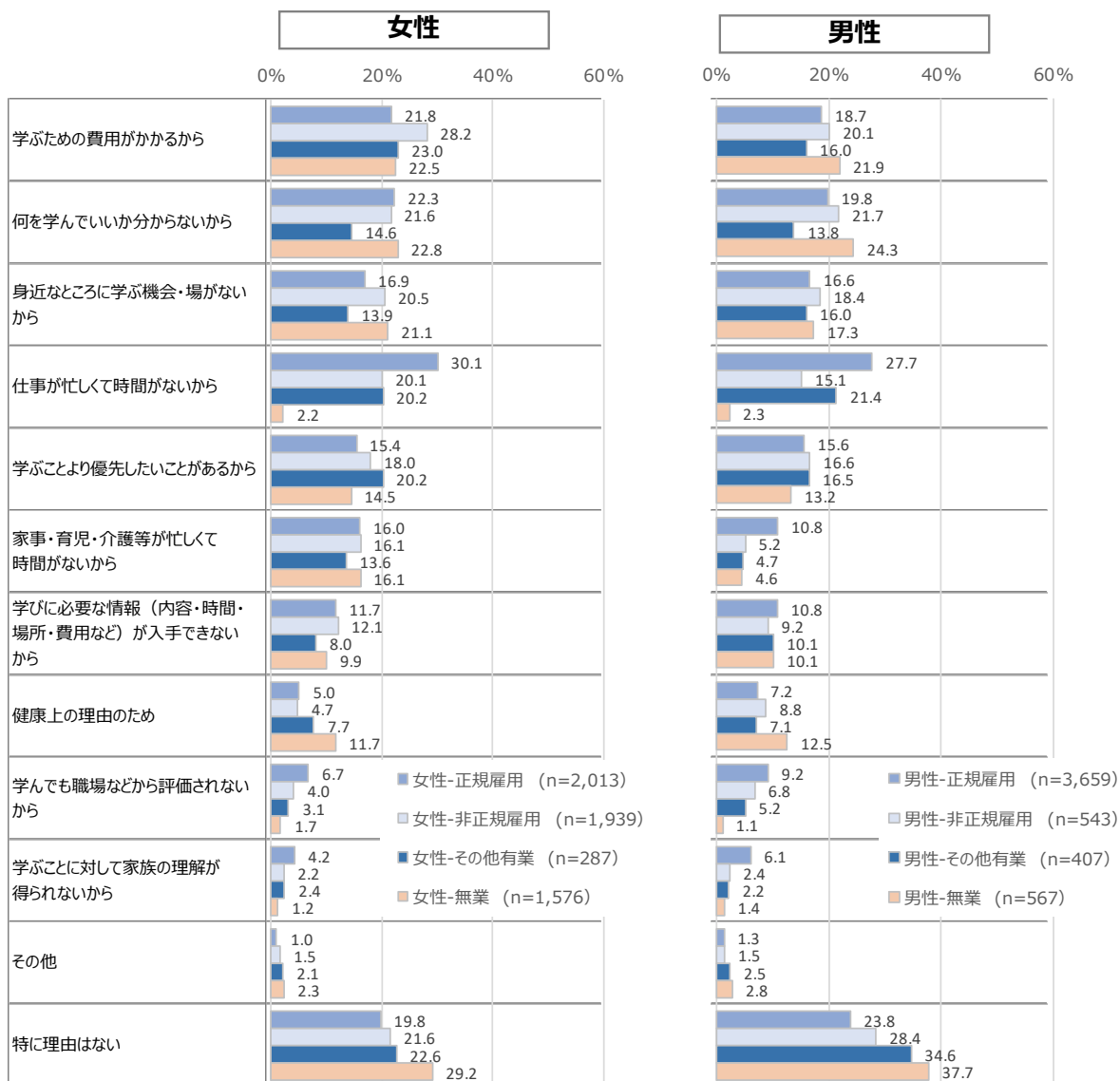


2. 広義の学びに対する意識

(6) 仕事や職業キャリア以外で学びへの意欲はあるが1年以内に学びの経験がない理由 (複数回答・Q26)

【対象】Q22及びQ23の ii～viのうち、学びへの意欲はあるが過去1年以内に学んでいない項目が1項目以上ある人
Q26.あなたが、過去1年以内に学んでいない理由を教えてください。

- 就業状態・雇用形態別にみると、女性は全ての就業状態・雇用形態で「学ぶための費用がかかるから」が2割以上、男性も非正規雇用と無業で2割以上。
- 男女ともに正規雇用では「仕事が忙しくて時間がないから」が最も高く、3割前後。
- 男女差が最も大きい「家事・育児・介護等が忙しくて時間がないから」をみると、無業で最も差が大きく、女性の方が11.5%ポイント高い。



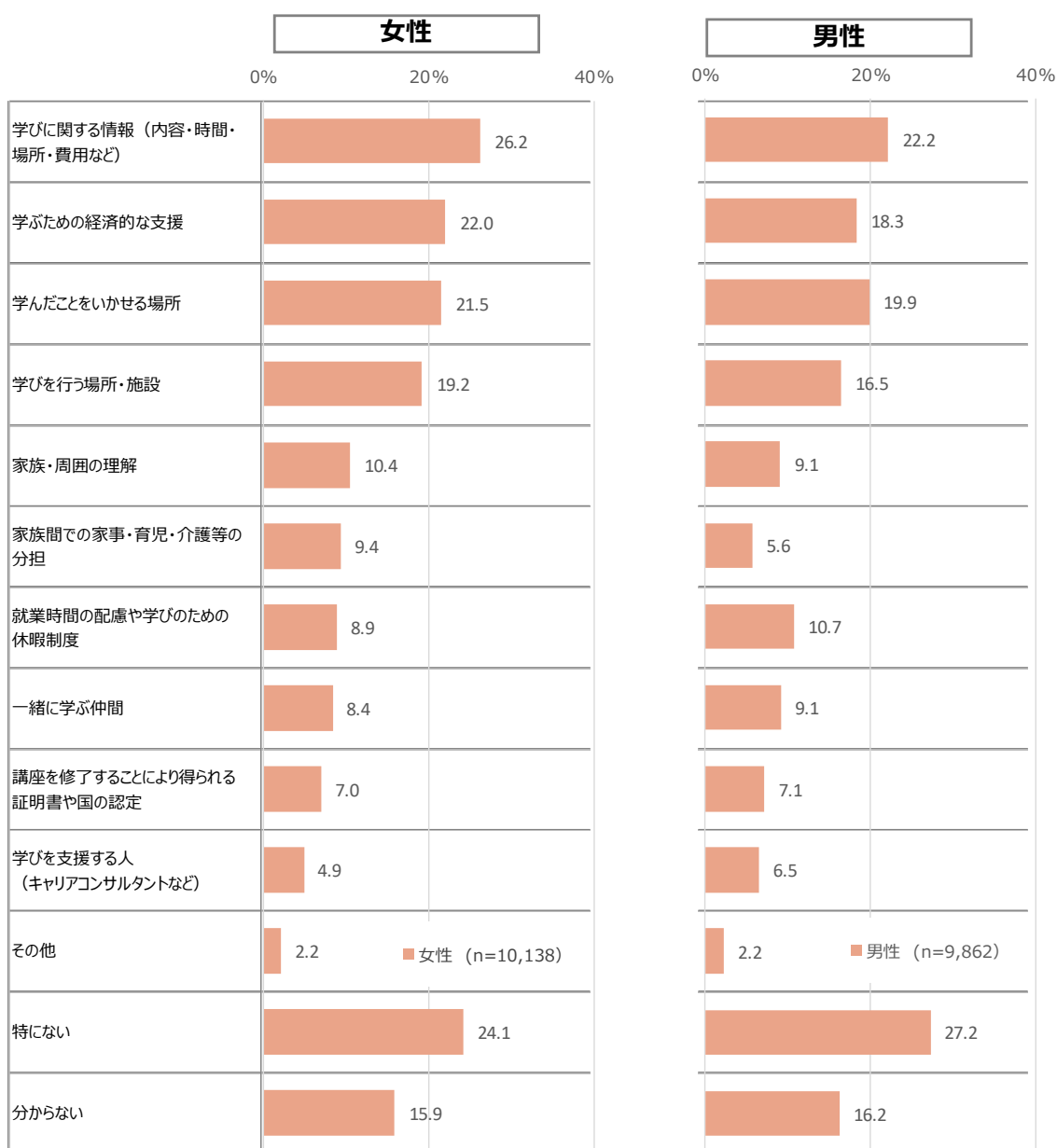
2. 広義の学びに対する意識

(7) 今後学ぶために必要なこと（複数回答・Q27）

【対象】全員

Q27. 今後、あなたが学ぶためには、どのようなことが必要ですか。

- 性別にみると、女性は「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」が26.2%と最も高く、次いで「学ぶための経済的な支援」、男性も「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」が22.2%と最も高く、次いで「学んだことをいかせる場所」。
- 男女差が最も大きい項目は「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」で、女性の方が4.0%ポイント高い。



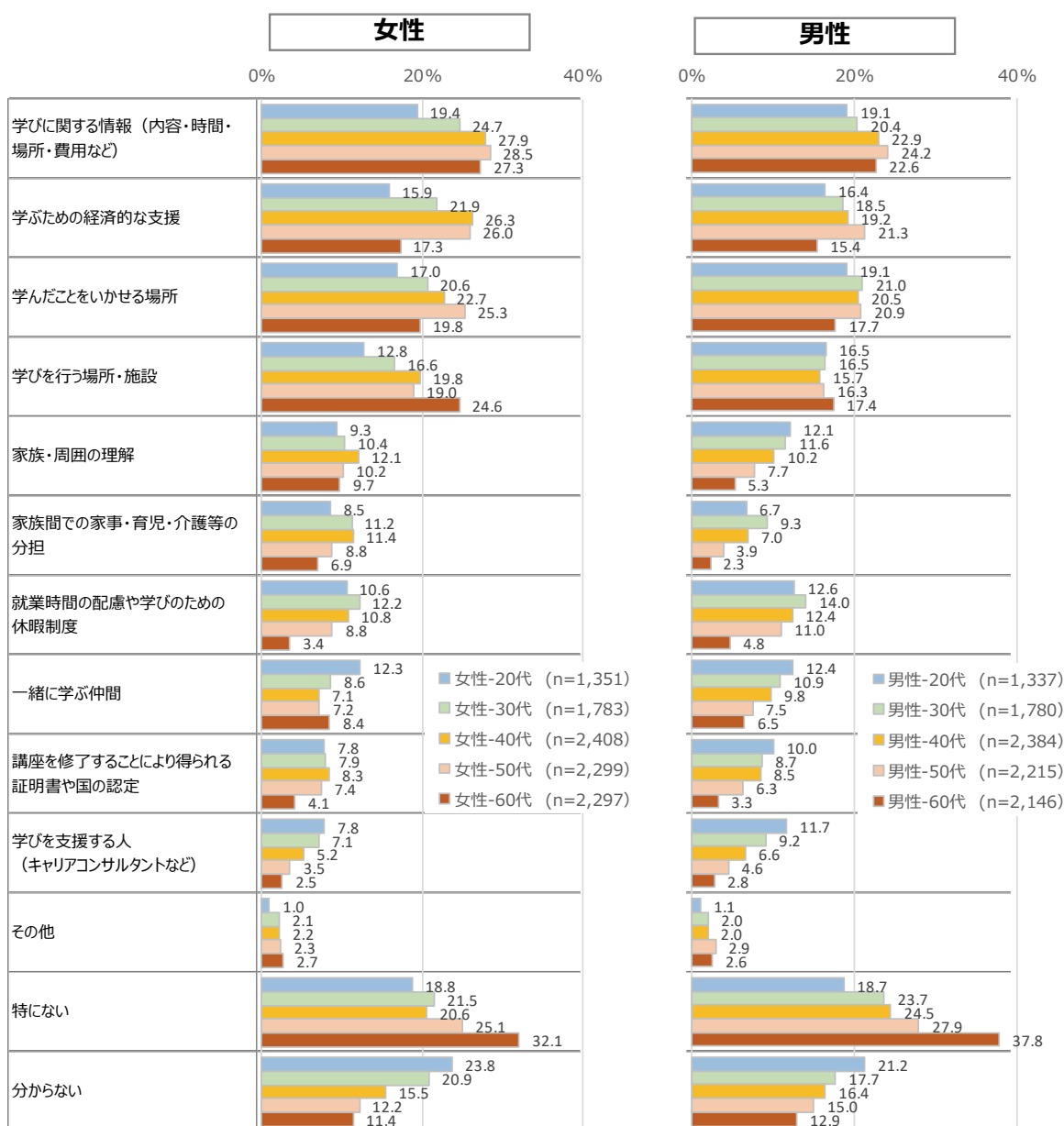
2. 広義の学びに対する意識

(7) 今後学ぶために必要なこと（複数回答・Q27）

【対象】全員

Q27. 今後、あなたが学ぶためには、どのようなことが必要ですか。

- 性年代別にみると、男女ともに全ての年代で「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」が最も高く、いずれも50代が最も高い。
- 男女差が最も大きい「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」をみると、40代で最も差が大きく、女性の方が5.0%ポイント高い。



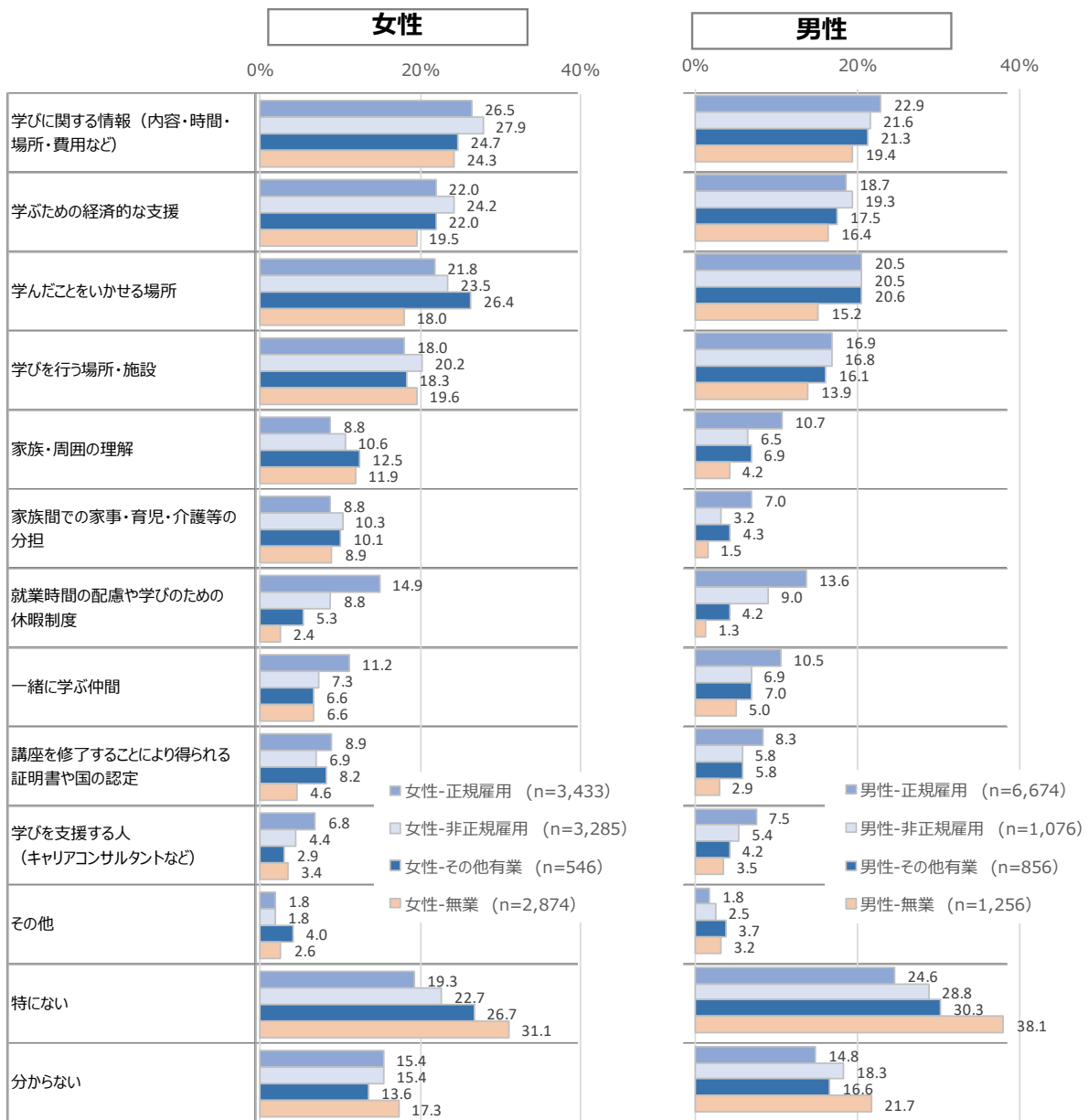
2. 広義の学びに対する意識

(7) 今後学ぶために必要なこと（複数回答・Q27）

【対象】全員

Q27. 今後、あなたが学ぶためには、どのようなことが必要ですか。

- 就業状態・雇用形態別にみると、女性はその他有業以外は「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」が最も高く、非正規雇用で27.9%、正規雇用で26.5%、無業で24.3%である。その他有業は「学んだことをいかせる場所」が26.4%で最も高い。
- 一方、男性は全ての就業状態・雇用形態で「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」が最も高く、正規雇用で22.9%、非正規雇用で21.6%を占める。
- 男女差が最も大きい「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）」は、非正規雇用では女性27.9%、男性21.6%と、女性の方が6.3ポイント高い。



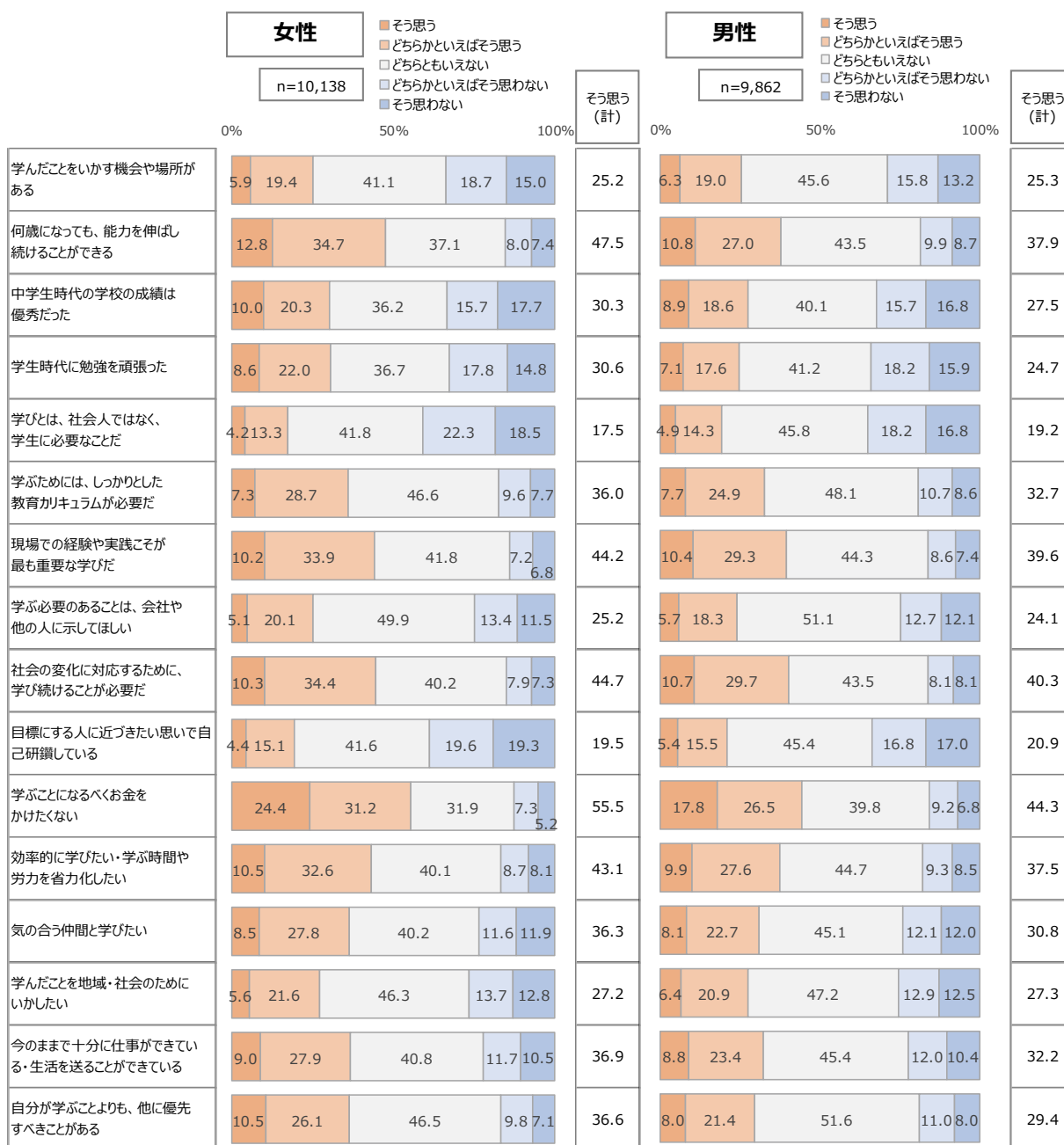
2. 広義の学びに対する意識

(8) 学ぶことへの意識 (マトリックス項目・単数回答・Q28)

【対象】全員

Q28. 下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。

- 性別に「そう思う（計）」をみると、女性は「学ぶことになるべくお金をかけたくない」が55.5%、次いで「何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる」が47.5%、男性は「学ぶことになるべくお金をかけたくない」が44.3%、次いで「社会の変化に対応するために、学び続けることが必要だ」が40.3%と高い。
- 男女差が最も大きい項目は「学ぶことになるべくお金をかけたくない」で、女性の方が11.2%ポイント高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」で算出

2. 広義の学びに対する意識

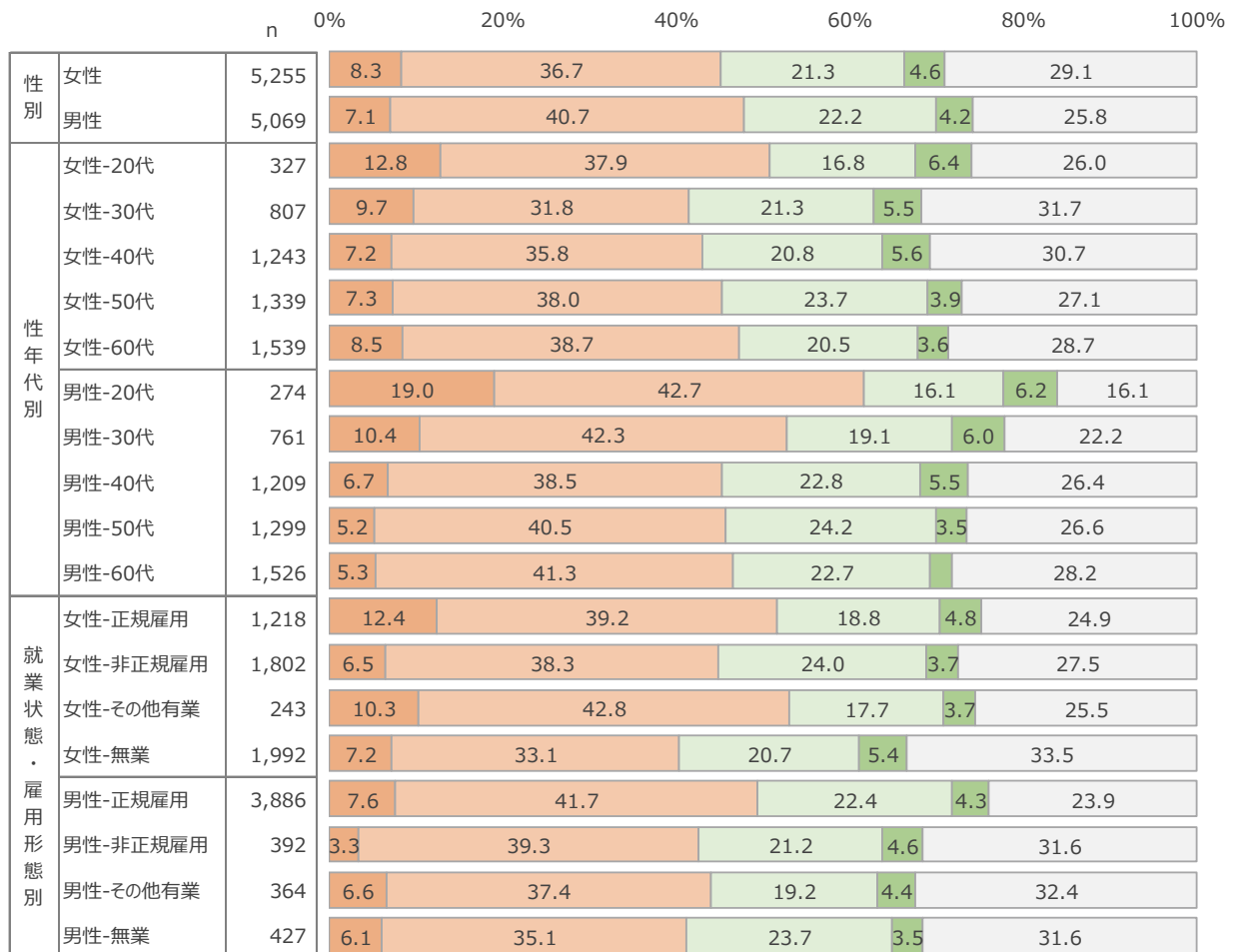
(9) 自身の学びに対する配偶者の姿勢（単数回答・Q29）

【対象】有配偶者

Q29.あなたご自身が学ぶことに対して、あなたの配偶者はどのような姿勢ですか。あなたが感じている配偶者の姿勢に近いものを教えてください。

- 性別にみると、男女ともに「学ぶことに対して理解がある」が最も高く、女性36.7%、男性40.7%。
- 性年代別にみると、男女ともに「学ぶことを積極的に支援してくれる」は20代で最も高く、男性の方が6.2%ポイント高い。
- 就業状態・雇用形態別にみると、女性は正規雇用で「学ぶことを積極的に支援してくれる」が12.4%、その他有業で10.3%と高い。一方、男性は全ての就業状態・雇用形態で「学ぶことを積極的に支援してくれる」は10%未満で、特に非正規雇用は3.3%と最も低い。

■ 学ぶことを積極的に支援してくれる
 ■ 学ぶことに対して理解がある
 ■ 学ぶことに対して無関心である
■ 学ぶことに否定的な姿勢である
 □ 分からない



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(1) 自身の学びに対する配偶者の姿勢（単数回答・Q29）

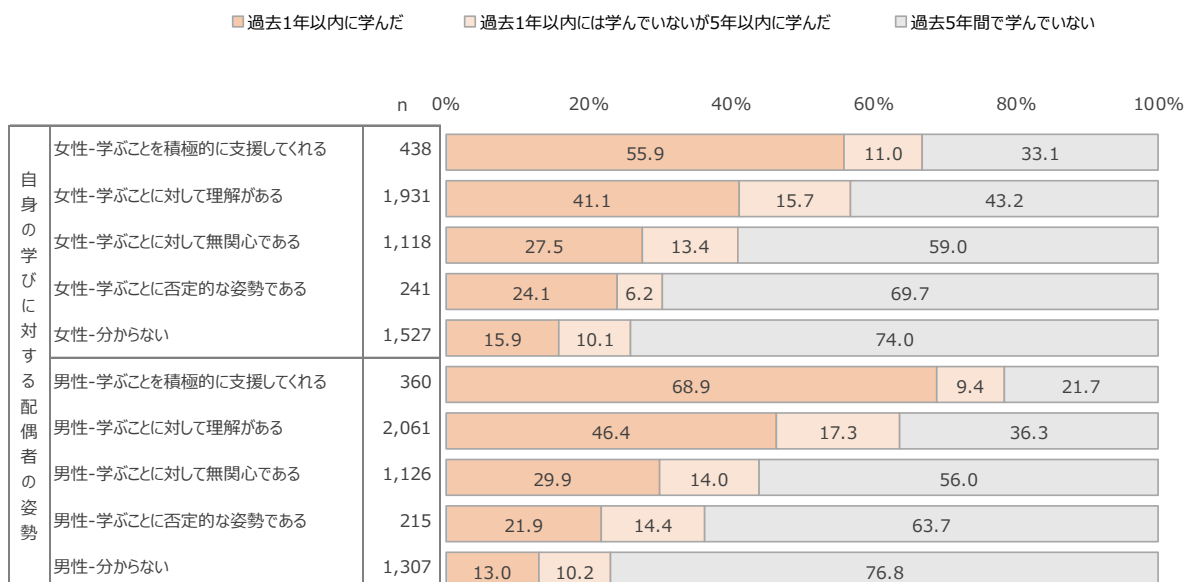
×学びの経験（マトリックス項目・単数回答・Q23 i～vi計）

【対象】有配偶者

Q29.あなたご自身が学ぶことに対して、あなたの配偶者はどのような姿勢ですか。あなたが感じている配偶者の姿勢に近いものを教えてください。

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 自身の学びに対する配偶者の姿勢別に「過去1年以内に学んだ」をみると、男女とも学ぶことを積極的に支援してくれる層が最も高く、女性55.9%、男性68.9%。
- 男女差が最も大きい層は学ぶことを積極的に支援してくれる層で、男性の方が13.0%ポイント高い。



※分析軸について Q29「自身の学びに対する配偶者の姿勢」の回答に基づき記載

※選択肢について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工

- 過去1年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」を選択
- 過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ : 全ての項目で「過去1年以内に学んだ」の選択がなく、1つ以上の項目で「過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ」を選択
- 過去5年間で学んでいない : 全ての項目で「過去5年間で学んでいない」を選択

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(2) 仕事以外の学びへの意欲（マトリクス項目・単数回答・Q22 ii～vi）

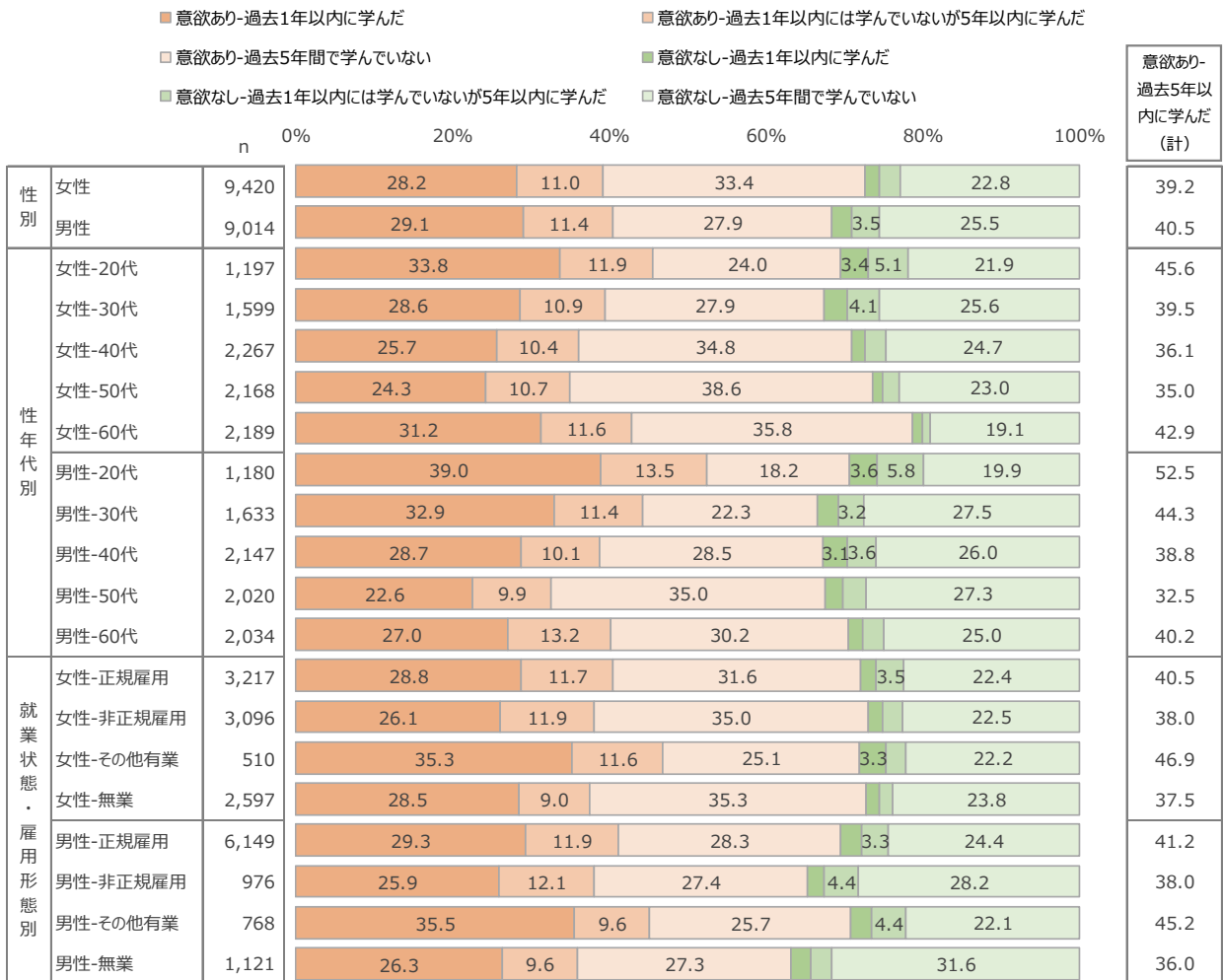
×仕事以外の学びの経験（マトリクス項目・単数回答・Q23 ii～vi）

【対象】全員

Q22.あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 広義の学びについて、意欲があり過去5年以内に学んだ割合を性別にみると、女性は39.2%、男性は40.5%。
- 「意欲あり-過去5年間で学んでいない」で、男女差が最も大きく、女性の方が5.5ポイント高い。
- 意欲があり過去5年以内に学んだ割合を、性年代別にみると、男女とも20代が最も高く、女性45.6%、男性52.5%、女性は次いで60代で42.9%、男性は次いで30代で44.3%。
- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともにその他有業が最も高く、女性46.9%、男性45.2%。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

※「意欲あり-過去5年以内に学んだ (計)」=「意欲あり-過去1年以内に学んだ」+「意欲あり-過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ」で算出

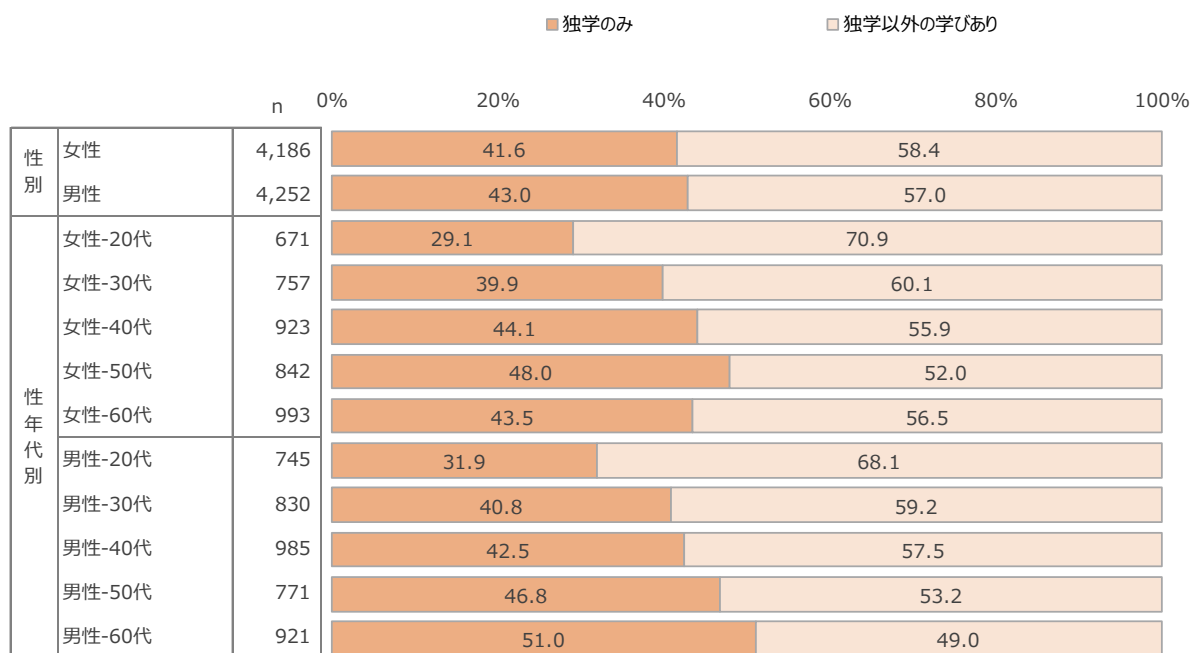
2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(3) 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態（複数回答・Q24）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q24.どのように学びましたか。有料・無料を問わず、お答えください。

- 過去5年以内に広義の学びをした人について、仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態を性別にみると、「独学のみ」の女性は41.6%、男性は43.0%。
- 性年代別にみると、「独学のみ」は、女性は50代が48.0%と最も高く、男性は60代が51.0%で最も高い。
- 男女差が最も大きい年代は60代で、男性の方が7.5%ポイント高い。



※分析軸について、Q24「仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態」の回答により、以下のように選択肢を加工
 独学のみ：選択肢1-2「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」「独学（動画配信サイトなど）」のみを選択した
 （選択肢3-11は選択していない）
 独学以外の学びあり：選択肢3-11「詳しい人に話を聞く」～「その他」のいずれかを選択した

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(4) 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態（複数回答・Q24）

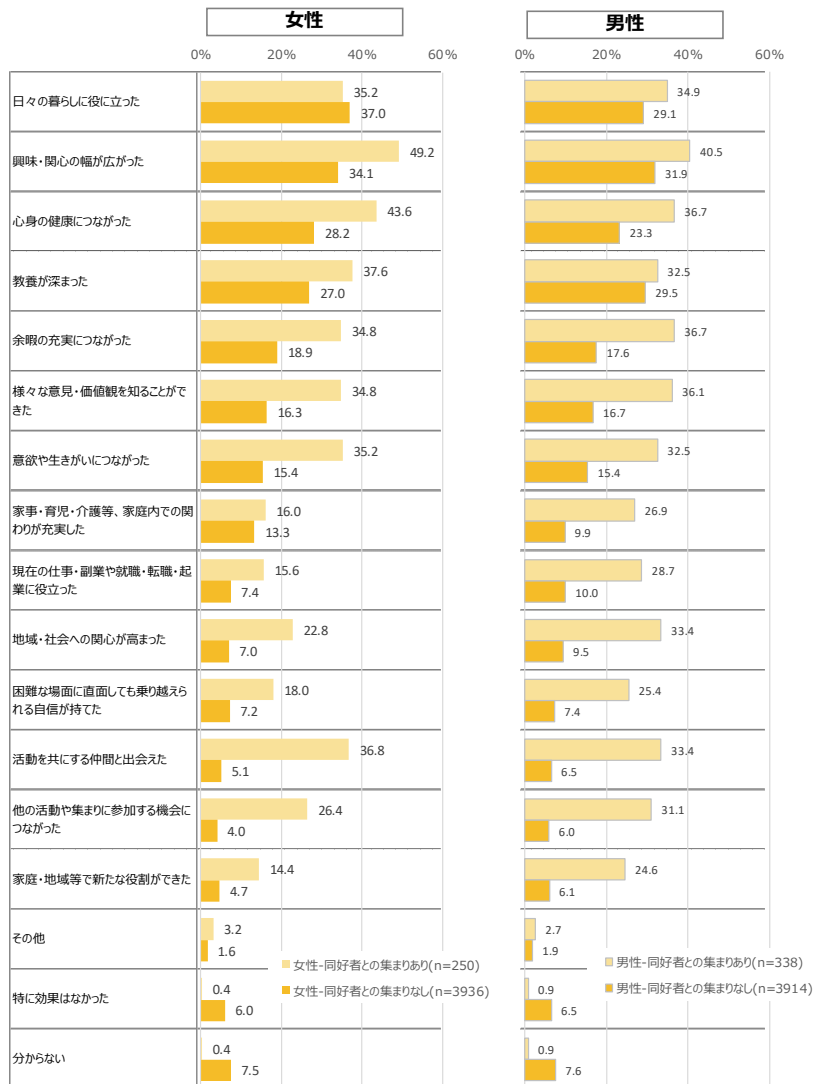
×仕事や職業キャリア以外の学びの効果（複数回答・Q25）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q24.どのように学びましたか。有料・無料を問わず、お答えください。

Q25.あなたご自身がこれらのことを学んだことで、どのような効果を感じましたか。現在も学び続けている場合は、いま感じている効果を教えてください。

- 過去5年以内に広義の学びをした人について、仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態別に学びの効果をみると、女性は「日々の暮らしに役に立った」以外の全項目、男性は全ての項目で、同好者との集まりがある人の方が、ない人に比べ学びの効果を感じている割合が高い。
- 女性では「活動を共にする仲間と出会えた」、「他の活動や集まりに参加する機会につながった」、「意欲や生きがいにつながった」で特に差が大きい。
- 男性では「活動を共にする仲間と出会えた」、「他の活動や集まりに参加する機会につながった」、「地域・社会への関心が高まった」で特に差が大きい。



※分析軸について

Q24「仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態」の回答により、以下のように分析軸を加工

同好者との集まりあり：選択肢5「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択した

同好者との集まりなし：選択肢5「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択していない

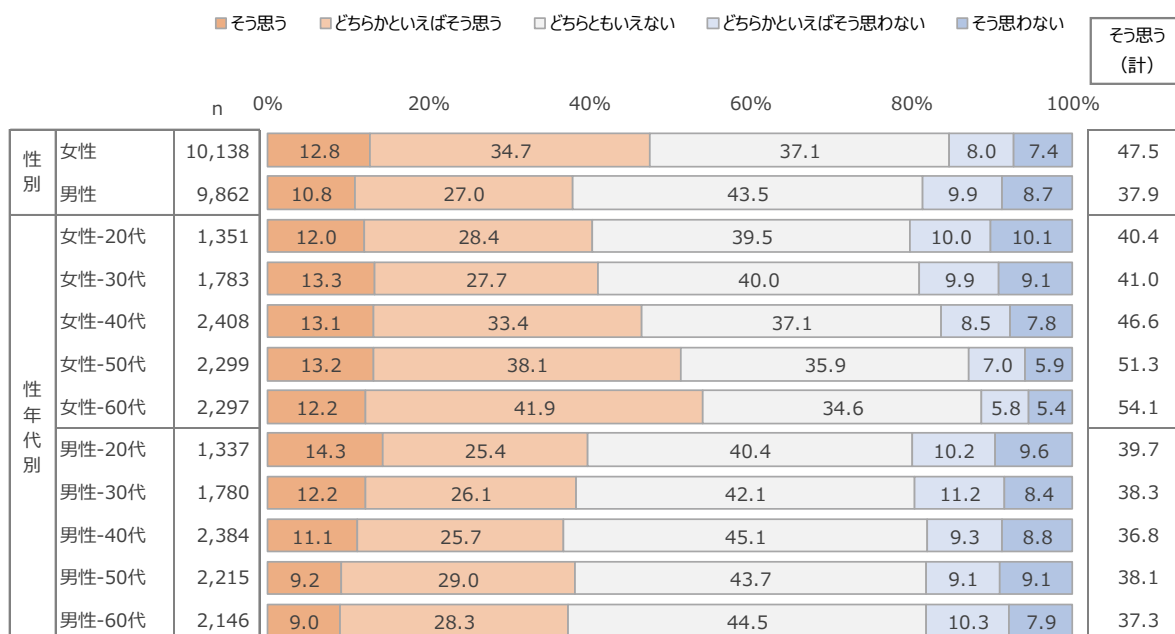
2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(5) 学ぶことへの意識 何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる（単数回答・Q28）

【対象】全員

Q28. 下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。

- 性別に「そう思う（計）」をみると、女性は47.5%、男性は37.9%と、女性の方が9.6%ポイント高い。
- 性年代別に「そう思う（計）」をみると、女性は上の年代ほど高く、60代で54.1%、男性は年代による差はあまりないが、20代が39.7%で最も高い。
- 男女差が最も大きい年代は60代で、女性の方が16.8%ポイント高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」で算出

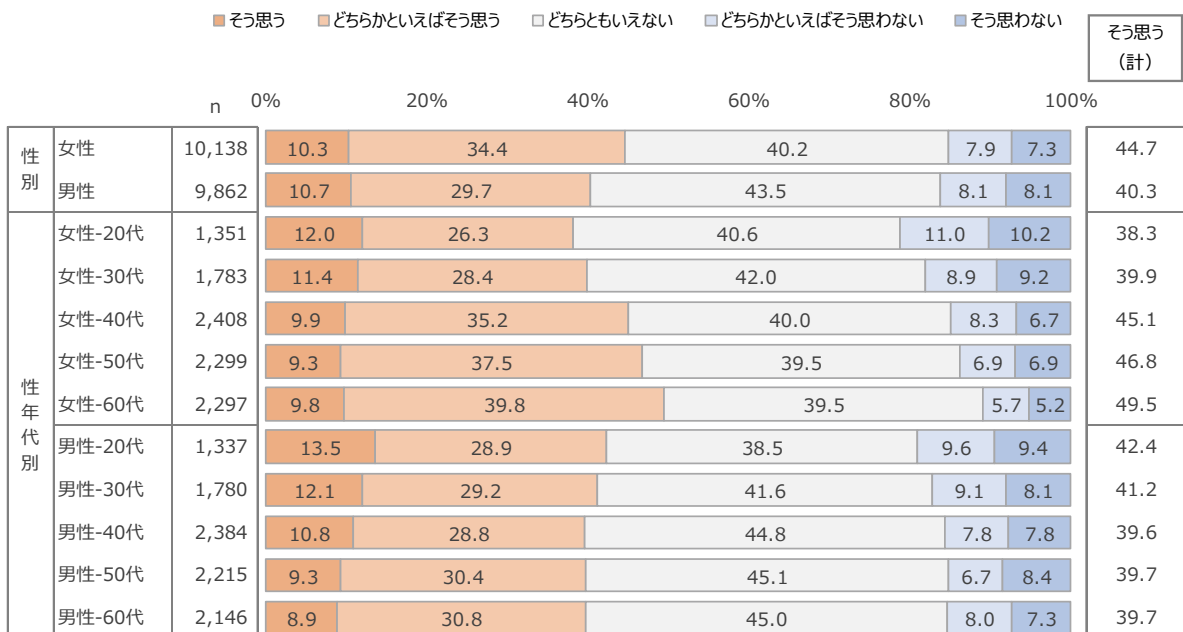
2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(6) 学ぶことへの意識 社会の変化に対応するために、学び続けることが必要だ (単数回答・Q28)

【対象】全員

Q28. 下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。

- 性別に「そう思う（計）」をみると、女性は44.7%、男性は40.3%と、女性の方が4.4%ポイント高い。
- 性年代別にみると、女性は上の年代ほど高く、60代が49.5%、男性は年代による差はあまりないが、20代が42.4%で最も高い。
- 男女差が最も大きい年代は60代で、女性の方が9.8%ポイント高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」で算出

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(7) 自身の学びに対する配偶者の姿勢（単数回答・Q29）

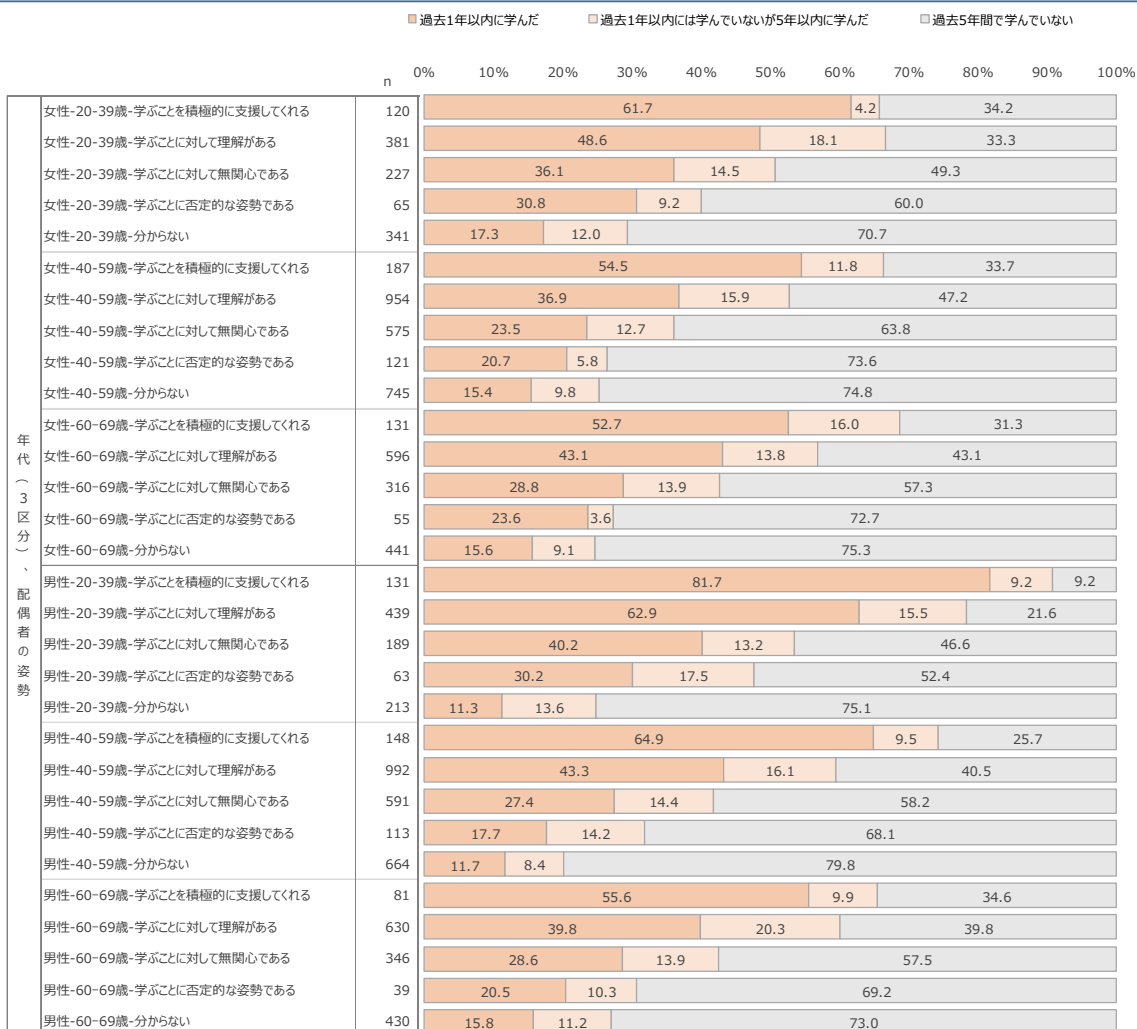
×学びの経験（マトリックス項目・単数回答・Q23 i ~vi計）

【対象】有配偶者

Q29.あなたご自身が学ぶことに対して、あなたの配偶者はどのような姿勢ですか。あなたが感じている配偶者の姿勢に近いものを教えてください。

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 年代3区分×自身の学びに対する配偶者の姿勢別に「過去1年以内に学んだ」割合をみると、男女とも20-39歳は配偶者の姿勢との関係が深い。
- 特に、男性20-39歳は、配偶者が学ぶことを積極的に支援してくれる層で、「過去1年以内に学んだ」割合が81.7%、分からない層では11.3%と、70.4%ポイントの差がある。



※分析軸について Q29「自身の学びに対する配偶者の姿勢」の回答に基づき記載

※選択肢について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工

過去1年以内に学んだ

: 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」を選択

過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ

: 全ての項目で「過去1年以内に学んだ」の選択がなく、1つ以上の項目で「過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ」を選択

過去5年間で学んでいない

: 全ての項目で「過去5年間で学んでいない」を選択

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(8) 多様な働き方の利用状況（複数回答・Q17）

×学びの経験（マトリックス項目・単数回答・Q23 i～vi計）

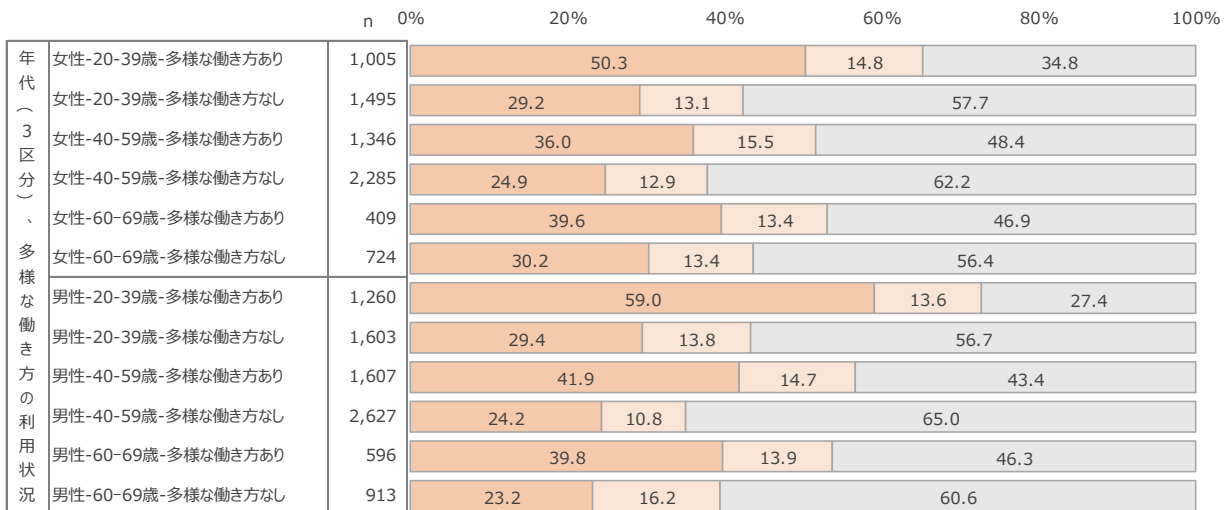
【対象】全員

Q17.あなたが現在利用している働き方を教えてください。

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 年代3区分×多様な働き方の利用状況別に「過去1年以内に学んだ」割合をみると、男女とも20-39歳は多様な働き方の利用の有無による差が大きい。
- 特に、男性20-39歳は多様な働き方あり層は、「過去1年以内に学んだ」割合が59.0%、多様な働き方なし層は29.4%と、29.6%ポイントの差がある。

■ 過去1年以内に学んだ □ 過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ ▨ 過去5年間で学んでいない



※分析軸について

Q17「多様な働き方の利用状況」の回答により、以下のように分析軸を加工

多様な働き方あり：選択肢1～7 「リモートワーク・テレワーク」～「その他の多様な働き方」いずれかを選択した

多様な働き方なし：選択肢8 「該当するものはない」を選択した

※選択肢について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工

過去1年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」を選択

過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ : 全ての項目で「過去1年以内に学んだ」の選択がなく、1つ以上の項目で「過去1年以内に学んで

いないが5年以内に学んだ」を選択

過去5年間で学んでいない : 全ての項目で「過去5年間で学んでいない」を選択

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(9) 勤務先の企業規模（単数回答・Q14）×仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関する学びへの意欲（単数回答・Q22 i）

【対象】有業者（勤務先が官公庁を除く）

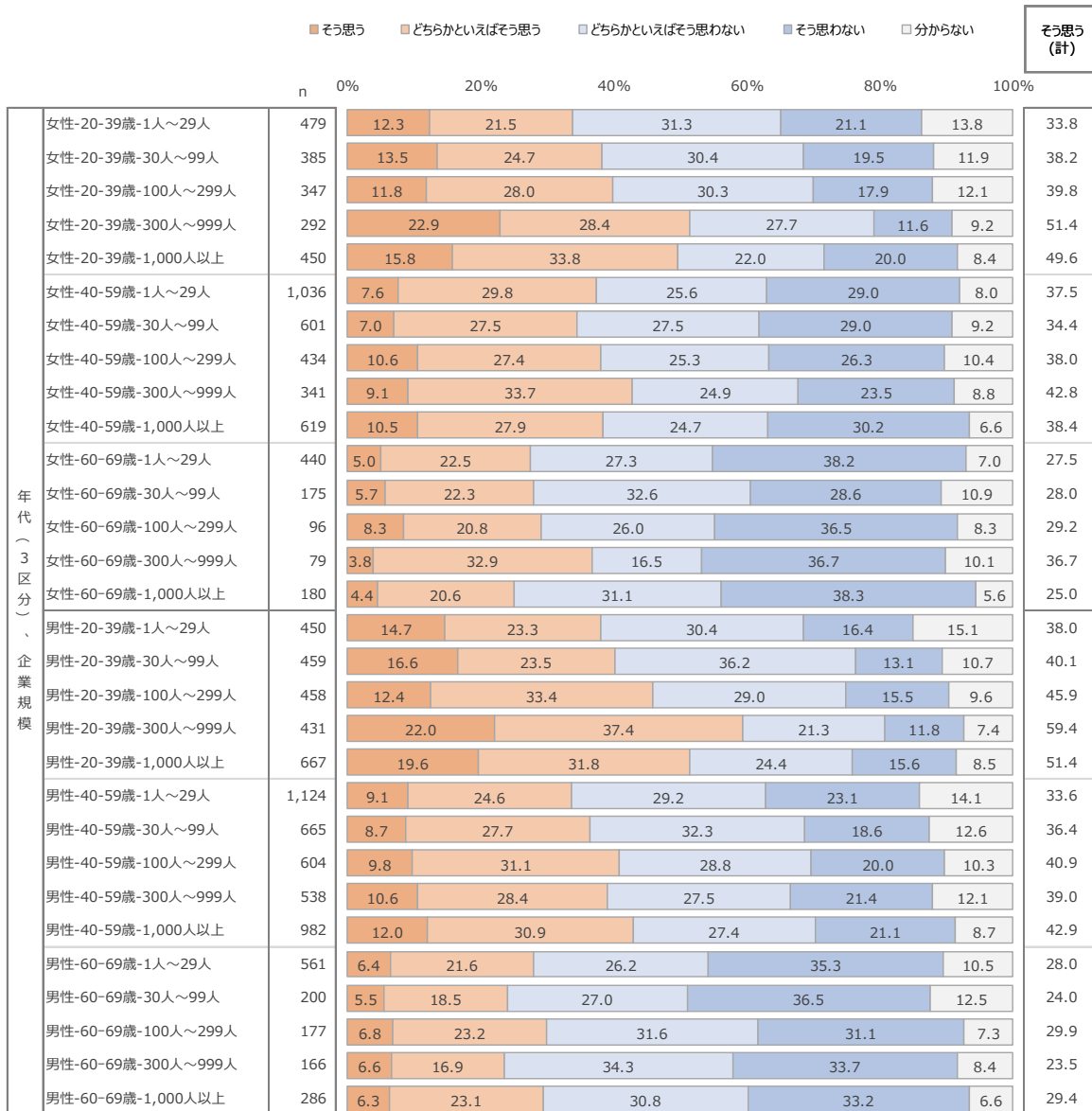
Q14.現在のあなたの勤務先の企業規模を教えてください。

※本社、支店、工場なども含めた従業員総数をお答えください（グループ会社や子会社は含みません）。なお、パートなどを含みます。

※官公庁にお勤めの方は、「官公庁」とお答えください。

Q22.あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 年代3区分、勤務先の企業規模別に仕事や職業キャリアに関する学びへの意欲をみると、「そう思う（計）」は、男女ともに20-39歳の企業規模300人～999人で高く、女性は51.4%、男性は59.4%。
- 「そう思う（計）」について男女差が最も大きい属性は、60-69歳の企業規模300人～999人で、女性36.7%、男性23.5%と、女性の方が13.2%ポイント高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」で算出

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(10) 勤務先の企業規模（単数回答・Q14）×仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関する学びの経験（単数回答・Q23 i）

【対象】有業者（勤務先が官公庁を除く）

Q14.現在のあなたの勤務先の企業規模を教えてください。

※本社、支店、工場なども含めた従業員総数をお答えください（グループ会社や子会社は含みません）。なお、パートなどを含みます。
※官公庁にお勤めの方は、「官公庁」とお答えください。

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 年代3区分、勤務先の企業規模別に「過去1年以内に学んだ」をみると、男女ともに20-39歳の企業規模300人～999人で高く、女性は29.5%、男性は38.3%。
- 「過去1年以内に学んだ」について男女差が最も大きい属性は60-69歳の企業規模300人～999人で、女性21.5%、男性10.2%と、女性の方が11.3%ポイント高い。

■ 過去1年以内に学んだ □ 過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ □ 過去5年間で学んでいない

n 0% 20% 40% 60% 80% 100%

年代（3区分）、企業規模	n	%		
		過去1年以内に学んだ	過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ	過去5年間で学んでいない
女性-20-39歳-1人～29人	479	14.8	18.0	67.2
女性-20-39歳-30人～99人	385	17.9	17.7	64.4
女性-20-39歳-100人～299人	347	21.0	17.6	61.4
女性-20-39歳-300人～999人	292	29.5	20.2	50.3
女性-20-39歳-1,000人以上	450	23.6	16.4	60.0
女性-40-59歳-1人～29人	1,036	12.8	10.8	76.4
女性-40-59歳-30人～99人	601	12.3	12.0	75.7
女性-40-59歳-100人～299人	434	13.8	11.3	74.9
女性-40-59歳-300人～999人	341	15.5	13.5	71.0
女性-40-59歳-1,000人以上	619	14.7	12.1	73.2
女性-60-69歳-1人～29人	440	14.3	9.5	76.1
女性-60-69歳-30人～99人	175	14.9	14.9	70.3
女性-60-69歳-100人～299人	96	13.5	10.4	76.0
女性-60-69歳-300人～999人	79	21.5	7.6	70.9
女性-60-69歳-1,000人以上	180	13.3	9.4	77.2
男性-20-39歳-1人～29人	450	21.3	16.4	62.2
男性-20-39歳-30人～99人	459	21.8	22.9	55.3
男性-20-39歳-100人～299人	458	25.8	17.5	56.8
男性-20-39歳-300人～999人	431	38.3	17.9	43.9
男性-20-39歳-1,000人以上	667	30.1	17.8	52.0
男性-40-59歳-1人～29人	1,124	12.2	10.6	77.2
男性-40-59歳-30人～99人	665	13.8	13.5	72.6
男性-40-59歳-100人～299人	604	16.7	13.2	70.0
男性-40-59歳-300人～999人	538	17.1	16.2	66.7
男性-40-59歳-1,000人以上	982	21.3	12.6	66.1
男性-60-69歳-1人～29人	561	12.7	11.6	75.8
男性-60-69歳-30人～99人	200	8.0	11.5	80.5
男性-60-69歳-100人～299人	177	13.0	9.6	77.4
男性-60-69歳-300人～999人	166	10.2	18.1	71.7
男性-60-69歳-1,000人以上	286	13.3	10.1	76.6

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(11) 最終学歴（単数回答・Q7）

× 学びへの意欲（マトリックス項目・単数回答・Q22 i～vi計）

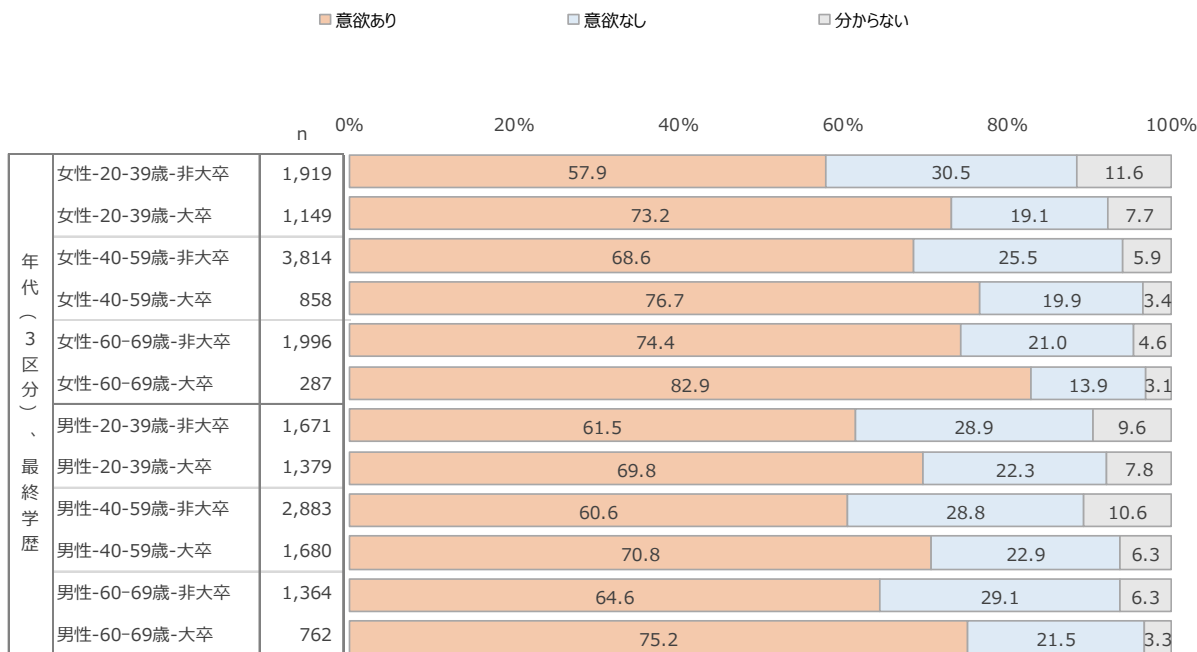
【対象】全員

Q7.あなたの最終学歴を教えてください。

※学位が授与される大学校の場合は、取得した学位に該当する選択肢をお答えください（学士であれば「大学（学士）」）。

Q22.あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 年代3区分、最終学歴別に学びへの「意欲あり」をみると、男女ともに最終学歴による差が大きい。特に、女性20-39歳は、大卒では73.2%、非大卒では57.9%と、大卒の方が15.3%ポイント高い。
- 60-69歳の非大卒で男女差が最も大きく、女性で74.4%、男性で64.6%と、女性の方が9.8%ポイント高い。



※分析軸について Q7「最終学歴」の回答に基づき記載

※選択肢について Q22の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工

意欲あり：1つ以上の項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択

意欲なし：全ての項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の選択がなく、1つ以上の項目で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択

分からない：全ての項目で「分からない」を選択

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(12) 最終学歴（単数回答・Q7）

×学びの経験（マトリックス項目・単数回答・Q23 i～vi計）

【対象】全員

Q7.あなたの最終学歴を教えてください。

※学位が授与される大学校の場合は、取得した学位に該当する選択肢をお答えください（学士であれば「大学（学士）」）。

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 年代3区分、最終学歴別に「過去1年以内に学んだ」をみると、男女ともに最終学歴による差が大きい。特に、女性20-39歳は、大卒は44.7%、非大卒層では29.2%と、大卒の方が15.5%ポイント高い。
- 60-69歳の大卒で男女差が最も大きく、女性で45.6%、男性で36.1%と、女性の方が9.5%ポイント高い。

■過去1年以内に学んだ □過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ □過去5年間で学んでいない

		n	0%	20%	40%	60%	80%	100%
年代 (3 区 分) 、 最 終 学 歴	女性-20-39歳-非大卒	1,919		29.2	14.4		56.4	
	女性-20-39歳-大卒	1,149		44.7		12.1	43.2	
	女性-40-59歳-非大卒	3,814		25.6	13.2		61.2	
	女性-40-59歳-大卒	858		40.0		10.8	49.2	
	女性-60-69歳-非大卒	1,996		31.4		11.7	56.9	
	女性-60-69歳-大卒	287		45.6		14.3	40.1	
	男性-20-39歳-非大卒	1,671		37.0		14.0	49.0	
	男性-20-39歳-大卒	1,379		46.0		12.5	41.5	
	男性-40-59歳-非大卒	2,883		26.8		12.0	61.2	
	男性-40-59歳-大卒	1,680		37.0		11.5	51.4	
	男性-60-69歳-非大卒	1,364		26.2		16.6	57.3	
	男性-60-69歳-大卒	762		36.1		13.1	50.8	

※分析軸について Q7「最終学歴」の回答に基づき記載

※選択肢について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工

過去1年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」を選択

過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ : 全ての項目で「過去1年以内に学んだ」の選択がなく、1つ以上の項目で「過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ」を選択

過去5年間で学んでいない : 全ての項目で「過去5年間で学んでいない」を選択

2. 広義の学びに対する意識【追加分析】

(13) 最終学歴（単数回答・Q7）×仕事や職業キャリア以外で学びへの意欲はあるが1年以内に学びの経験がない理由（複数回答・Q26）

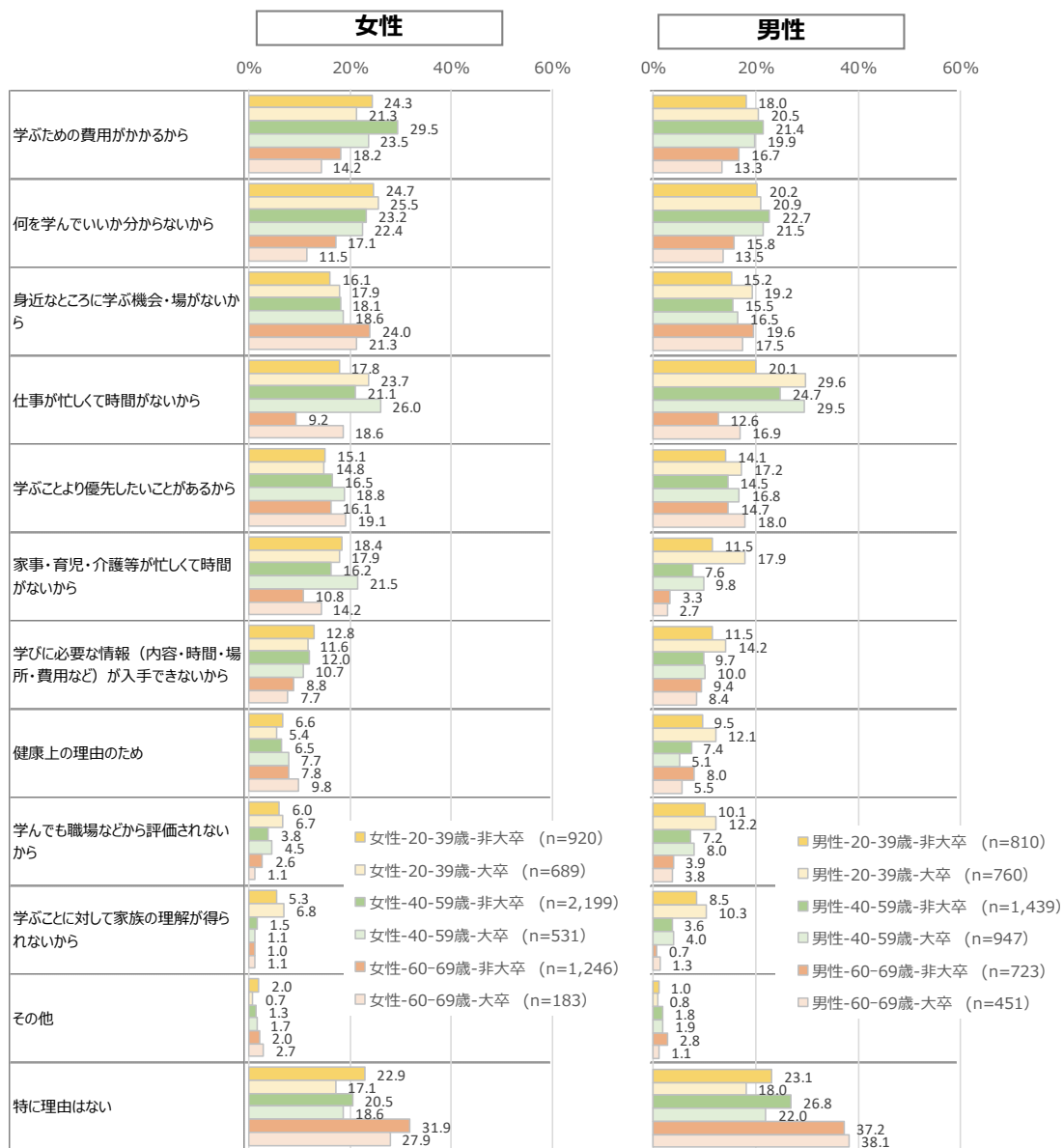
【対象】Q22及びQ23の ii～viのうち、学びへの意欲はあるが過去1年以内に学んでいない項目が1項目以上ある人

Q7.あなたの最終学歴を教えてください。

※学位が授与される大学校の場合は、取得した学位に該当する選択肢をお答えください（学士であれば「大学（学士）」）。

Q26.あなたが、過去1年以内に学んでいない理由を教えてください。

- 年代3区分、最終学歴別に学びへの意欲はあるが学びの経験がない理由をみると、男性20-39歳の「仕事が忙しくて時間がないから」で最終学歴による差が最も大きく、大卒で29.6%、非大卒で20.1%と大卒の方が9.5%ポイント高い。
- 40-59歳大卒と60-69歳大卒の「家事・育児・介護等が忙しくて時間がないから」で男女差が大きく、40-59歳大卒では、女性21.5%、男性9.8%と、女性の方が11.7%ポイント高く、60-69歳大卒では、女性14.2%、男性2.7%と、女性の方が11.5%ポイント高い。



※分析軸について Q7「最終学歴」の回答に基づき記載

3. デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識

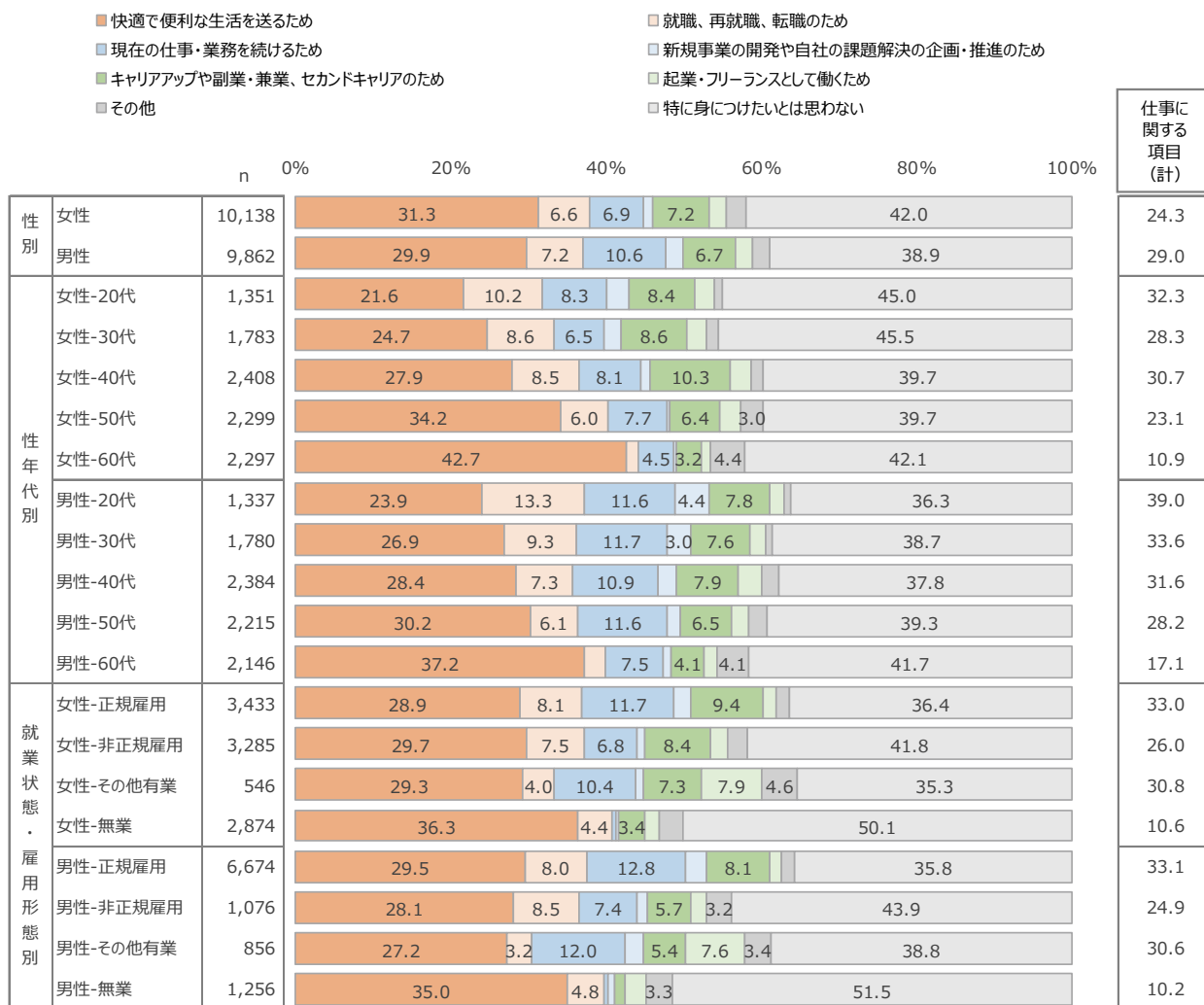
(1) デジタルツールに関する知識やスキルの習得に対する意向（目的別）（単数回答・Q30）

【対象】全員

Q30.あなたは、デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思いますか。身につけたい理由として最も近いものを教えてください。

※実際に仕事や私生活で活用・発揮する機会があるかどうかにかかわらず、知識として身につけたいものをお答えください。
 ※既に身につけているデジタルツールに関するスキルでも、今後もそのスキルを維持・更新したい場合は身につけたいスキルとしてお答えください。

- 性別にみると、男女ともに「快適で便利な生活を送るため」が最も高く、女性が31.3%、男性が29.9%。「仕事に関する項目（計）」でみると、女性の方が4.7%ポイント低い。
- 性年代別にみると、男女ともに全ての年代で「快適で便利な生活を送るため」が最も高く、特に女性は60代で42.7%と最も高い。男性も60代が最も高く、37.2%。
- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともに正規雇用で「仕事に関する項目（計）」が高く、女性が33.0%、男性が33.1%と、あまり男女差はみられない。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

※「仕事に関する項目（計）」＝「就職、再就職、転職のため」＋「現在の仕事・業務を続けるため」＋「新規事業の開発や自社の課題解決の企画・推進のため」＋「キャリアアップや副業・兼業、セカンドキャリアのため」＋「起業・フリーランスとして働くため」で算出

3. デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識

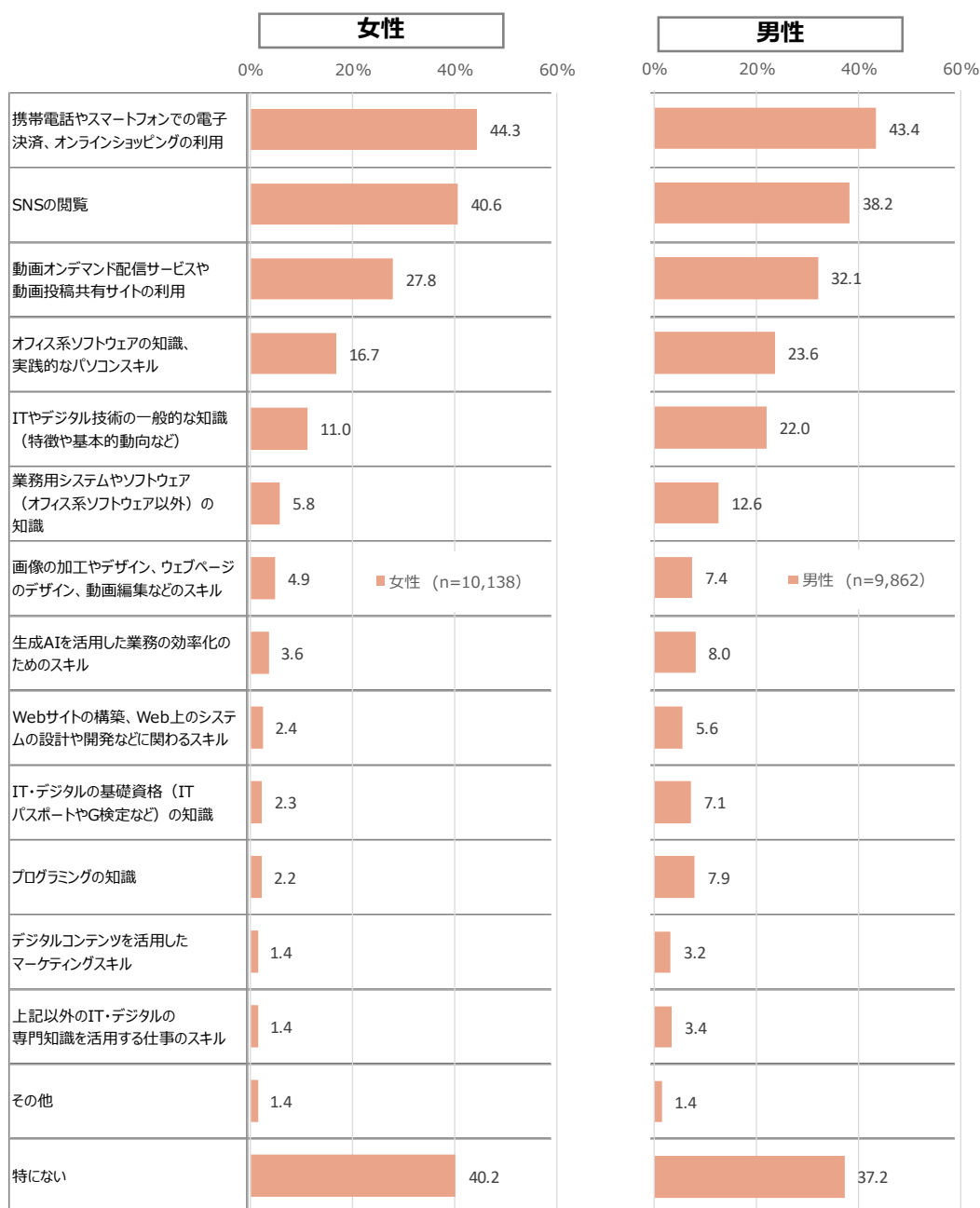
(2) 身につけているデジタルツールに関する知識やスキル（複数回答・Q31）

【対象】全員

Q31.あなたは、次のようなデジタルツールについて、基礎あるいはそれ以上の知識やスキルを持っていますか。

※実際に活用・発揮したことがないデジタルツールに関するスキルでも、知識がある場合は持っているとしてお答えください。

- 性別にみると、男女ともに「携帯電話やスマートフォンでの電子決済、オンラインショッピングの利用」が最も高く、女性44.3%、男性43.4%。
- 男女差が最も大きい項目は「ITやデジタル技術の一般的な知識（特徴や基本的動向など）」で、女性11.0%、男性22.0%と、男性の方が11.0%ポイント高い。



3. デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識

(3) 今後身につけたいデジタルツールに関する知識やスキル（複数回答・Q32）

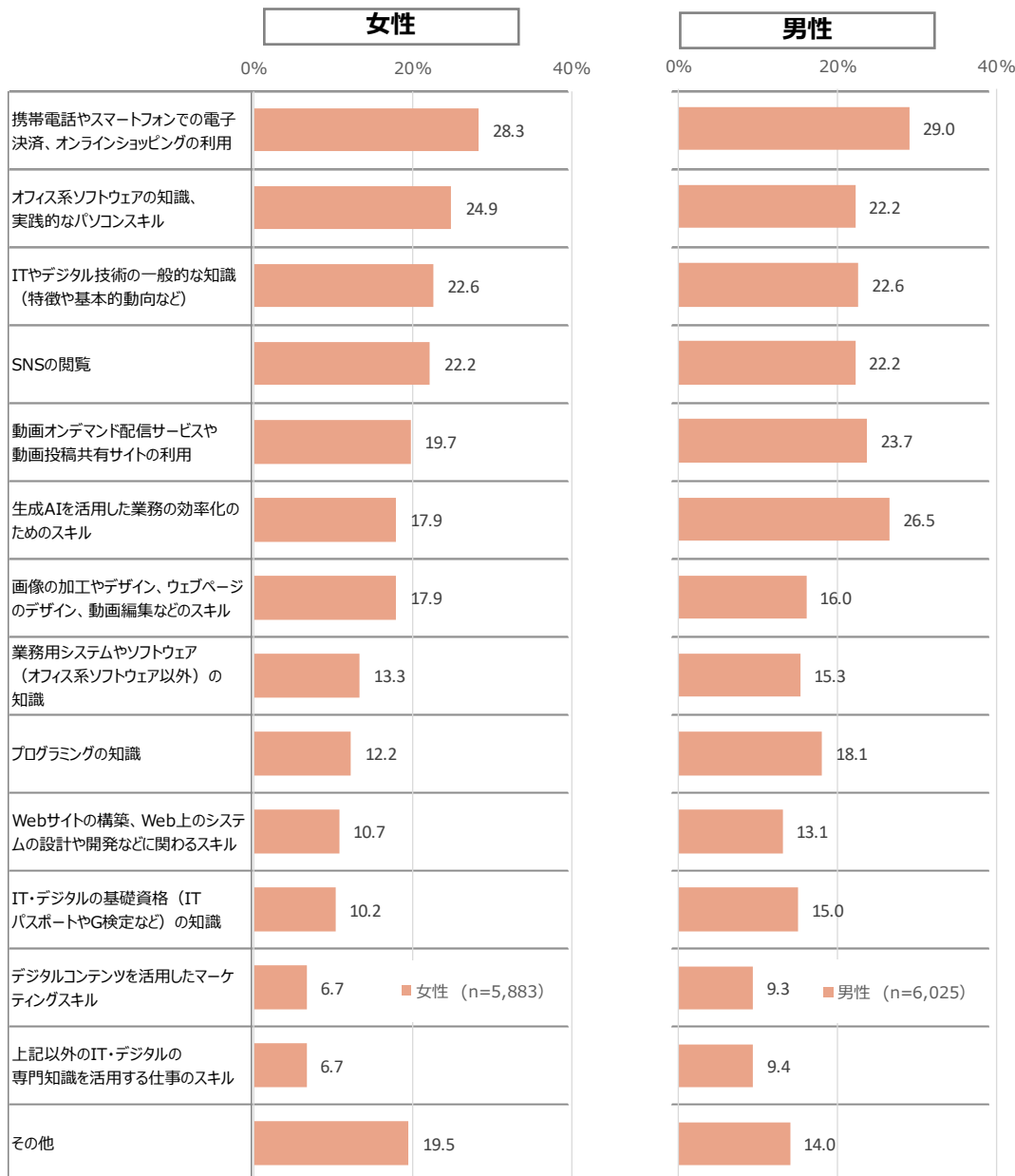
【対象】デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたい人

Q32.あなたが、今後身につけたい(維持や更新を含む)デジタルツールに関するスキルや知識はどのようなことですか。

※実際に仕事や私生活で活用・発揮する機会があるかどうかにかかわらず、知識として身につけたいものをお答えください。

※既に身につけているデジタルツールに関するスキルでも、今後もそのスキルを維持・更新したい場合は身につけたいスキルとしてお答えください。

- 性別にみると、女性は「携帯電話やスマートフォンでの電子決済、オンラインショッピングの利用」が28.3%と最も高く、次いで「オフィス系ソフトウェアの知識、実践的なパソコンスキル」が24.9%。
- 男性は、「携帯電話やスマートフォンでの電子決済、オンラインショッピングの利用」が29.0%と最も高く、次いで「生成AIを活用した業務の効率化のためのスキル」が26.5%。
- 男女差が最も大きい項目は「生成AIを活用した業務の効率化のためのスキル」で、女性17.9%、男性26.5%と男性の方が8.6%ポイント高い。



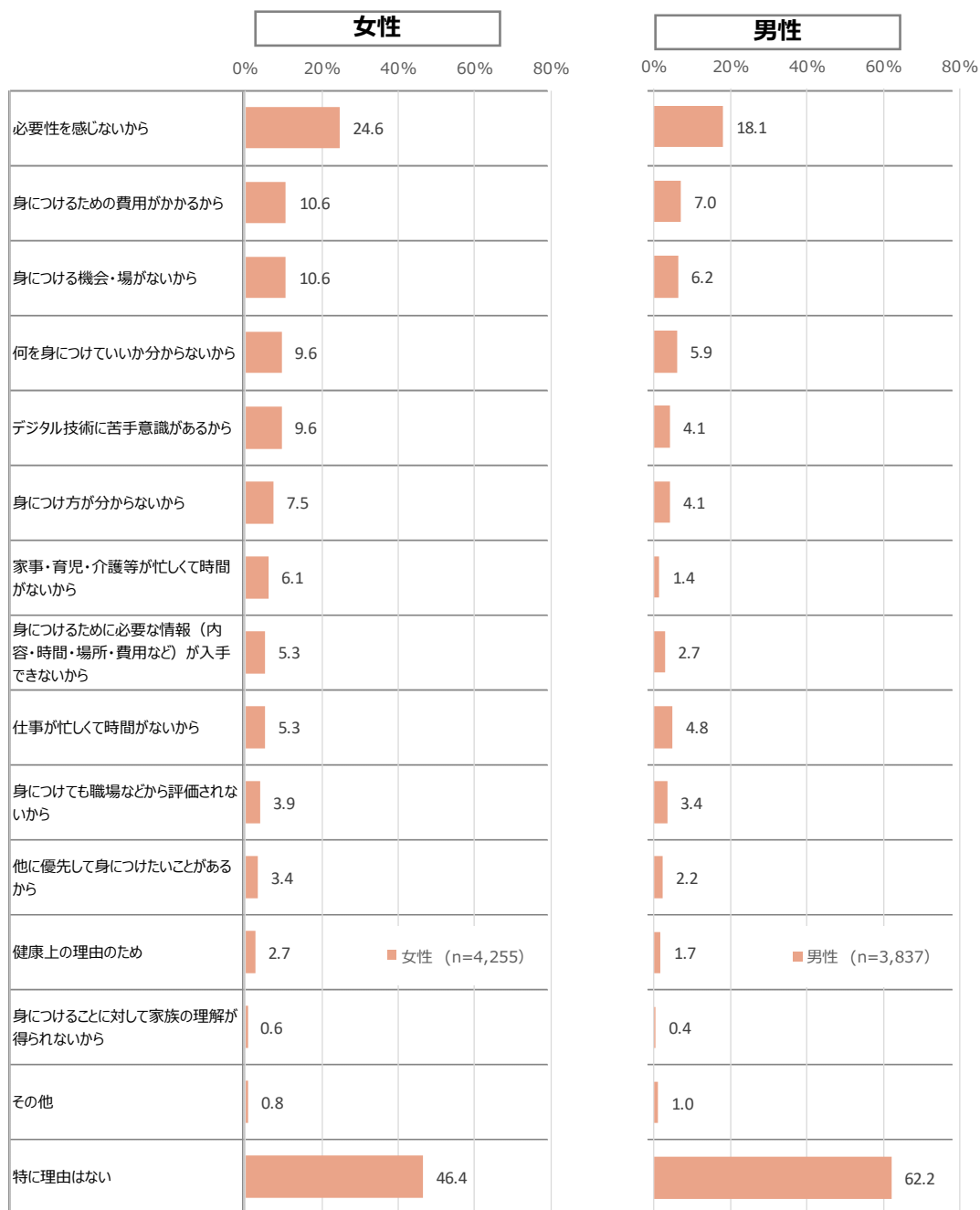
3. デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識

(4) デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない理由（複数回答・Q33）

【対象】デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない人

Q33. デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない理由をお答えください。

- 性別にみると、女性は、「必要性を感じないから」が24.6%と最も高く、次いで「身につけるための費用がかかるから」及び「身につける機会・場がないから」が10.6%。
- 男性は、「必要性を感じないから」が18.1%と最も高く、次いで「身につけるための費用がかかるから」が7.0%。
- 男女差が最も大きい項目は「必要性を感じないから」で、女性24.6%、男性18.1%と、女性の方が6.5%ポイント高い。



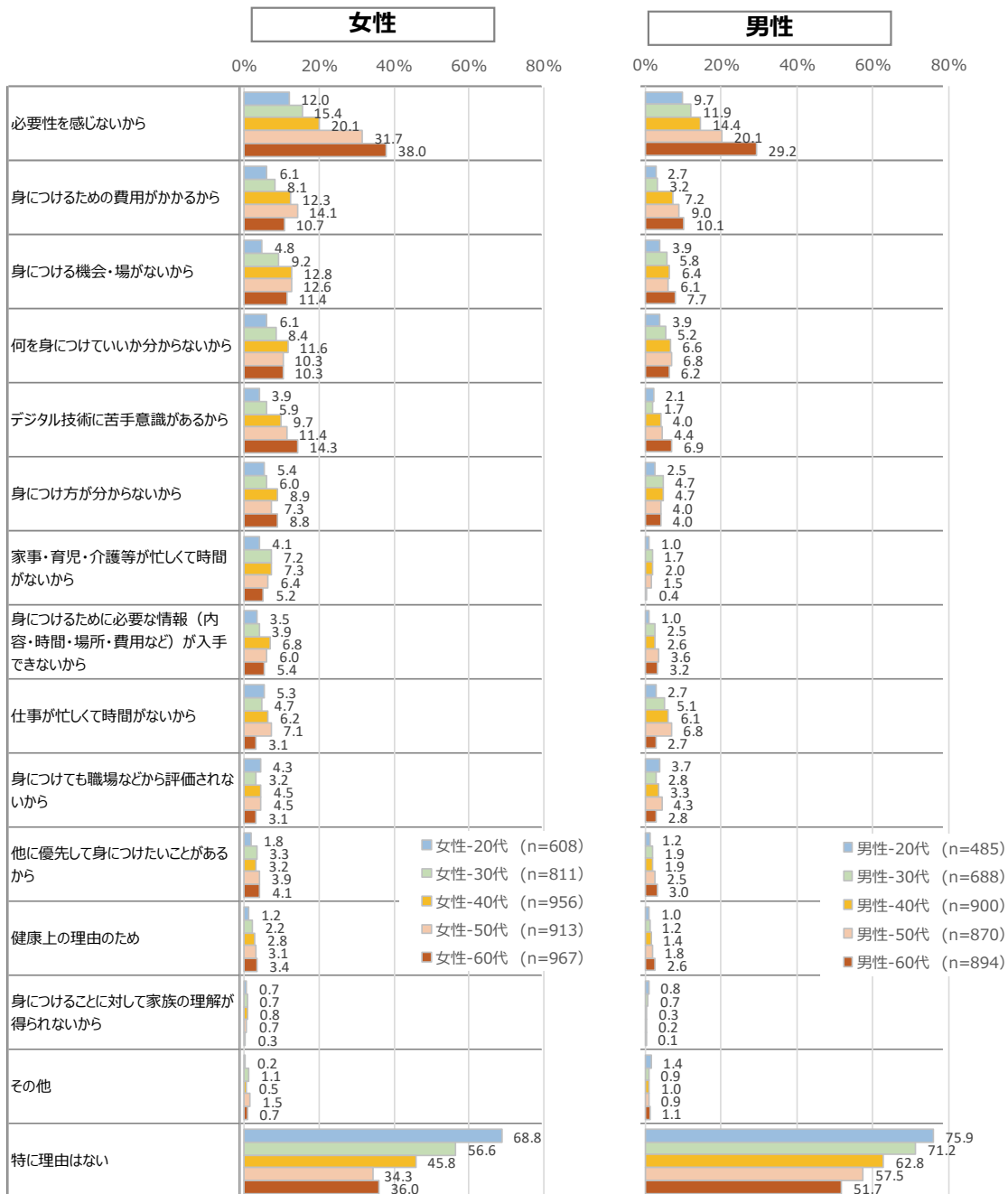
3. デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識

(4) デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない理由（複数回答・Q33）

【対象】デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない人

Q33. デジタルツールに関する知識やスキルを身につけたいと思わない理由をお答えください。

- 性年代別にみると、男女とも全年代で「必要性を感じないから」が最も高く、年代が上がるにつれ割合は高くなる傾向がみられる。
- 男女差が最も大きい「必要性を感じないから」をみると、50代で最も差が大きく、女性の方が11.6%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

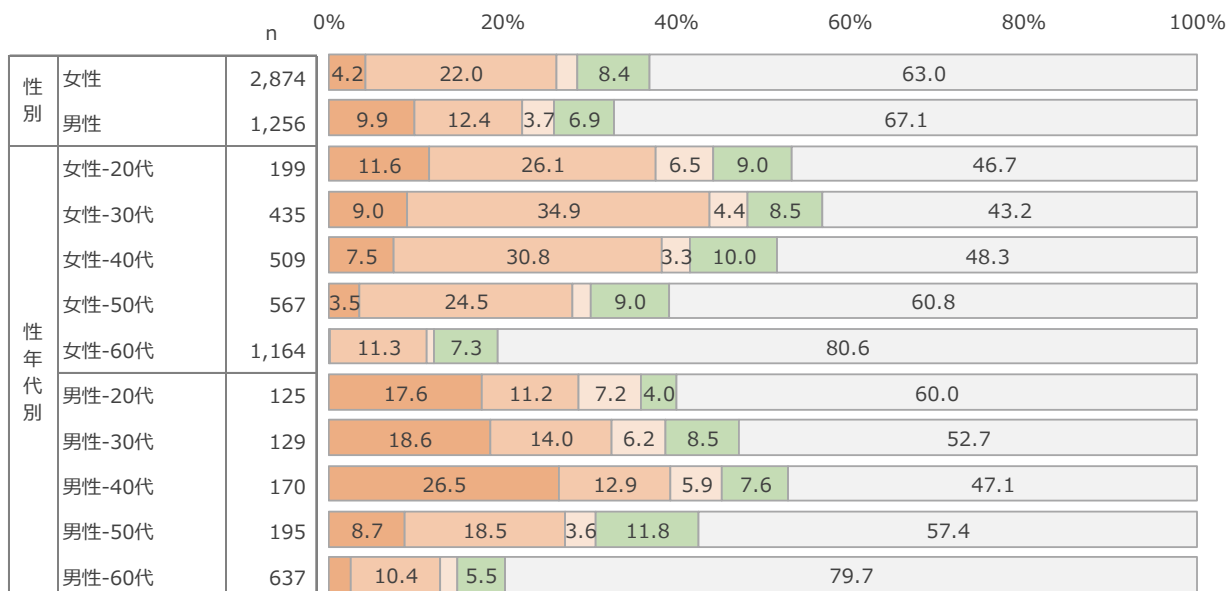
(1) 無業者の今後の就業意欲 (単数回答・Q34)

【対象】無業者

Q34.あなたは今後、働きたいと思いますか。

- 性別にみると、男女ともに「働きたいとは思わない」が最も高く、女性は63.0%、男性は67.1%で、男性の方がやや高い。
- 性年代別にみると、女性は年代が低いほど「正社員として働きたい」が高い。男性は40代までは年代が高いほど「正社員として働きたい」が高く、50代以上では大きく低下する。「パート・アルバイト等で働きたい」は全年代で女性が男性を大きく上回り、特に30代は女性34.9%、男性14.0%と、女性の方が20.9%ポイント高い。

■ 正社員として働きたい ■ パート・アルバイト等で働きたい ■ 自分で事業を始めたい ■ その他の形で働きたい □ 働きたいとは思わない



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

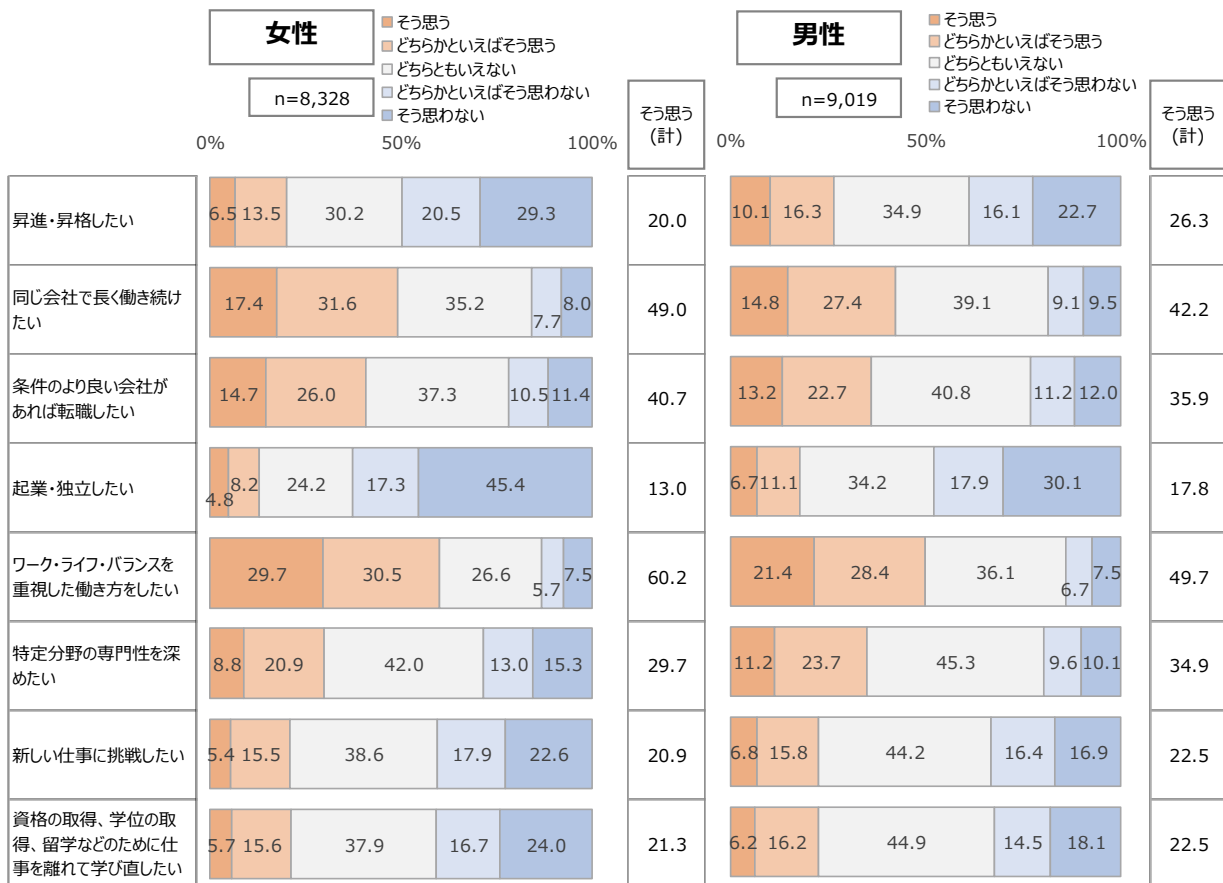
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(2) 仕事や職業キャリアへの意識 (マトリクス項目・単数回答・Q35)

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q35. 下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。

- 性別に「そう思う (計)」をみると、男女ともに「ワーク・ライフ・バランスを重視した働き方をしたい」が最も高く、女性60.2%、男性49.7%。次いで「同じ会社で長く働きたい」が女性49.0%、男性42.2%。
- 男女差が最も大きい項目は「ワーク・ライフ・バランスを重視した働き方をしたい」で、女性は「そう思う (計)」が男性より10.5ポイント高い。



※「そう思う (計)」 = 「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」で算出

4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

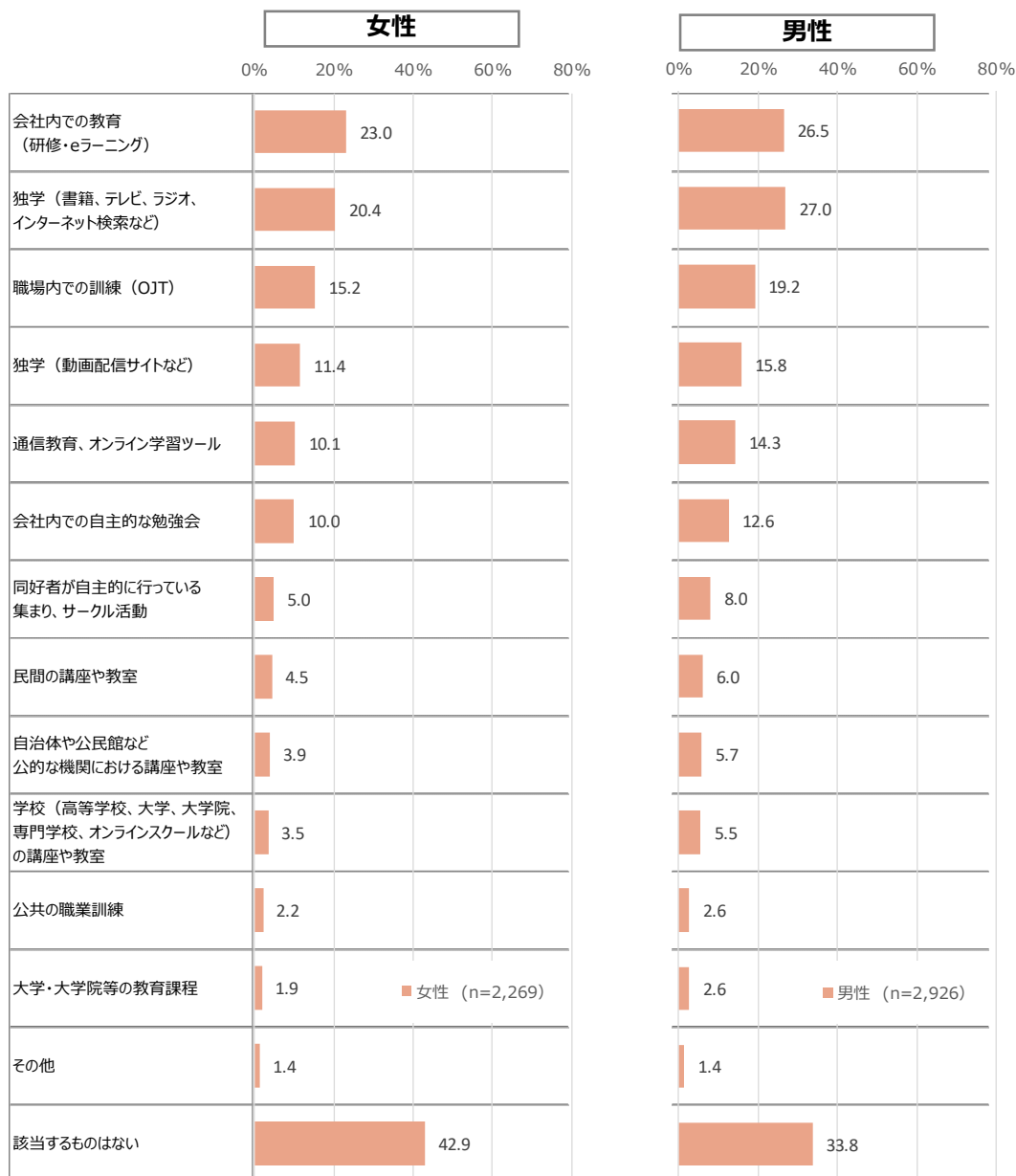
(3) 仕事や職業キャリアに関する学びの場所・形態（複数回答・Q36）

① 会社等の指示を受けての学び

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q36. 過去5年以内に学んだ仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関することについて伺います。あなたは、仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関する学びについて、過去5年間でどのように学びましたか。

- 性別にみると、女性は「会社内での教育（研修・eラーニング）」が23.0%と最も高く、次いで「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が20.4%。男性は、「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が27.0%と最も高く、次いで「会社内での教育（研修・eラーニング）」が26.5%。
- 男女差が最も大きい項目は「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」で、男性の方が6.6%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

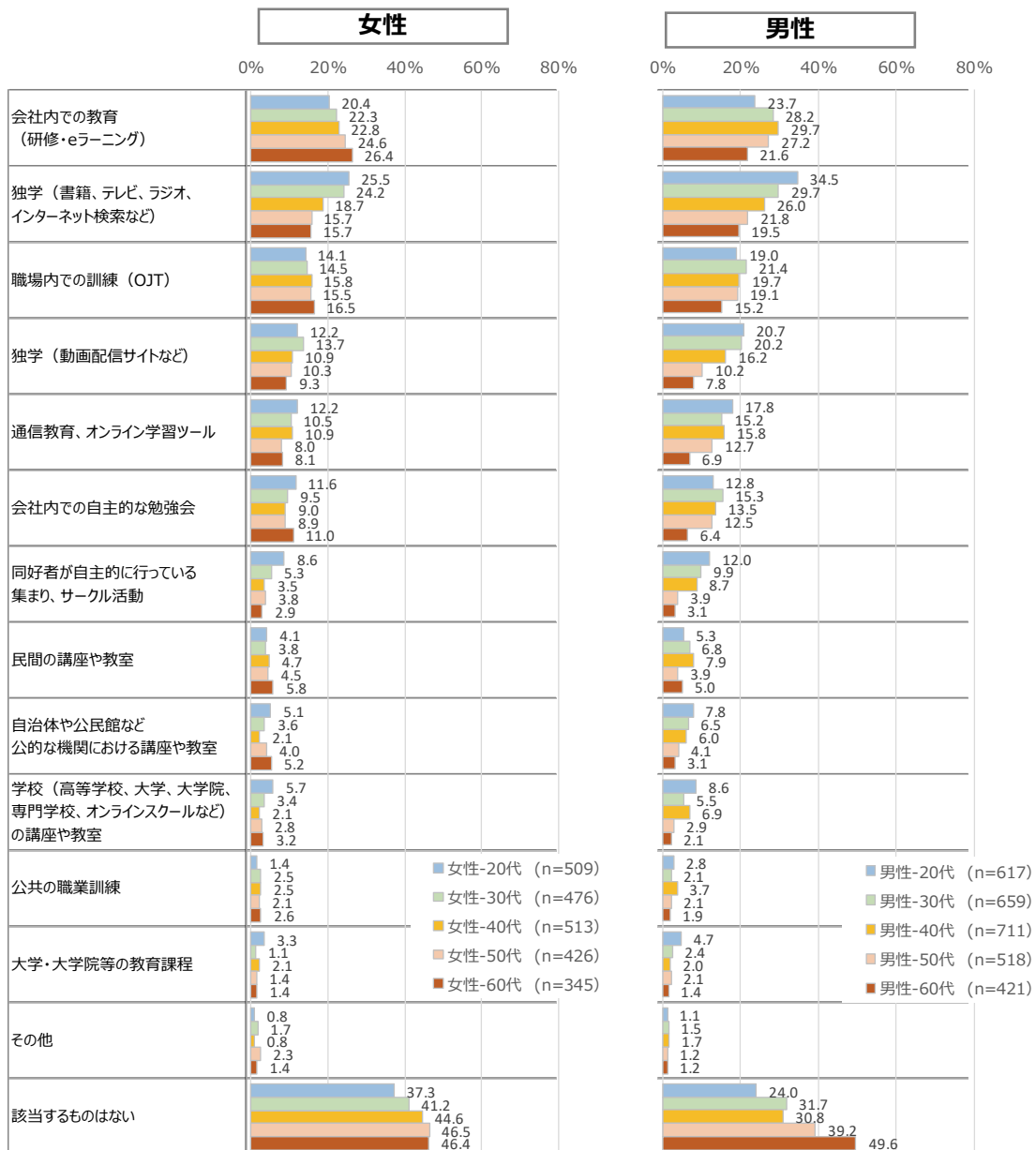
(3) 仕事や職業キャリアに関する学びの場所・形態（複数回答・Q36）

① 会社等の指示を受けての学び

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q36.過去5年以内に学んだ仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関することについて伺います。あなたは、仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関する学びについて、過去5年間でどのように学びましたか。

- ・ 性年代別にみると、男女ともに20代及び30代は「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が最も高く、40代から60代は「会社内での教育（研修・eラーニング）」が最も高い。
- ・ 男女差が最も大きい「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」をみると、20代で最も差が大きく、男性の方が9.0%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

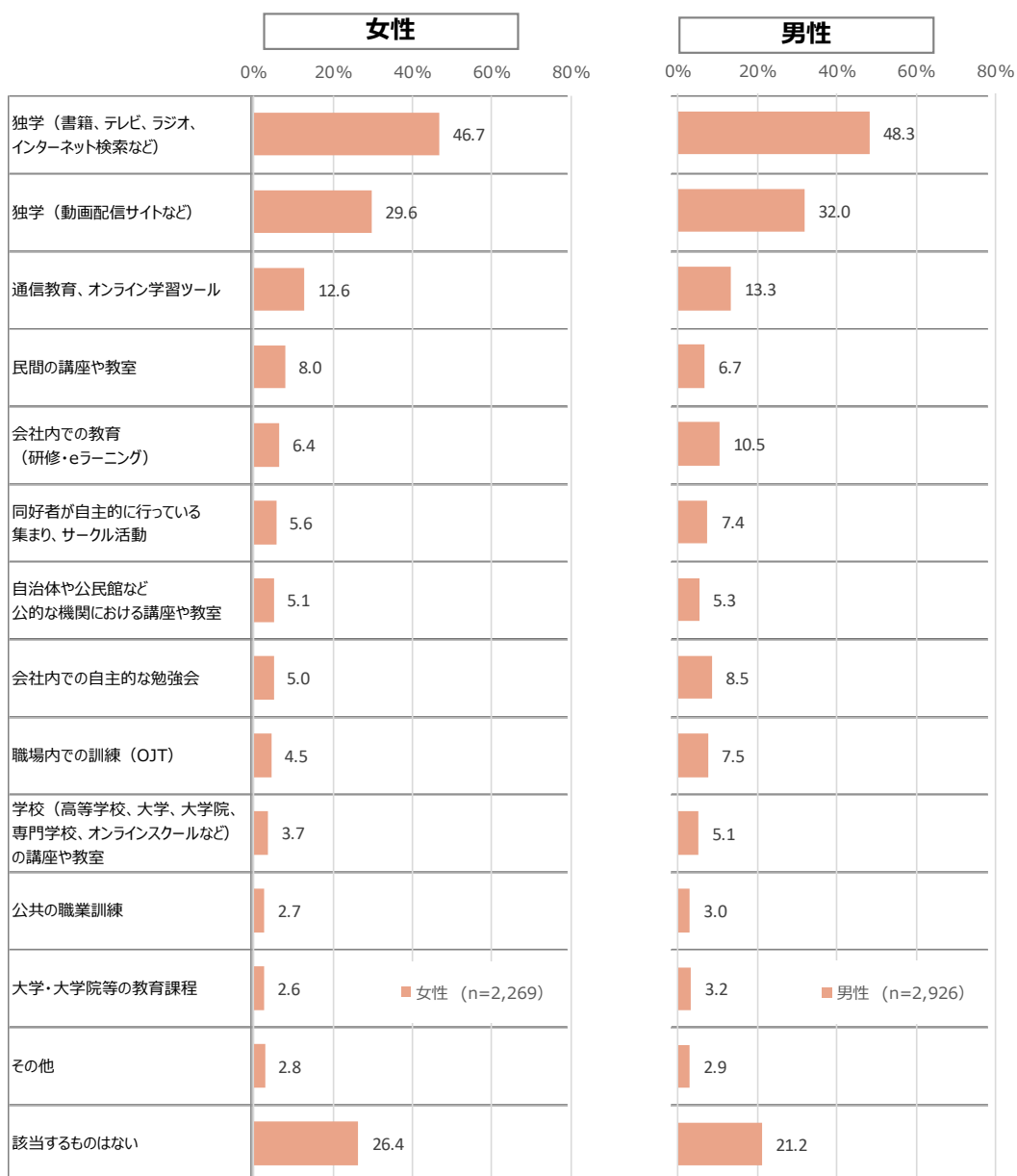
(3) 仕事や職業キャリアに関する学びの場所・形態（複数回答・Q36）

② 自発的な学び

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q36.過去5年以内に学んだ仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関することについて伺います。
あなたは、仕事や職業キャリア（転職、セカンドキャリア等を含む）に関する学びについて、過去5年間でどのように学びましたか。

- 性別にみると、男女ともに「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が最も高く、女性46.7%、男性48.3%。次いで「独学（動画配信サイトなど）」が女性29.6%、男性32.0%。
- 男女差が最も大きい項目は「会社内での教育（研修・eラーニング）」で、女性6.4%、男性10.5%と、男性の方が4.1%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

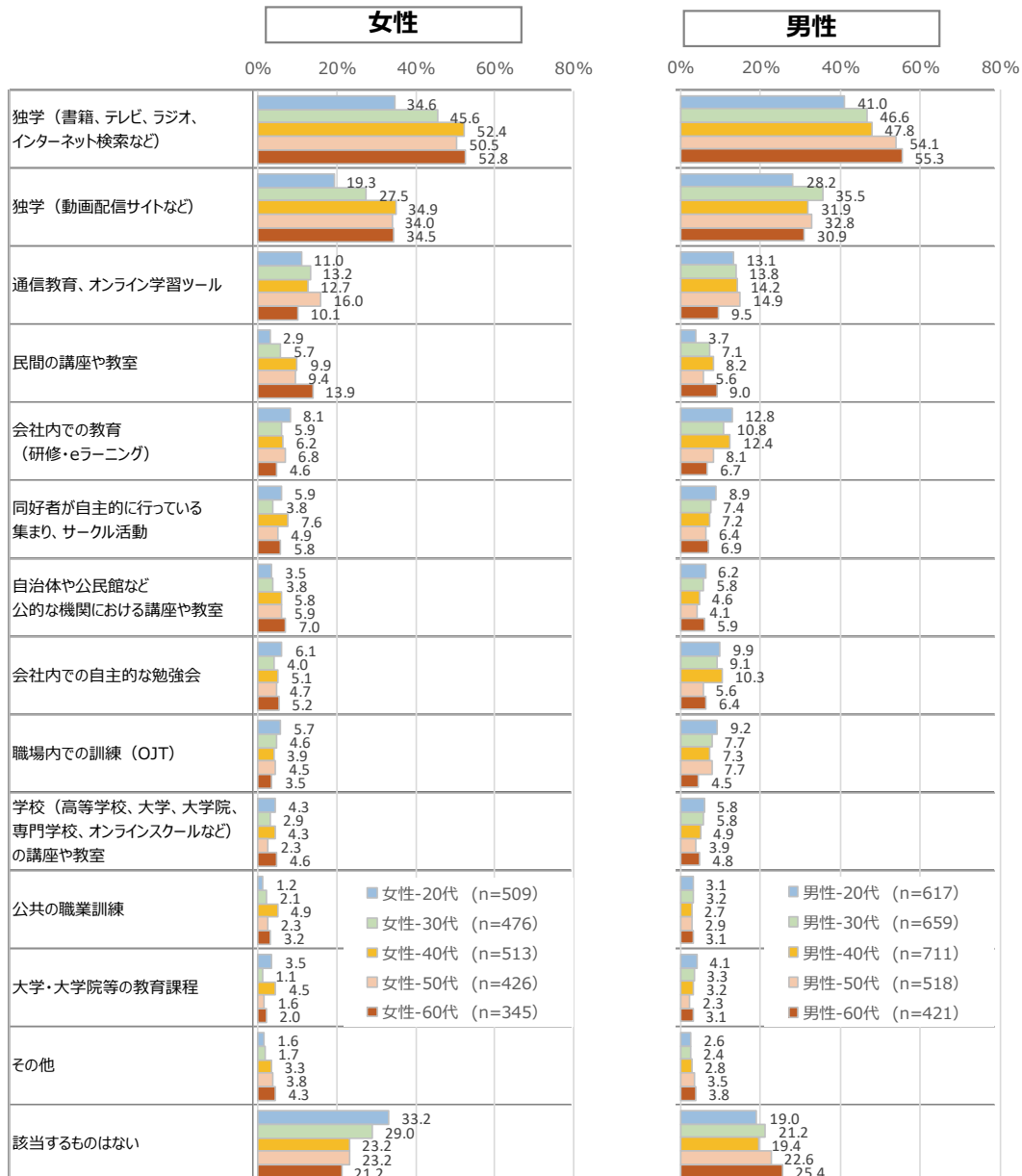
(3) 仕事や職業キャリアに関する学びの場所・形態（複数回答・Q36）

②自発的な学び

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q36.過去5年以内に学んだ仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関することについて伺います。
あなたは、仕事や職業キャリア（転職、セカンドキャリア等を含む）に関する学びについて、過去5年間でどのように学びましたか。

- ・ 性年代別にみると、男女ともに全年代で「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が最も高く、60代が最も高い。
- ・ 男女差が最も大きい「会社内での教育（研修・eラーニング）」をみると、40代で最も差が大きく、男性の方が6.2%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

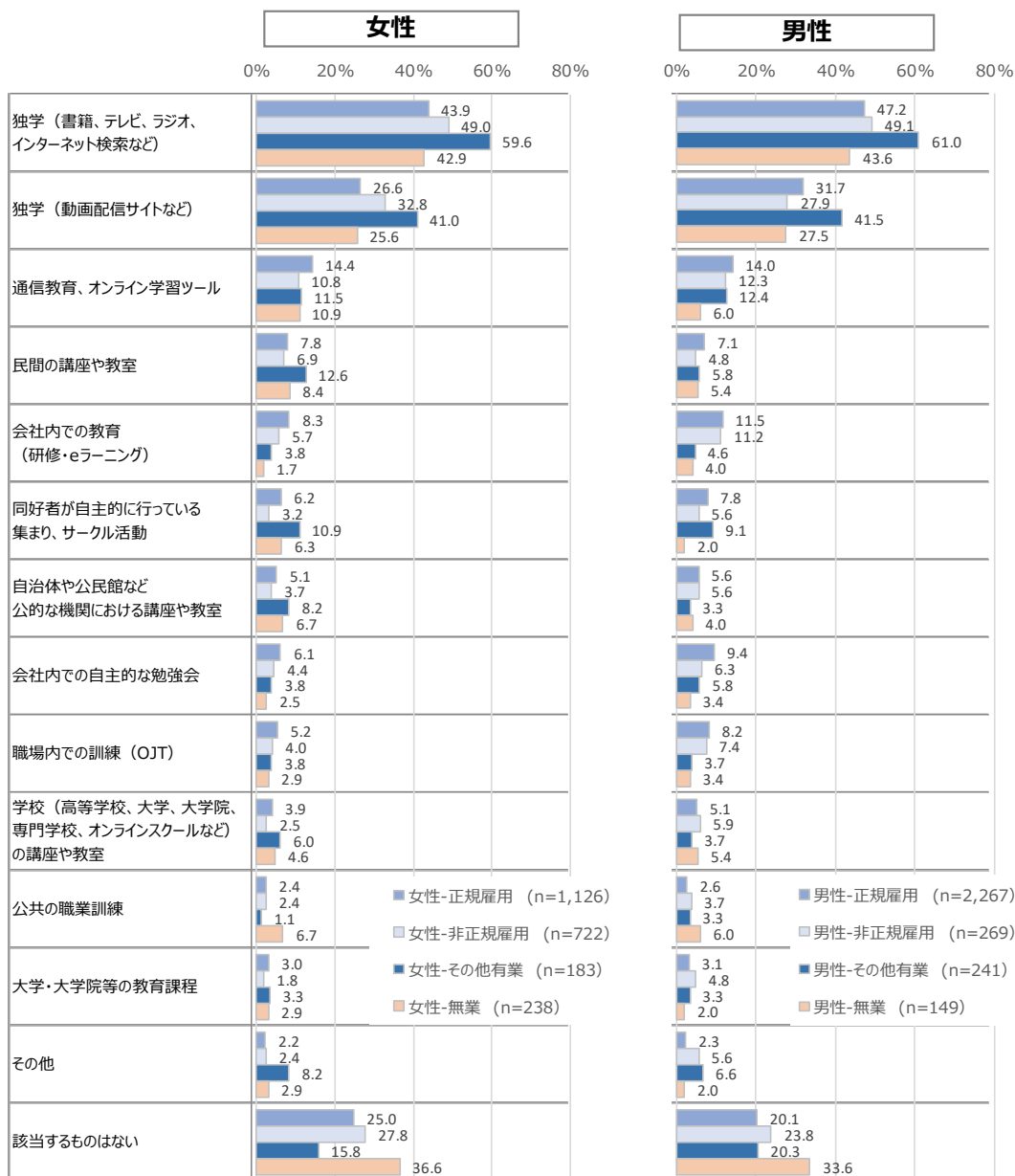
(3) 仕事や職業キャリアに関する学びの場所・形態（複数回答・Q36）

② 自発的な学び

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q36.過去5年以内に学んだ仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関することについて伺います。あなたは、仕事や職業キャリア（転職、セカンドキャリア等を含む）に関する学びについて、過去5年間でどのように学びましたか。

- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともに全ての就業状態・雇用形態で「独学（書籍、テレビ、ラジオ、インターネット検索など）」が最も高く、その他有業で6割前後と特に高い。
- 男女差が最も大きい「会社内での教育（研修・eラーニング）」をみると、非正規雇用で最も差が大きく、男性の方が5.5%ポイント高い。



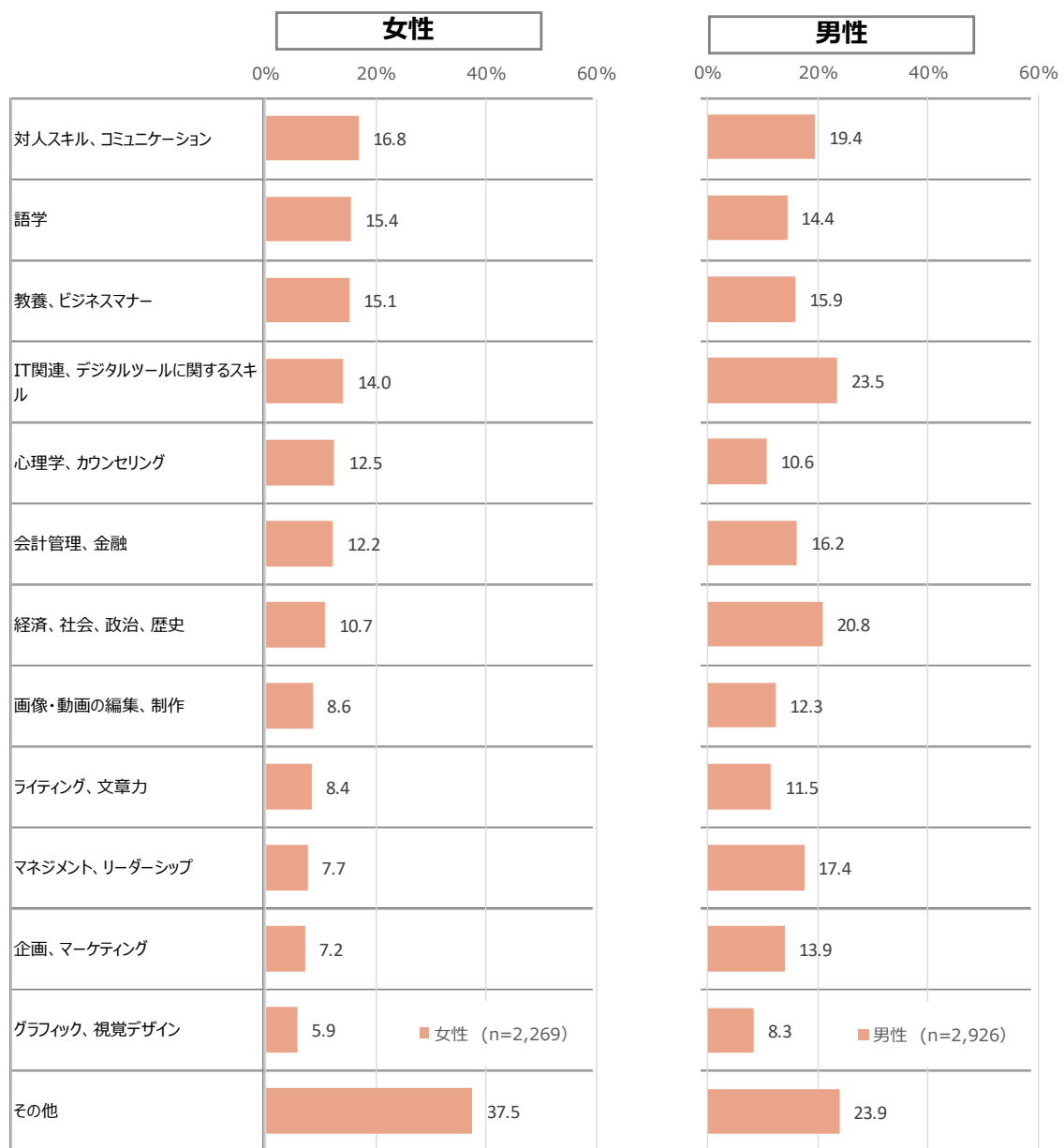
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(4) 仕事や職業キャリアに関する学びの内容（複数回答・Q37）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q37.あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ／学んでいる能力やスキルはどのようなことですか。

- 性別にみると、女性は「対人スキル、コミュニケーション」が16.8%と最も高く、次いで「語学」が15.4%。男性は「IT関連、デジタルツールに関するスキル」が23.5%と最も高く、「経済、社会、政治、歴史」が20.8%。
- 男女差が最も大きい項目は「経済、社会、政治、歴史」であり、女性10.7%、男性20.8%と男性の方が10.1%ポイント高い。次いで、「マネジメント、リーダーシップ」が9.7%ポイント、「IT関連、デジタルツールに関するスキル」が9.5%ポイント、それぞれ男性の方が高い。



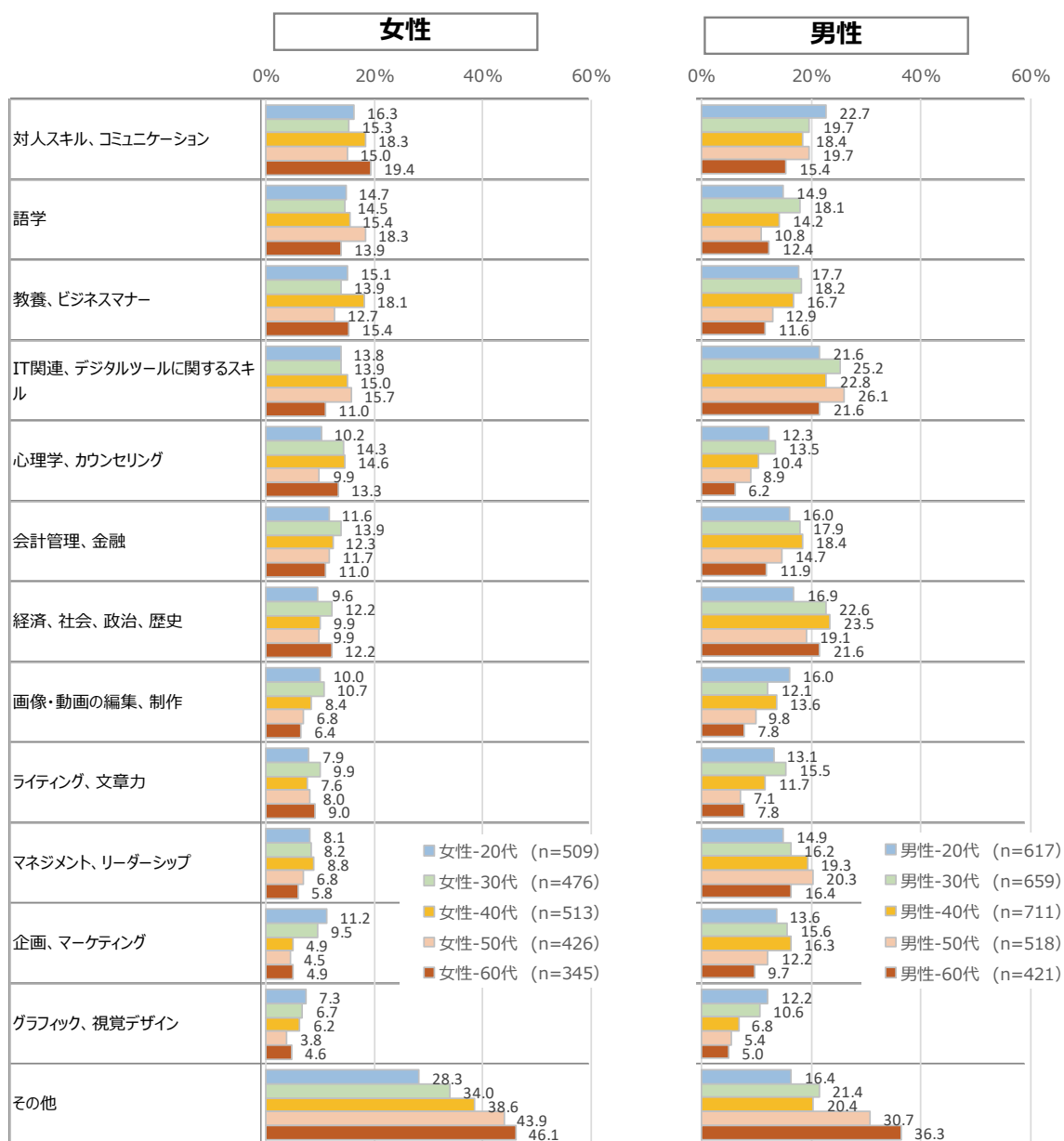
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(4) 仕事や職業キャリアに関する学びの内容（複数回答・Q37）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q37.あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ／学んでいる能力やスキルはどのようなことですか。

- 性年代別にみると、女性は50代以外で「対人スキル、コミュニケーション」が最も高く、50代は「語学」が最も高い。
- 男性は、20代は「対人スキル、コミュニケーション」、30代及び50代は「IT関連、デジタルツールに関するスキル」、40代は「経済、社会、政治、歴史」、60代は「IT関連、デジタルツールに関するスキル」及び「経済、社会、政治、歴史」が最も高い。
- 男女差が最も大きい「経済、社会、政治、歴史」をみると、40代で最も差が大きく、男性の方が13.6%ポイント高い。



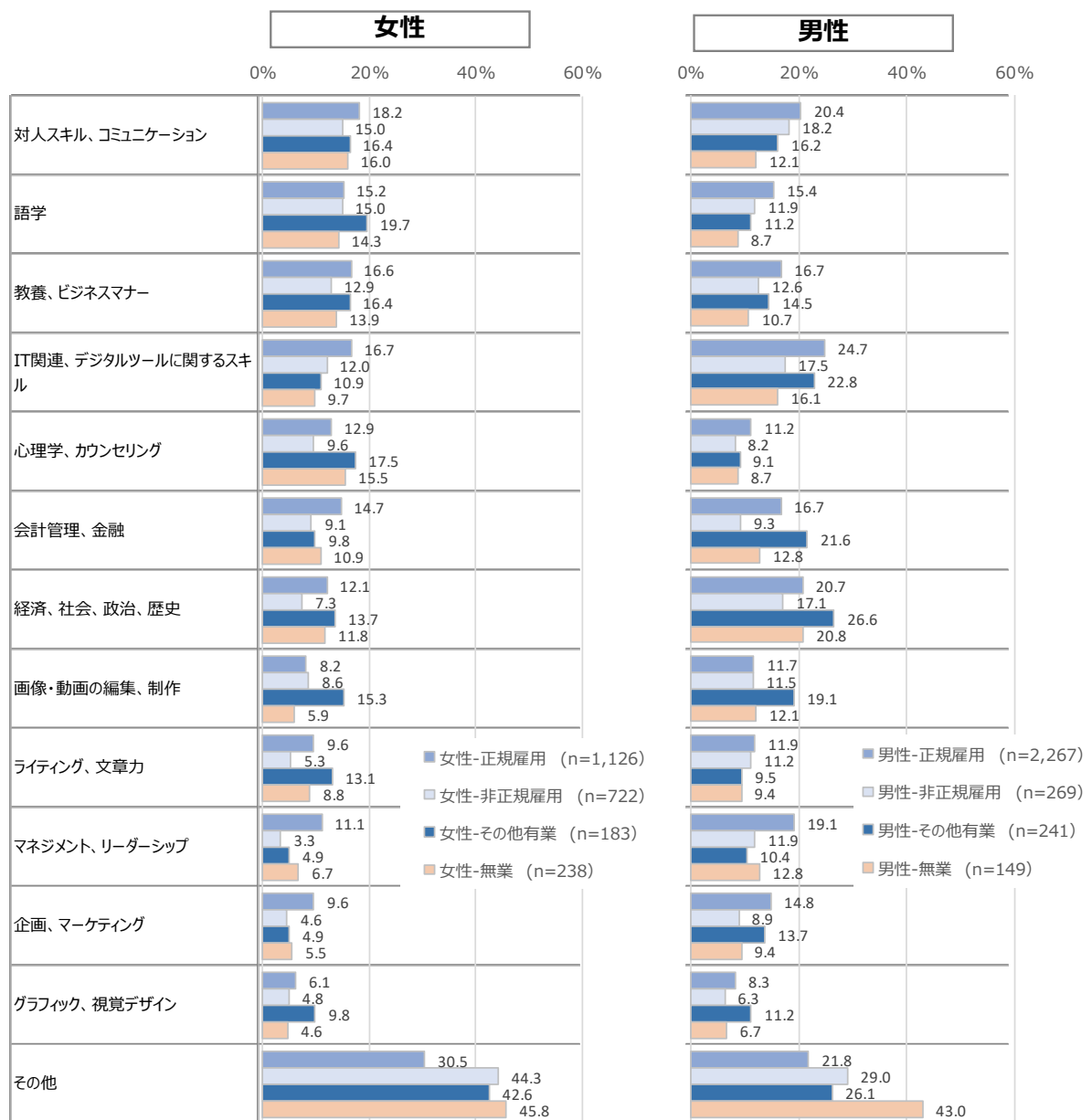
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(4) 仕事や職業キャリアに関する学びの内容（複数回答・Q37）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q37.あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ／学んでいる能力やスキルはどのようなことですか。

- 就業状態・雇用形態別にみると、女性は正規雇用と無業では「対人スキル、コミュニケーション」が最も高く、その他有業は「語学」が最も高い。非正規雇用では、「対人スキル、コミュニケーション」と「語学」が最も高い。
- 男性は正規雇用は「IT関連、デジタルツールに関するスキル」、非正規雇用は「対人スキル、コミュニケーション」、その他有業と無業では「経済、社会、政治、歴史」が最も高い。
- 男女差が最も大きい「経済、社会、政治、歴史」をみると、その他有業で最も差が大きく、男性の方が12.9%ポイント高い。



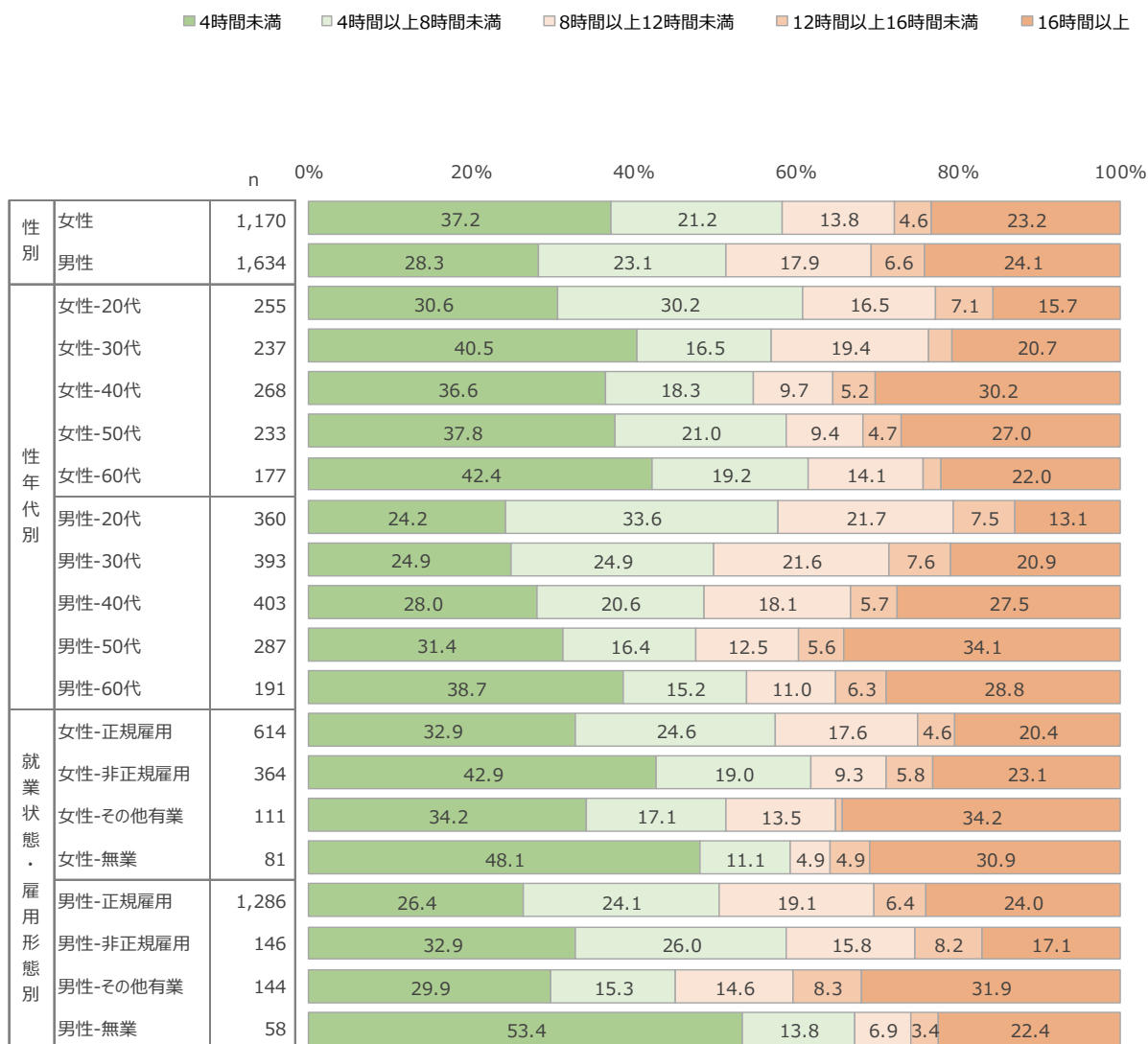
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(5) 仕事や職業キャリアに関する学びにかけた時間（単数回答・Q38）

【対象】過去1年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q38. 仕事や職業キャリアに関する学びについて、過去1年間であなたはどのくらいの時間をかけて学びましたか。学んだ月の1か月あたりの平均時間をお答えください。

- 性別にみると、男女ともに「4時間未満」が最も高く、女性は37.2%、男性は28.3%。
- 性年代別にみると、女性は全ての年代で「4時間未満」が最も高いが、60代で42.4%と最も高い。男性は年代が上がるほど「4時間未満」の割合が高い。他方で、「16時間以上」をみると、女性は40代で30.2%と高く、男性は50代で34.1%と高い。
- 就業状態・雇用形態別にみると、「16時間以上」は男女ともにその他有業で高く、「4時間未満」は無業及び非正規雇用で高い。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

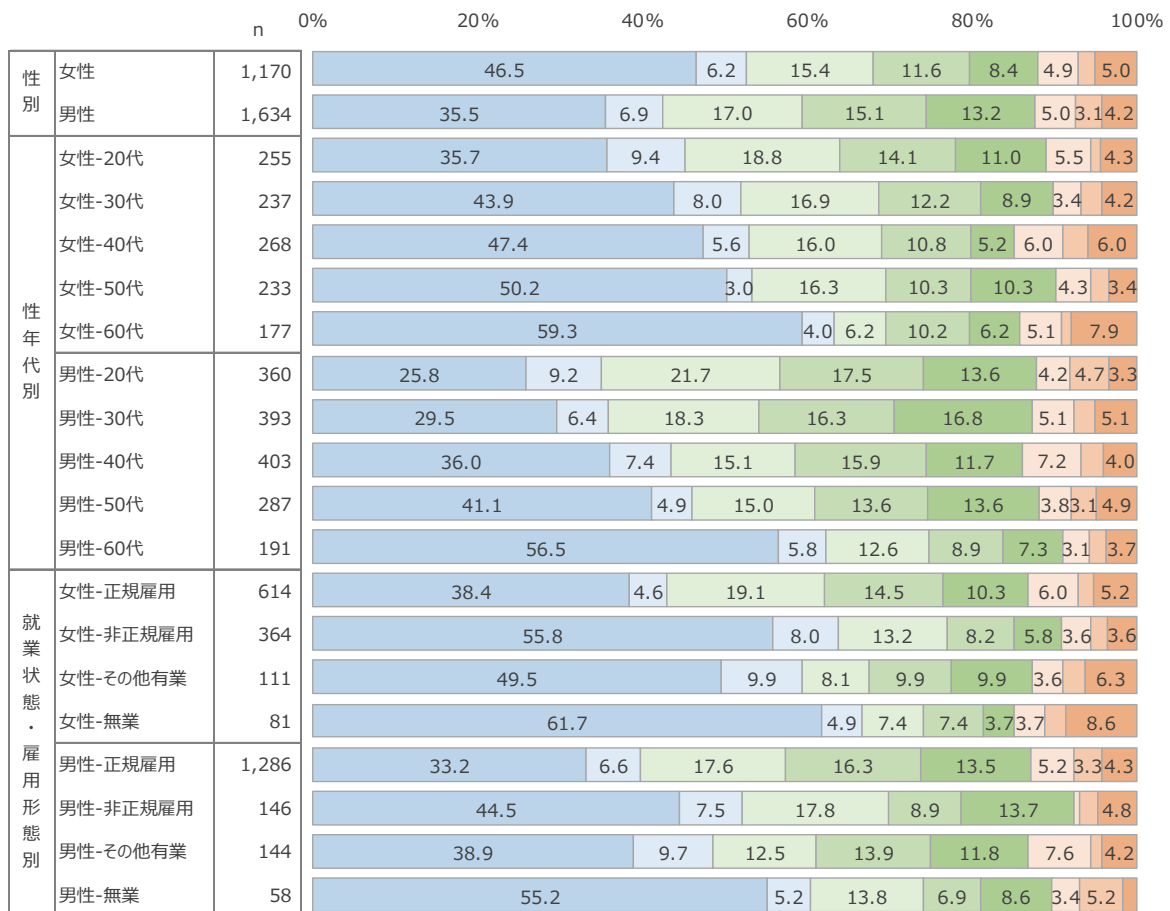
(6) 仕事や職業キャリアに関する学びにかけた費用（単数回答・Q39）

【対象】過去1年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q39. 仕事や職業キャリアに関する学びについて、過去1年間であなたはどのくらいの費用をかけましたか。学んだ月の1か月あたりの平均金額をお答えください。

- 性別にみると、男女ともに「0円（費用をかけていない）」が最も高く、女性は46.5%、男性は35.5%。
- 性年代別にみると、男女ともに年代が上がるほど「0円（費用をかけていない）」の割合が高いが、いずれの年代でも女性の方が割合が高く、30代女性では14.4%ポイント、40代女性では11.4%ポイント男性よりも高い。
- 就業状態・雇用形態別にみると、無業の男女、非正規雇用の女性で「0円（費用をかけていない）」の割合が5割超。

■ 0円（費用をかけていない） ■ 1,000円未満 ■ 1,000円以上5,000円未満 ■ 5,000円以上1万円未満
■ 1万円以上3万円未満 ■ 3万円以上5万円未満 ■ 5万円以上10万円未満 ■ 10万円以上



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

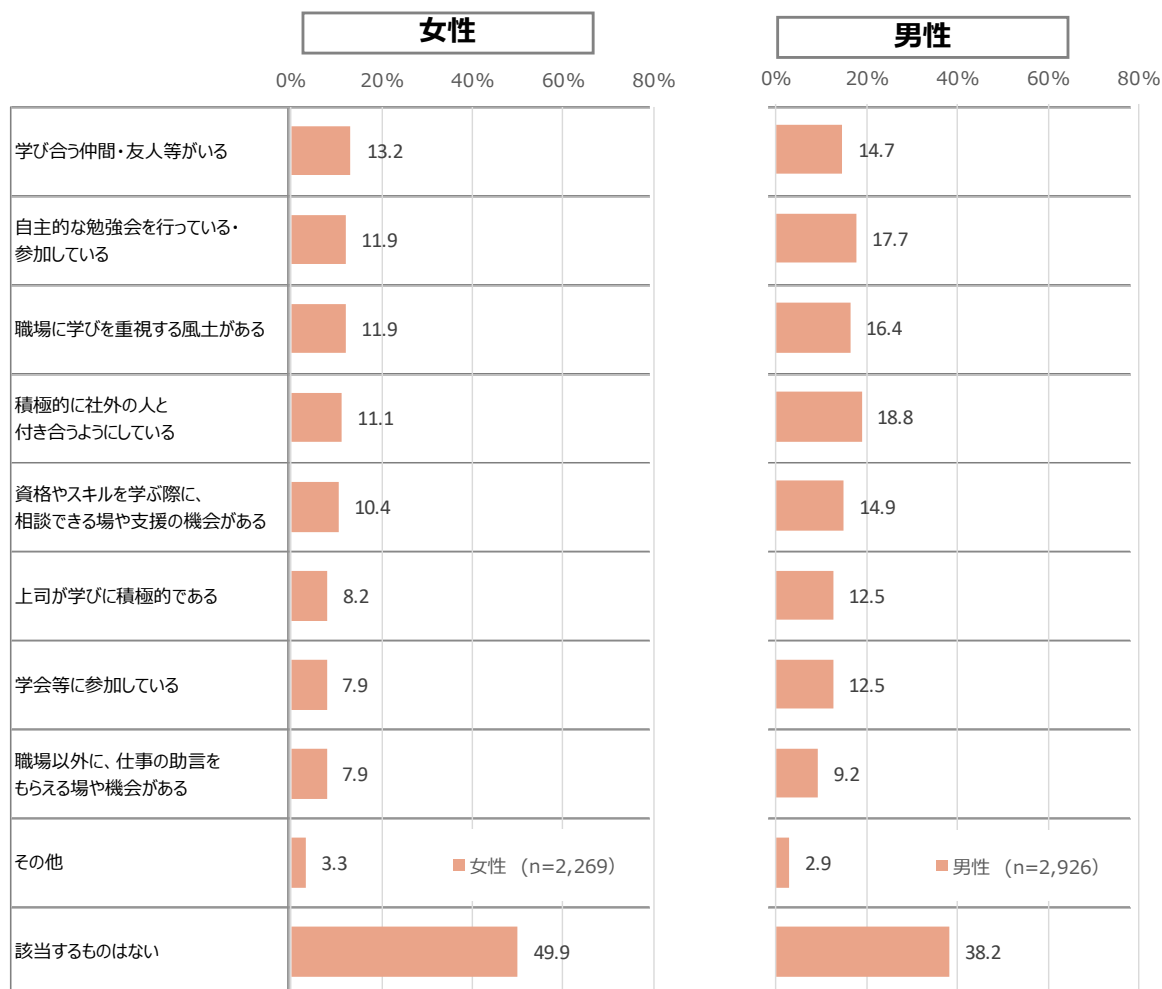
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(7) 仕事や職業キャリアに関する学びのコミュニティ・環境（複数回答・Q40）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q40.仕事や職業キャリアに関する学びについて、あなたのコミュニティ・学びの環境で当てはまるものを教えてください。

- 女性の5割、男性の6割は何らかの学びのコミュニティ・環境に属していることがうかがえる。
- 性別にみると、女性は「学び合う仲間・友人等がいる」が13.2%と最も高く、次いで「自主的な勉強会を行っている・参加している」及び「職場に学びを重視する風土がある」がともに11.9%。男性は「積極的に社外の人と付き合いようしている」が18.8%と最も高く、「自主的な勉強会を行っている・参加している」が17.7%。
- 男女差が最も大きい項目は「積極的に社外の人と付き合いようしている」で、女性11.1%、男性18.8%と、男性の方が7.7%ポイント高い。



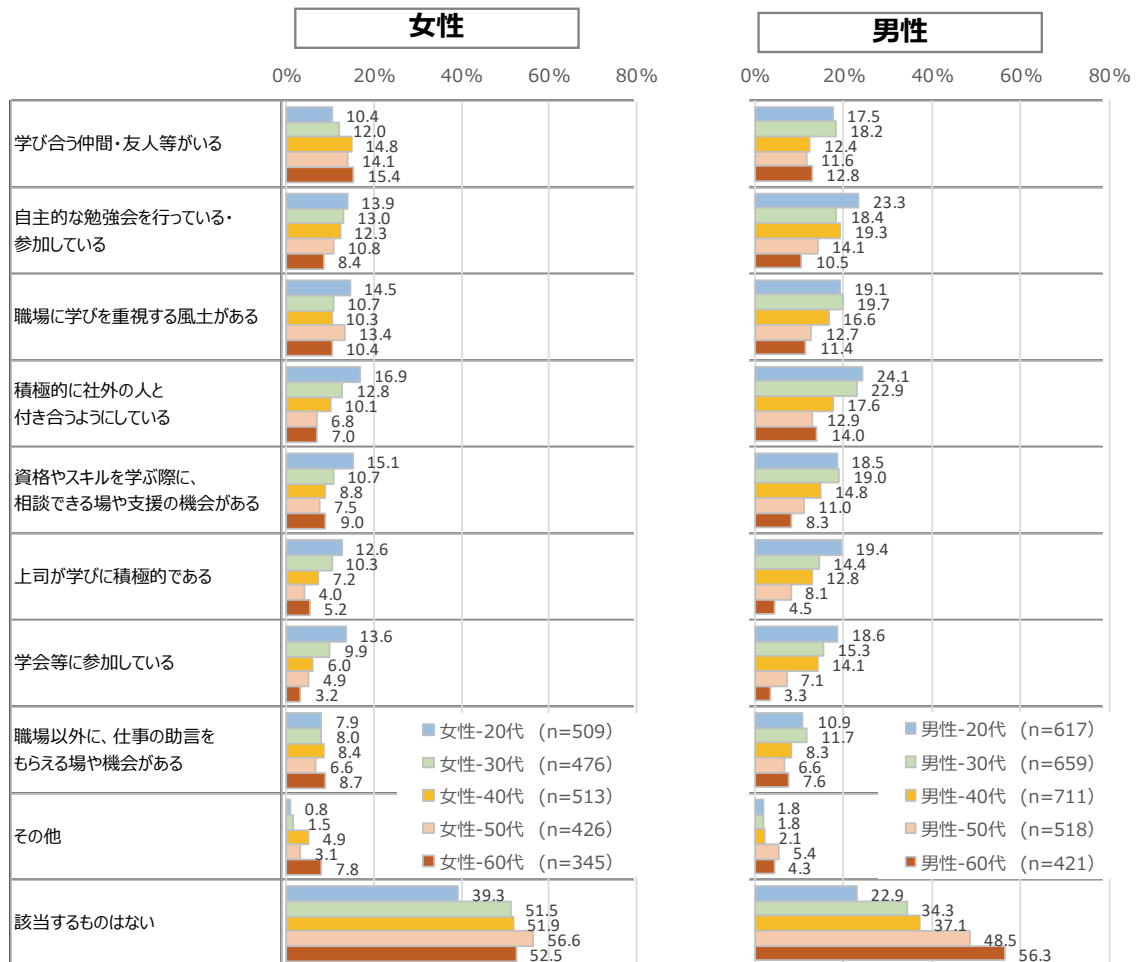
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(7) 仕事や職業キャリアに関する学びのコミュニティ・環境 (複数回答・Q40)

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q40.仕事や職業キャリアに関する学びについて、あなたのコミュニティ・学びの環境で当てはまるものを教えてください。

- 性年代別にみると、女性は、20代では6割が何らかの学びのコミュニティ・環境に属しているが、30代以上では5割以下。男性は20代では8割だが、年代が上がるにつれて低下し60代では4割。
- 女性は20代で「積極的に社外の人と付き合いようとしている」、30代で「自主的な勉強会を行っている・参加している」、40代から60代で「学び合う仲間・友人等がいる」が最も高い。男性は、20代及び30代で「積極的に社外の人と付き合いようとしている」、40代及び50代で「自主的な勉強会を行っている・参加している」、60代で「積極的に社外の人と付き合いようとしている」が最も高い。
- 男女差が最も大きい「積極的に社外の人と付き合いようとしている」をみると、30代で最も差が大きく、男性の方が10.1%ポイント高い。



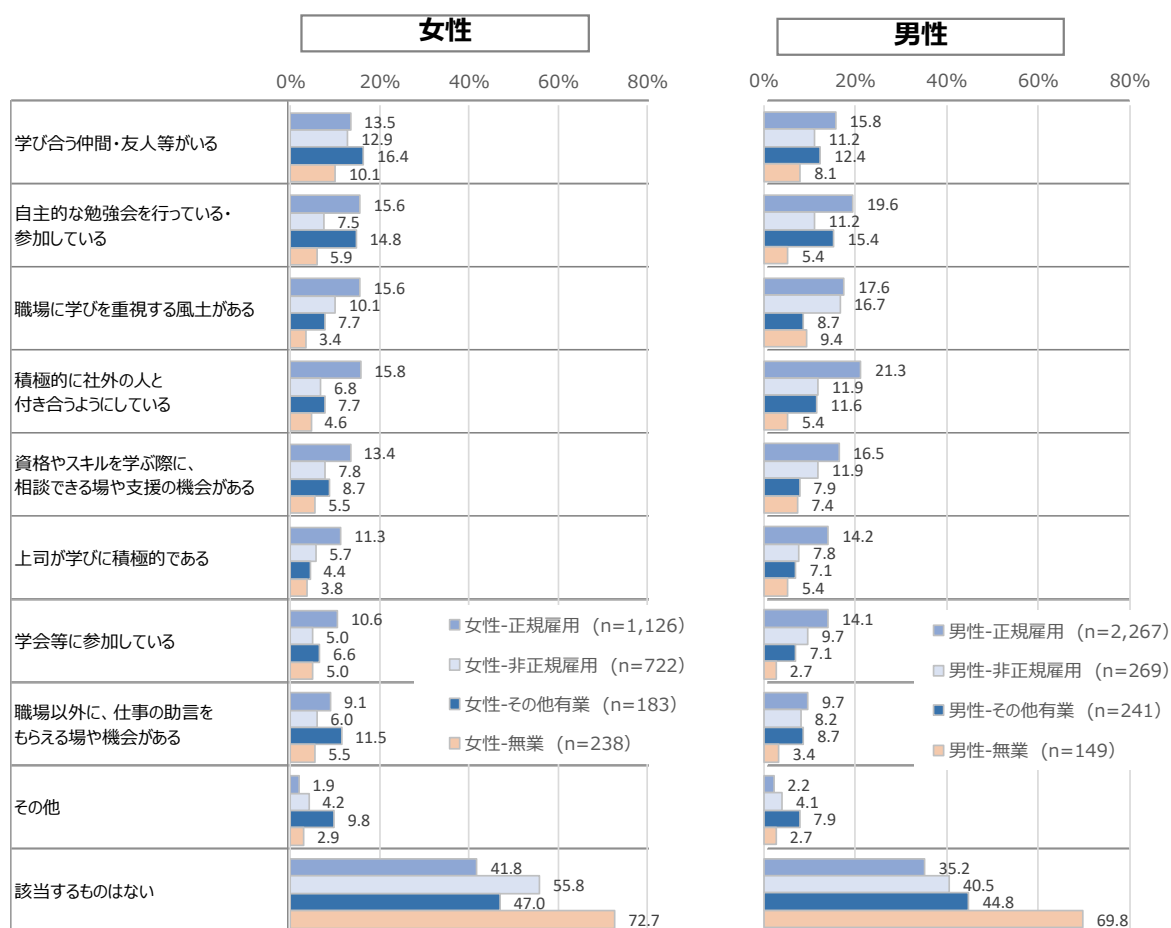
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(7) 仕事や職業キャリアに関する学びのコミュニティ・環境 (複数回答・Q40)

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q40. 仕事や職業キャリアに関する学びについて、あなたのコミュニティ・学びの環境で当てはまるものを教えてください。

- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともに正規雇用では「積極的に社外の人と付き合うようにしている」が最も高く女性15.8%、男性21.3%。他の就業状態・雇用形態とも差が大きい。
- 女性は、非正規雇用、その他有業、無業で「学び合う仲間・友人等がいる」が最も高く、その他有業では16.4%。
- 男性は、非正規雇用と無業で「職場に学びを重視する風土がある」が最も高く、その他有業で「自主的な勉強会を行っている・参加している」が最も高い。



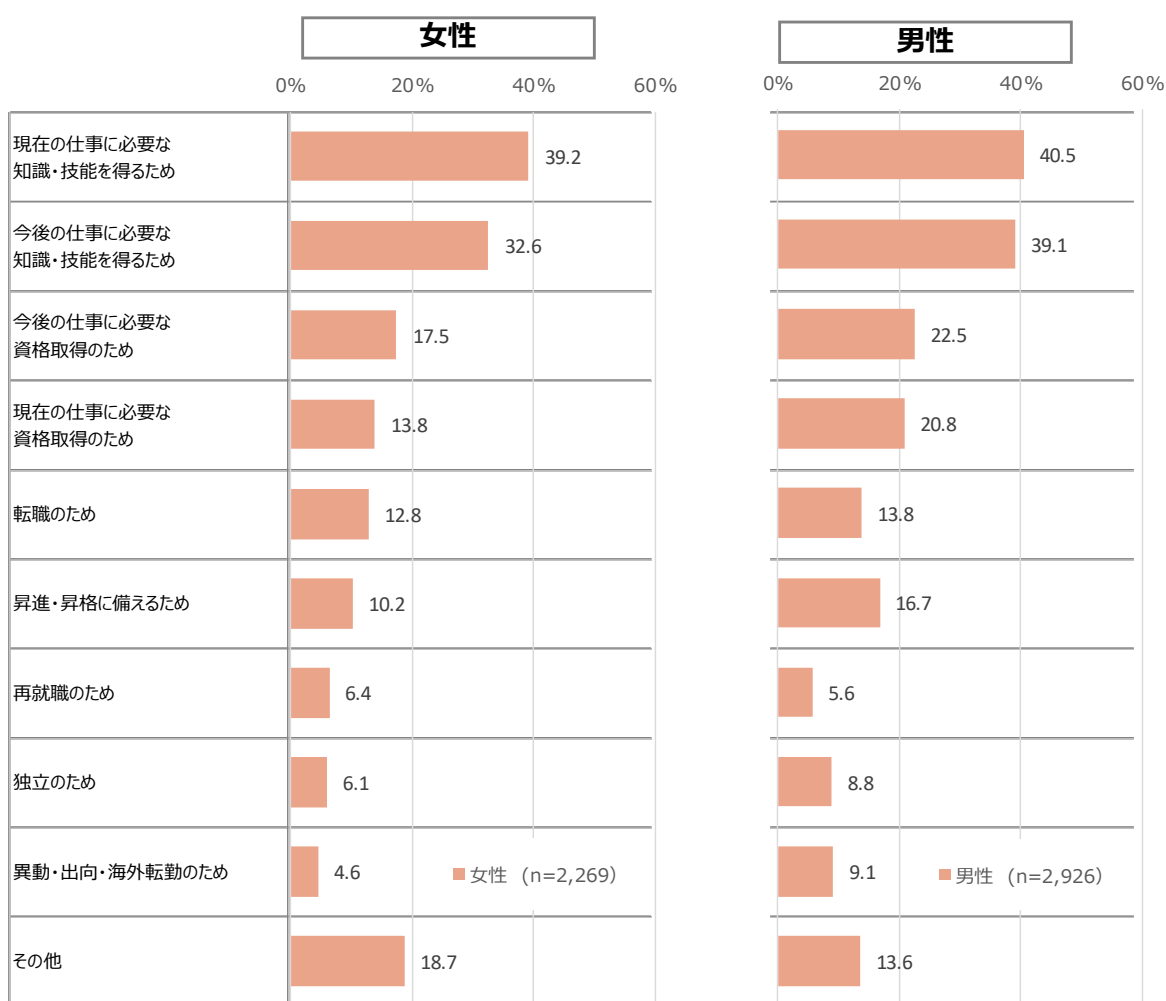
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(8) 仕事や職業キャリアに関する学びの目的（複数回答・Q41）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q41.あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ／学んでいる主な理由を教えてください。

- 性別にみると、男女ともに「現在の仕事に必要な知識・技能を得るため」の割合が最も高く、女性39.2%、男性40.5%。次いで「今後の仕事に必要な知識・技能を得るため」が女性32.6%、男性39.1%。
- 男女差が最も大きい項目は「現在の仕事に必要な資格取得のため」で、女性13.8%、男性20.8% と7.0%ポイントの差がみられた。



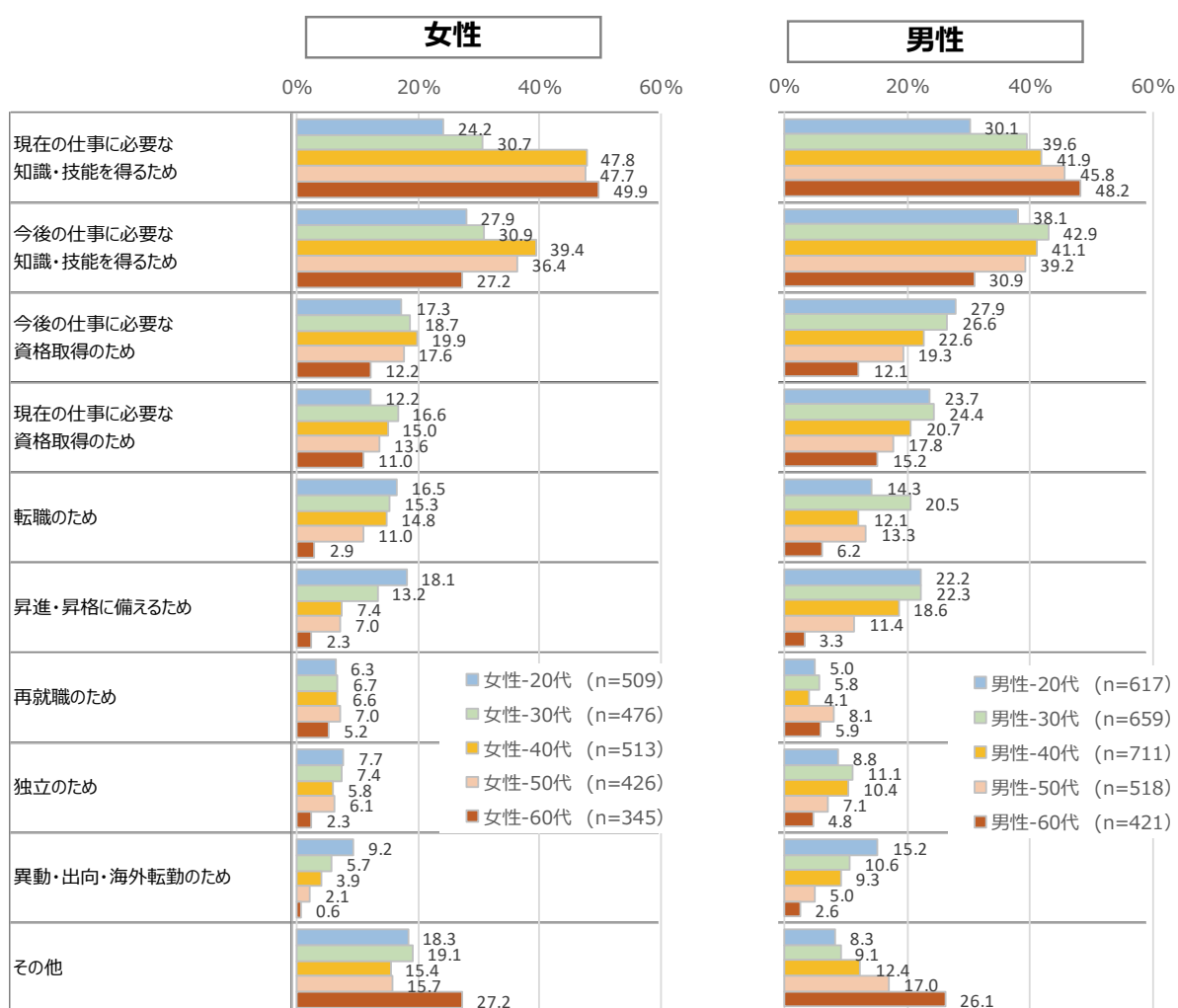
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(8) 仕事や職業キャリアに関する学びの目的（複数回答・Q41）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q41.あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ／学んでいる主な理由を教えてください。

- ・ 性年代別にみると、男女ともに20代及び30代では「今後の仕事に必要な知識・技能を得るため」、40代から60代では「現在の仕事に必要な知識・技能を得るため」が最も高い。
- ・ 男女差が最も大きい「現在の仕事に必要な資格取得のため」をみると、20代で最も差が大きく、男性の方が11.5%ポイント高い。



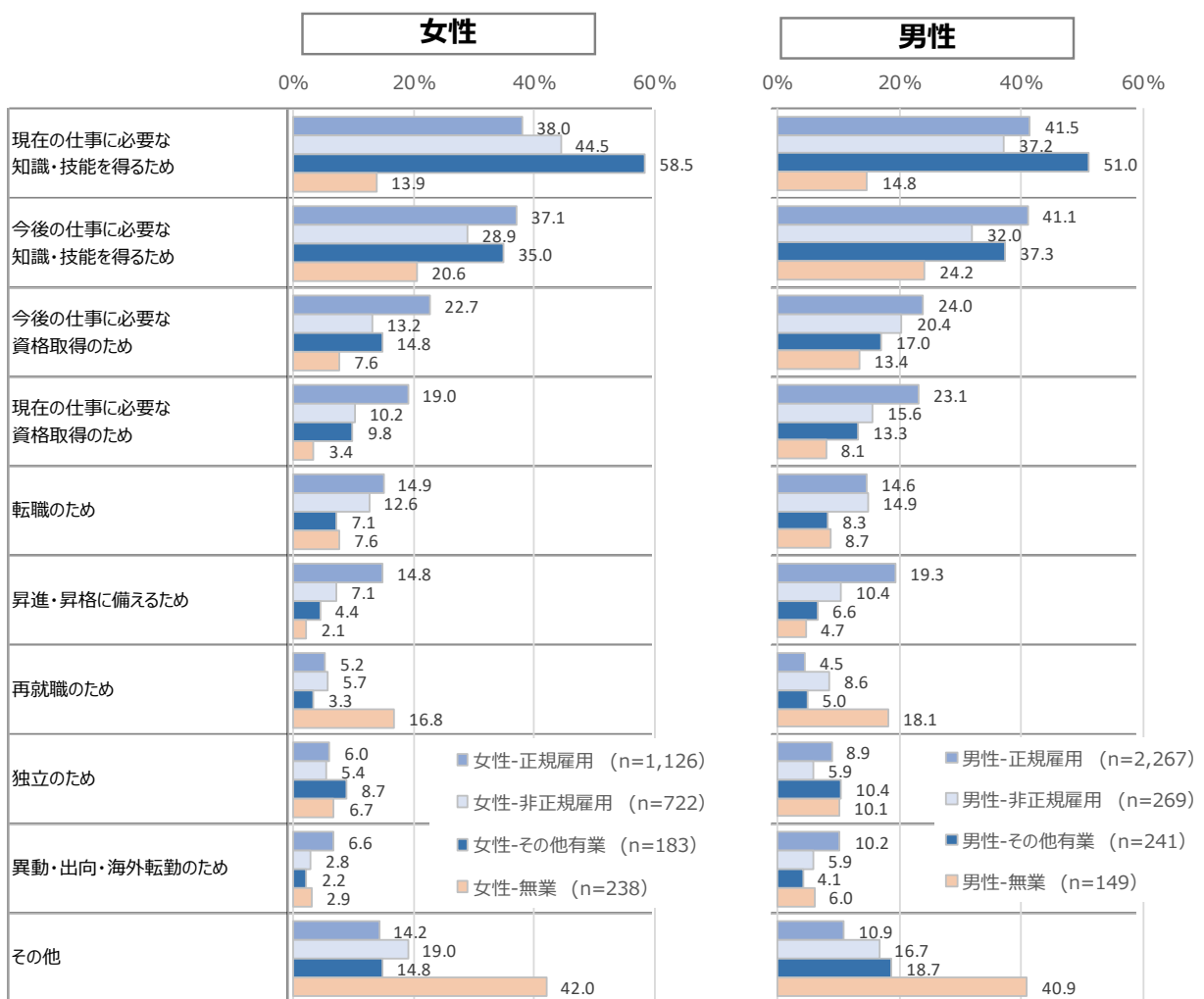
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(8) 仕事や職業キャリアに関する学びの目的（複数回答・Q41）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q41.あなたが、仕事や職業キャリアのために学んだ／学んでいる主な理由を教えてください。

- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともに正規雇用、非正規雇用、その他有業では「現在の仕事に必要な知識・技能を得るため」が最も高く、無業では「今後の仕事に必要な知識・技能を得るため」が最も高い。
- 男女差が最も大きい「現在の仕事に必要な資格取得のため」をみると、非正規雇用で最も差が大きく、男性の方が5.4%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

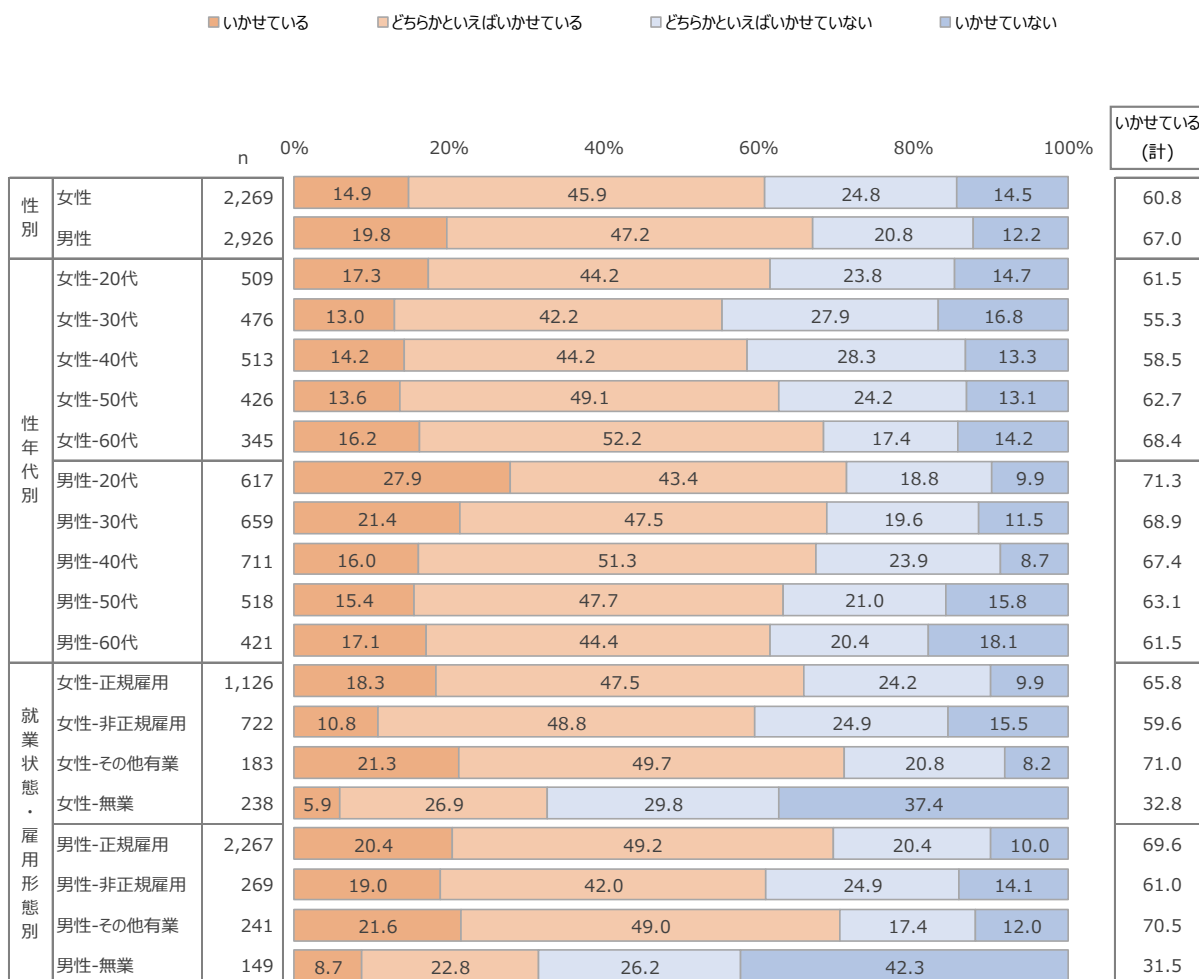
(9) 仕事や職業キャリアに関する学びの主観的な効果（現在）（単数回答・Q42）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q42.あなたの仕事や職業キャリアに関する過去5年間の学びは、現在の仕事やキャリア、転職、再就職などにいかせていると思いますか。

※現在仕事についていない方は、就職活動にいかせているかでお答えください。

- 性別にみると、「いかせている（計）」の割合は、女性60.8%、男性67.0%と、男性の方が6.2%ポイント高い。
- 性年代別にみると、女性は30代以上では、上の年代ほど「いかせている（計）」の割合が高く、30代で55.3%、60代で68.4%。一方、男性は若い年代ほど「いかせている（計）」の割合が高く、20代で71.3%、60代では61.5%。男女差をみると、30代で最も差が大きく、女性55.3%、男性68.9%と男性の方が13.6%ポイント高い。
- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともにその他有業で「いかせている（計）」が最も高く、女性71.0%、男性70.5%と、いずれも7割を超える。



※「いかせている（計）」：「いかせている」+「どちらかといえばいかせている」で算出

4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

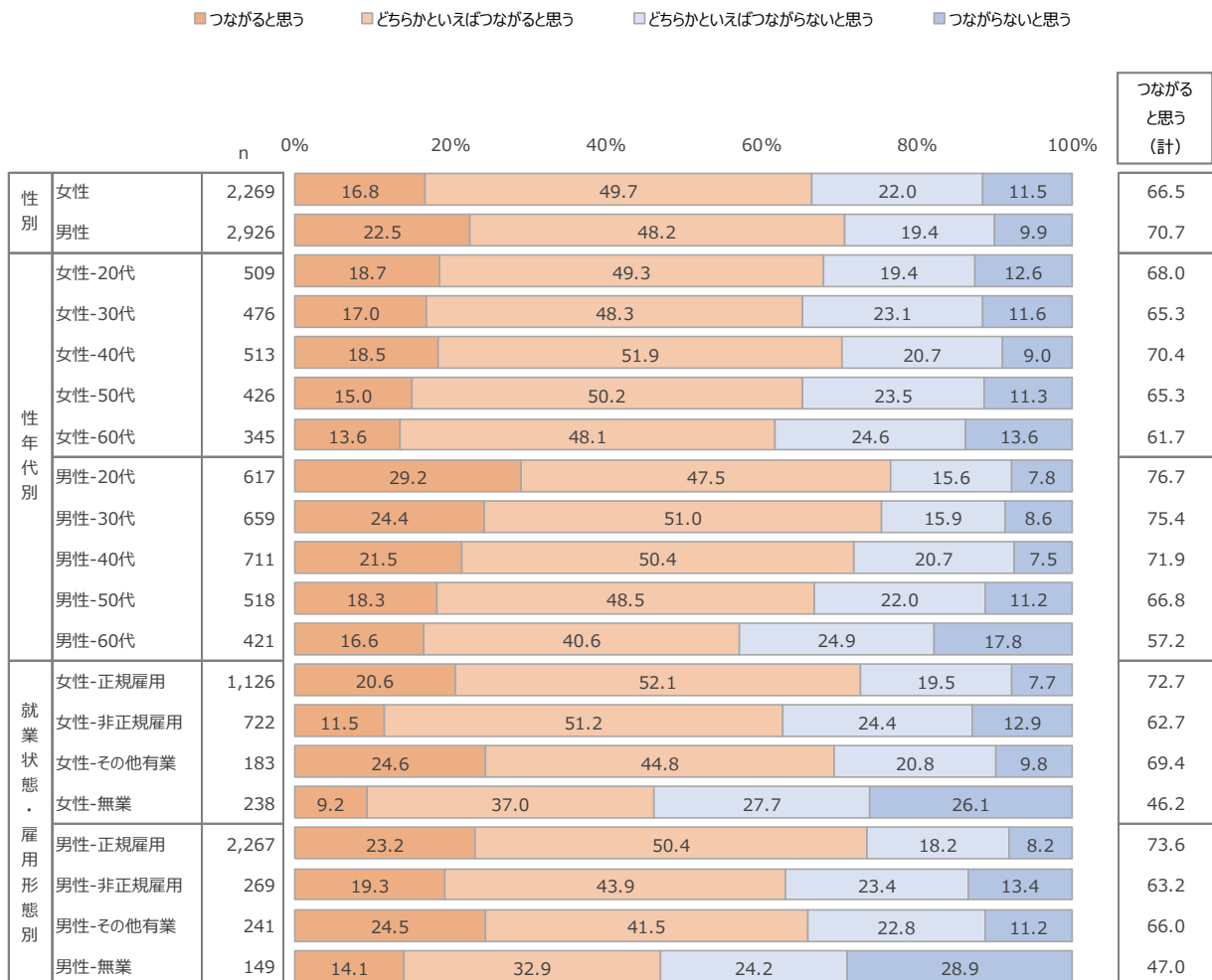
(10) 仕事や職業キャリアに関する学びの効果への期待（単数回答・Q43）

【対象】過去5年以内に仕事や職業キャリアに関することを学んだ人

Q43.あなたの仕事や職業キャリアに関する過去5年間の学びは、将来的に、仕事や昇給・昇進・昇格、転職、独立等のキャリアアップにつながると思えますか。

※現在仕事についていない方は、就職につながるかでお答えください。

- 性別にみると、「つながると思う（計）」の割合は、女性66.5%、男性70.7%と、男性の方がやや高い。
- 性年代別にみると、男性では若い年代ほど「つながると思う（計）」の割合が高いが、女性では男性に比べ年代差が小さい。男女差をみると、30代で最も差が大きく、女性65.3%、男性75.4%と男性の方が10.1ポイント高い。
- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともに正規雇用で「つながると思う（計）」が最も高く、女性72.7%、男性73.6%と、いずれも7割を超える。



※「つながると思う（計）」：「つながると思う」+「どちらかといえばつながると思う」で算出

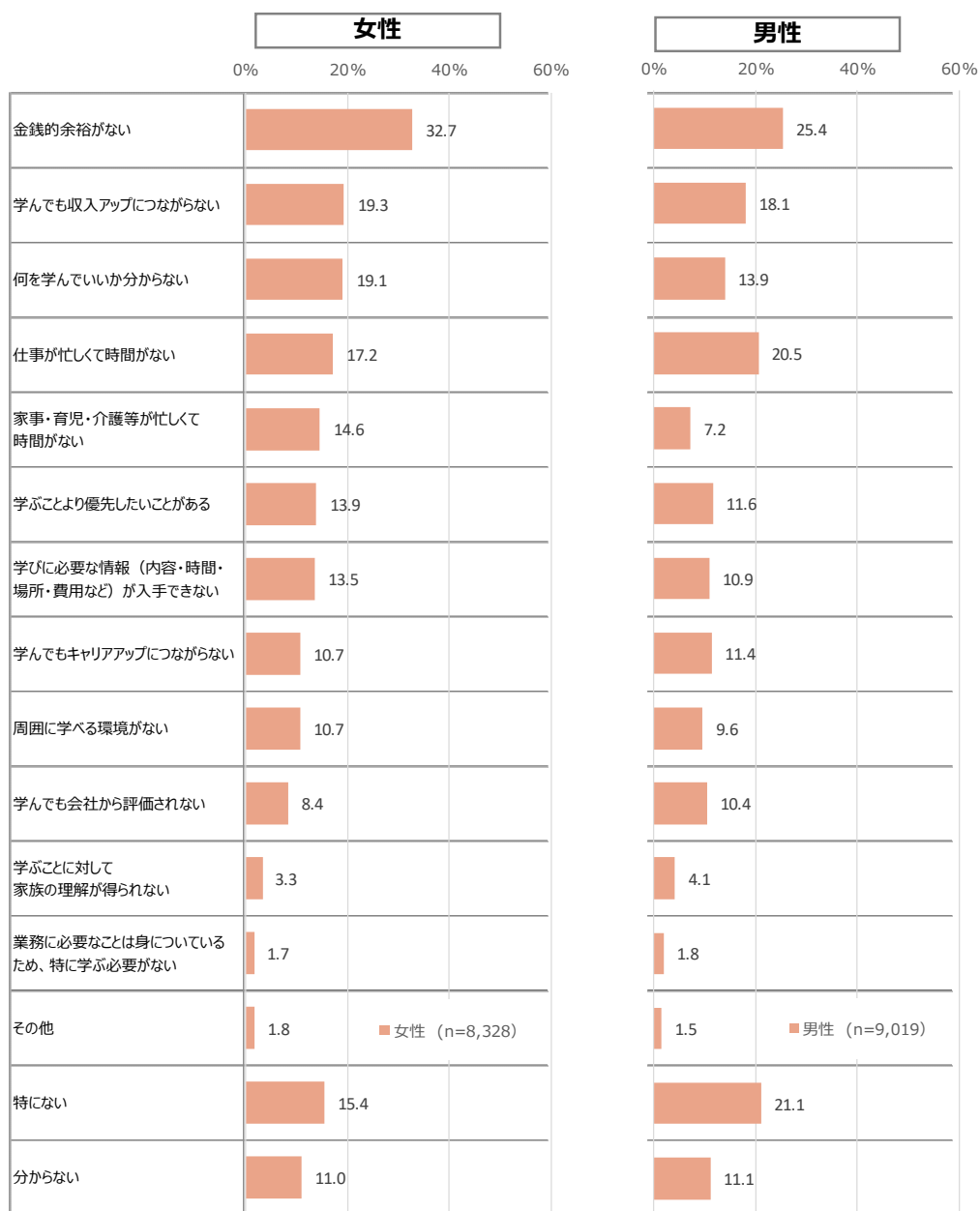
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(11) 仕事や職業キャリアに関する学びの障壁（複数回答・Q44）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q44.あなたが、仕事や職業キャリアに関して学ぼうとする上で、どのような課題や困りごとがありますか。

- 性別にみると、女性は「金銭的余裕がない」が32.7%で最も高く、次いで「学んでも収入アップにつながらない」が19.3%。
- 男性で最も高いのは「金銭的余裕がない」が25.4%、次いで「仕事が忙しく時間がない」が20.5%。
- 男女差が最も大きい項目は「家事・育児・介護等が忙しくて時間がない」で、女性14.6%、男性7.2%と、女性の方が7.4%ポイント高い。また、「金銭的余裕がない」も女性の方が7.3%ポイント高い。



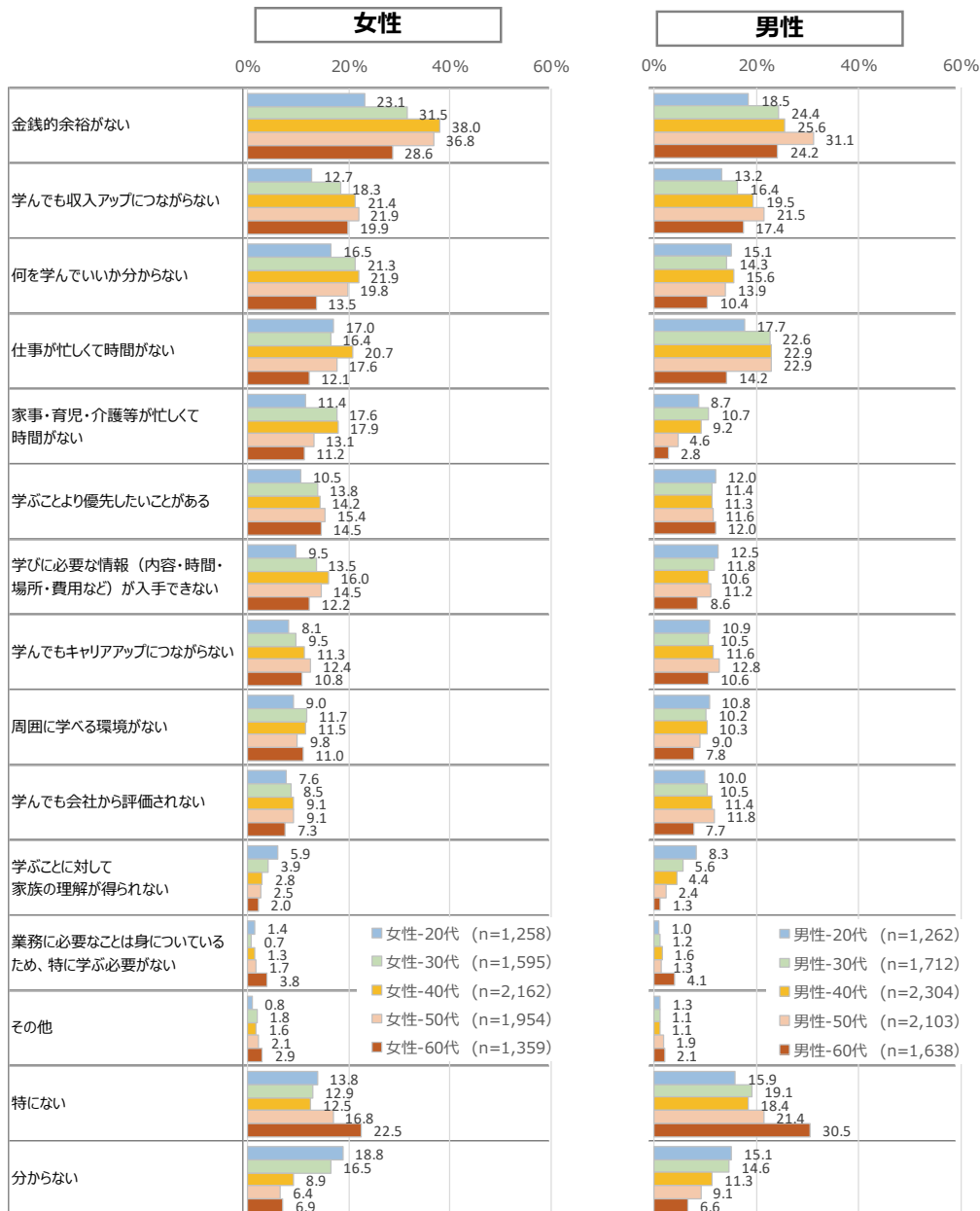
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(11) 仕事や職業キャリアに関する学びの障壁（複数回答・Q44）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q44.あなたが、仕事や職業キャリアに関して学ぼうとする上で、どのような課題や困りごとがありますか。

- 性年代別にみると、女性は全年代で「金銭的余裕がない」が最も高く、20代は次いで「仕事が忙しくて時間がない」、30代及び40代は「何を学んでいいかわからない」、50代は「学んでも収入アップにつながらない」、60代は「特にない」が続く。
- 男性は20代から50代で「金銭的余裕がない」が最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」。60代では「特にない」が最も高く、次いで「金銭的余裕がない」。
- 男女差が最も大きい「家事・育児・介護等が忙しくて時間がない」を年代別にみると、40代で最も差が大きく、女性の方が8.7%ポイント高い。



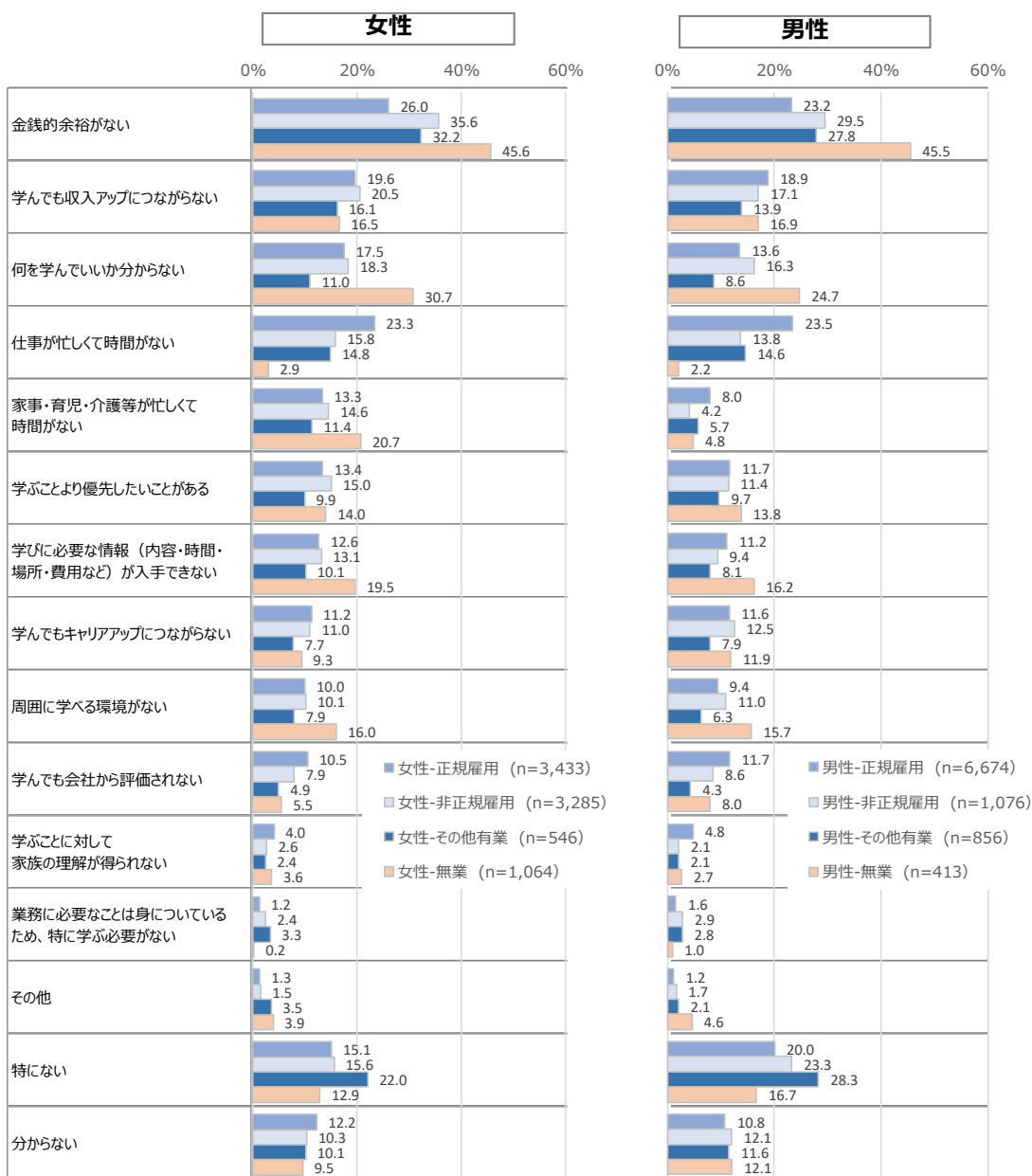
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(11) 仕事や職業キャリアに関する学びの障壁（複数回答・Q44）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q44.あなたが、仕事や職業キャリアに関して学ぼうとする上で、どのような課題や困りごとがありますか。

- 就業状態・雇用形態別にみると、女性は全ての就業状態・雇用形態で「金銭的余裕がない」が最も高く、正規雇用では「仕事が忙しくて時間がない」、非正規雇用では「学んでも収入アップにつながらない」、その他有業では「特にない」、無業では「何を学んでいいかわからない」が続く。
- 男性は、正規雇用は「仕事が忙しくて時間がない」が最も高く、非正規雇用は「金銭的余裕がない」が最も高い。その他有業は「特にない」、無業は「金銭的余裕がない」が最も高い。
- 男女差が最も大きい「家事・育児・介護等が忙しくて時間がない」をみると、無業で最も差が大きく、女性の方が15.9%ポイント高い。



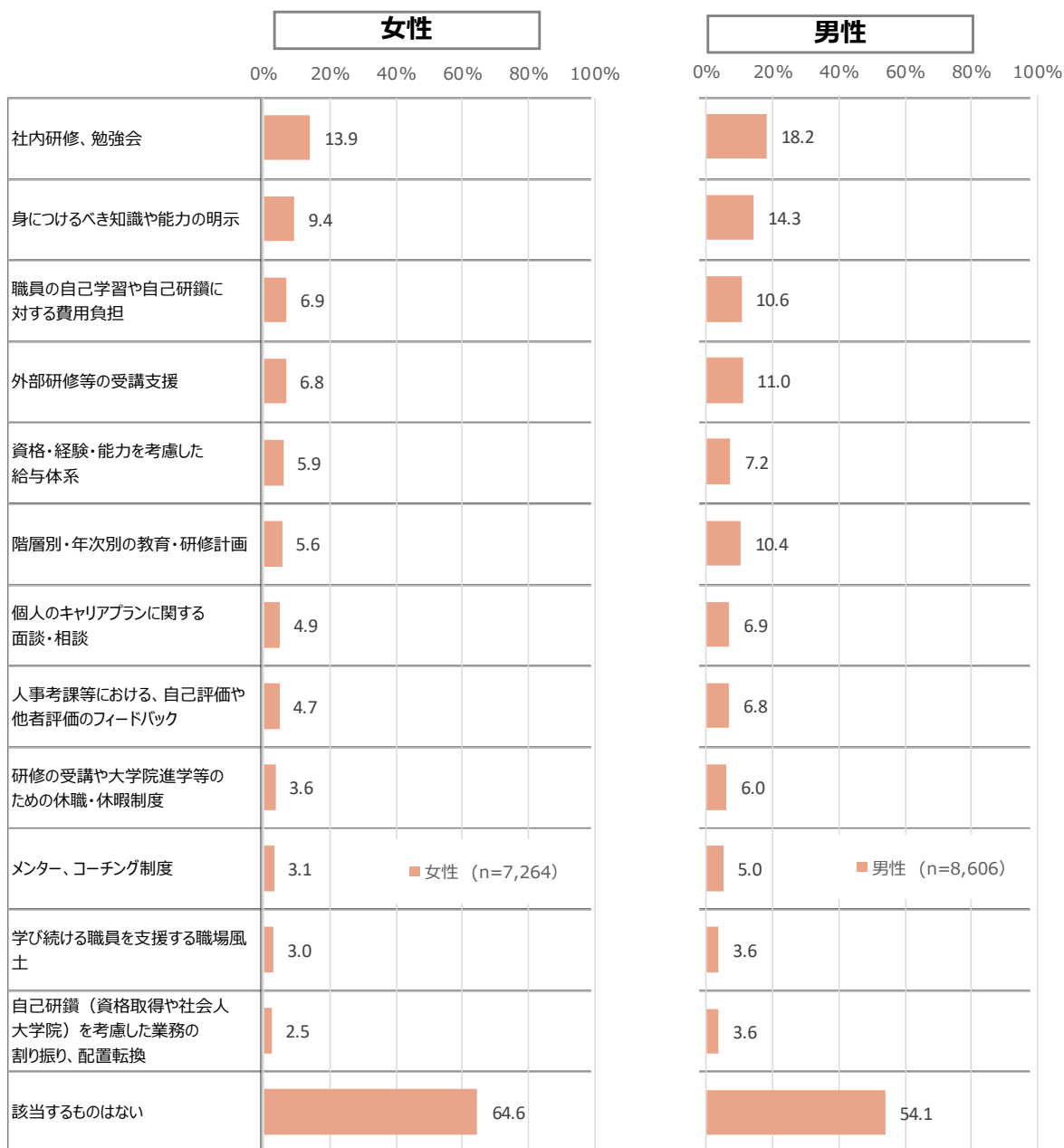
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(12) 就業先で行われている学びに関する取組や支援（複数回答・Q45）

【対象】有業者

Q45.あなたの現在の就業先では、次のような取組や支援がありますか。

- ・性別にみると、男女ともに「社内研修・勉強会」が最も高く、女性13.9%、男性18.2%。次いで、「身につけるべき知識や能力の明示」が女性9.4%、男性14.3%。
- ・男女差が最も大きい項目は「身につけるべき知識や能力の明示」で、男性の方が4.9%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(12) 就業先で行われている学びに関する取組や支援（複数回答・Q45）

【対象】有業者

Q45.あなたの現在の就業先では、次のような取組や支援がありますか。

- ・ 性年代別にみると、男女ともに全年代で「社内研修、勉強会」が最も高く、女性は次いで20代は「職員の自己学習や自己研鑽に対する費用負担」、30代から60代は「身につけるべき知識や能力の明示」が続く。男性は全年代で「身につけるべき知識や能力の明示」が続く。
- ・ 男女差が最も大きい「身につけるべき知識や能力の明示」をみると、30代で最も差が大きく、男性の方が6.3%ポイント高い。



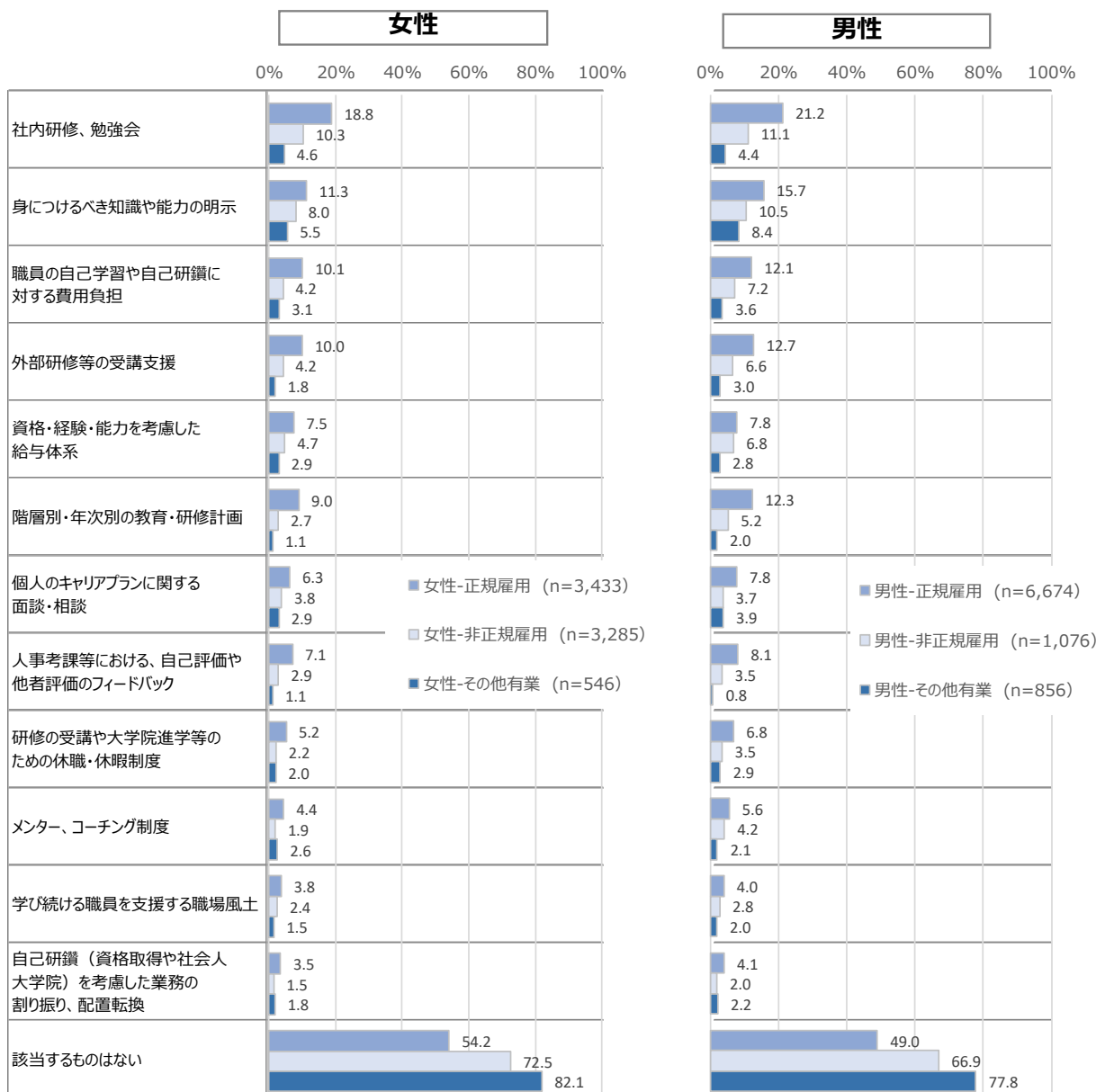
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(12) 就業先で行われている学びに関する取組や支援（複数回答・Q45）

【対象】有業者

Q45.あなたの現在の就業先では、次のような取組や支援がありますか。

- 就業状態・雇用形態別にみると、男女とも正規雇用、非正規雇用は「社内研修、勉強会」が最も高く、次いで「身につけるべき知識や能力の暗示」。その他有業は「身につけるべき知識や能力の暗示」が最も高く、次いで「社内研修、勉強会」。
- 男女差が最も大きい「身につけるべき知識や能力の暗示」をみると、正規雇用で最も差が大きく、男性の方が4.4%ポイント高い。



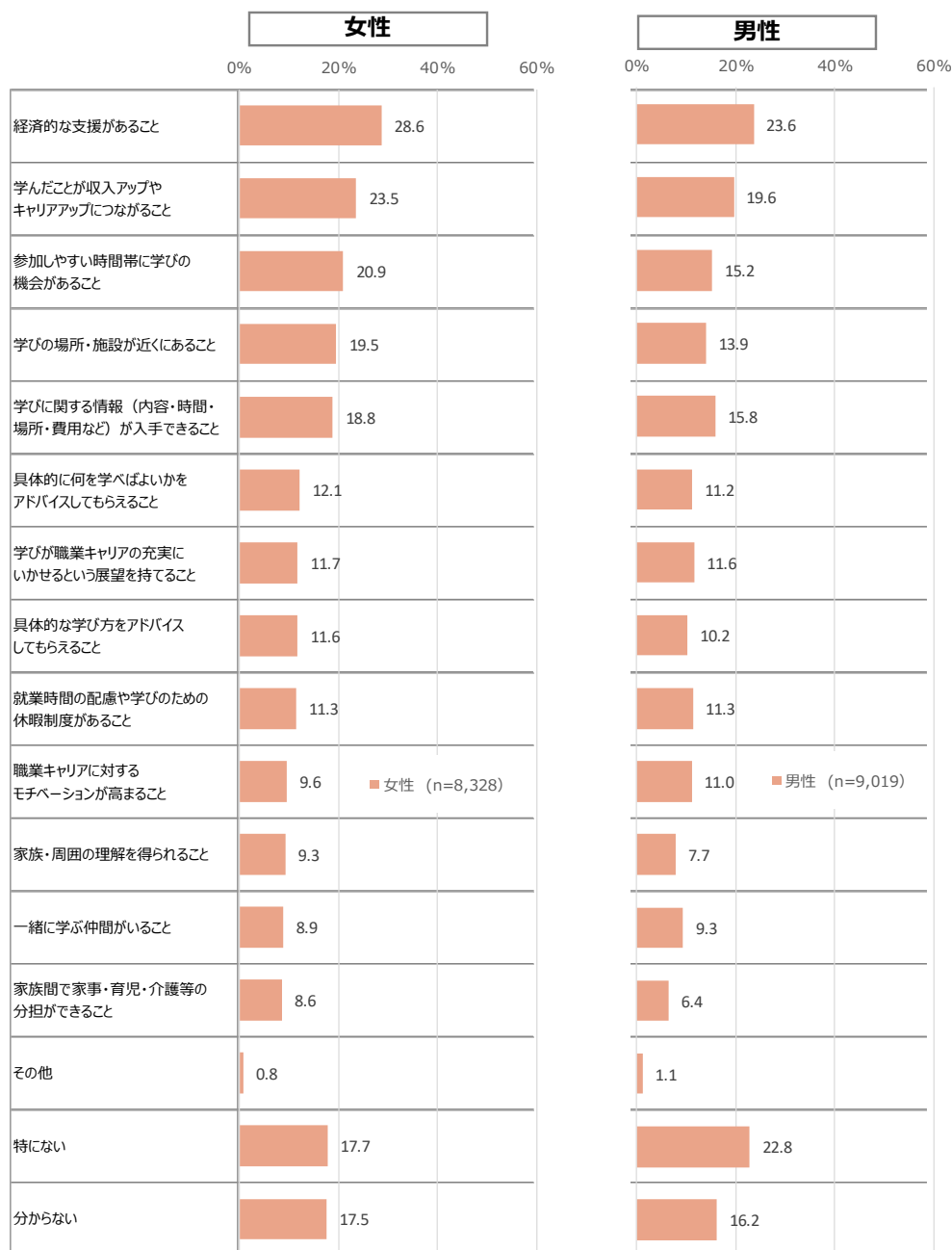
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(13) 仕事や職業キャリアに関する学びの充実のために必要なこと（複数回答・Q46）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q46.あなたは、仕事や職業キャリアのための学び（職場で提供される研修等の機会を除く）を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。

- 性別にみると、男女ともに「経済的な支援があること」が最も高く、女性28.6%、男性23.6%。次いで、「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が女性23.5%、男性19.6%。
- 男女差が最も大きい項目は「参加しやすい時間帯に学びの機会があること」で、女性が20.9%、男性15.2%と、女性の方が5.7%ポイント高い。



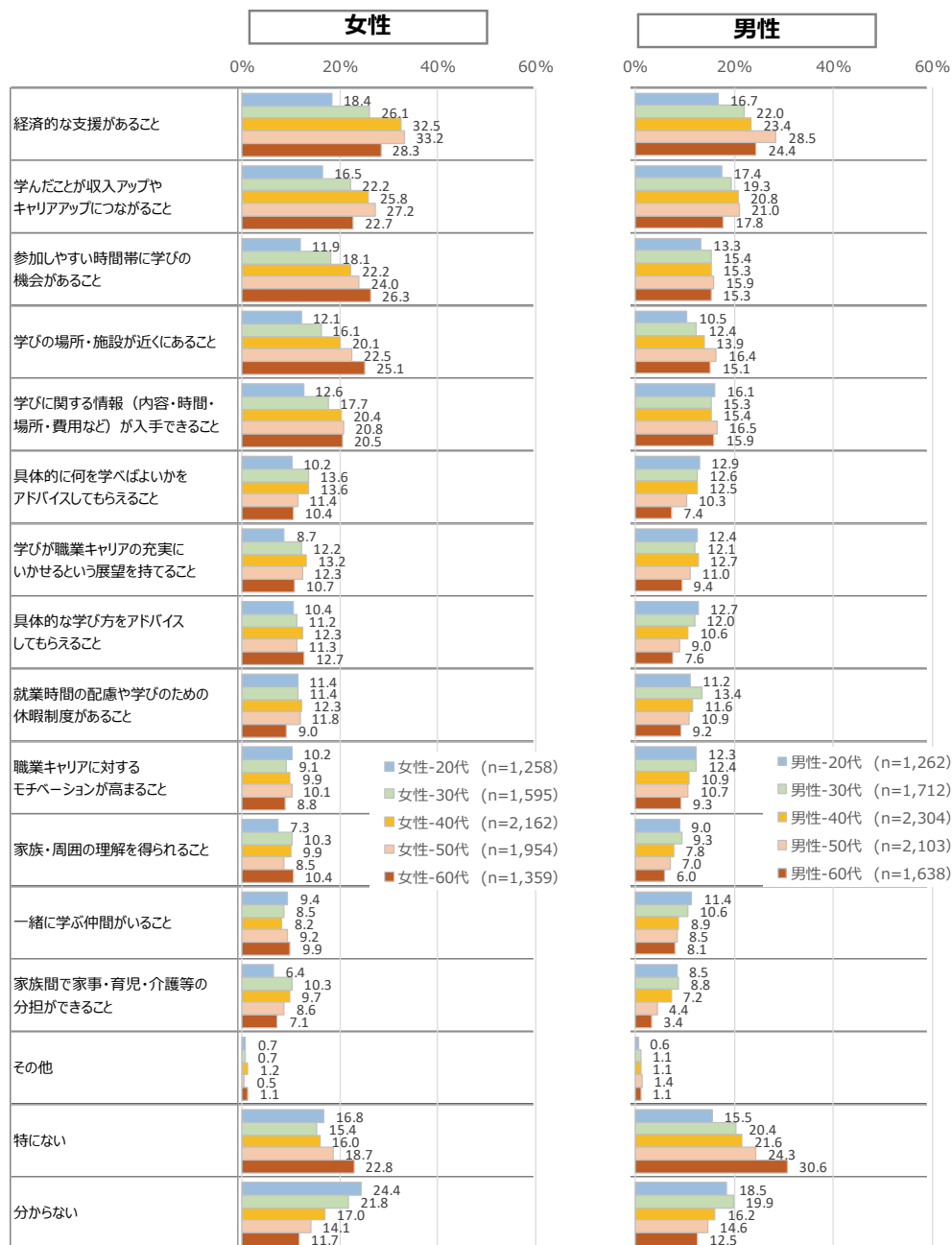
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(13) 仕事や職業キャリアに関する学びの充実のために必要なこと（複数回答・Q46）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q46.あなたは、仕事や職業キャリアのための学び（職場で提供される研修等の機会を除く）を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。

- 性年代別にみると、女性は全年代で「経済的な支援があること」が最も高く、20代から50代は「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」、60代は「参加しやすい時間帯に学びの機会があること」が続く。男性は20代で「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が最も高く、次いで「経済的な支援があること」。30代から60代は「経済的な支援があること」が最も高く、次いで「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」。
- 男女差が最も大きい「参加しやすい時間帯に学びの機会があること」をみると、60代で最も差が大きく、女性の方が11.0%ポイント高い。



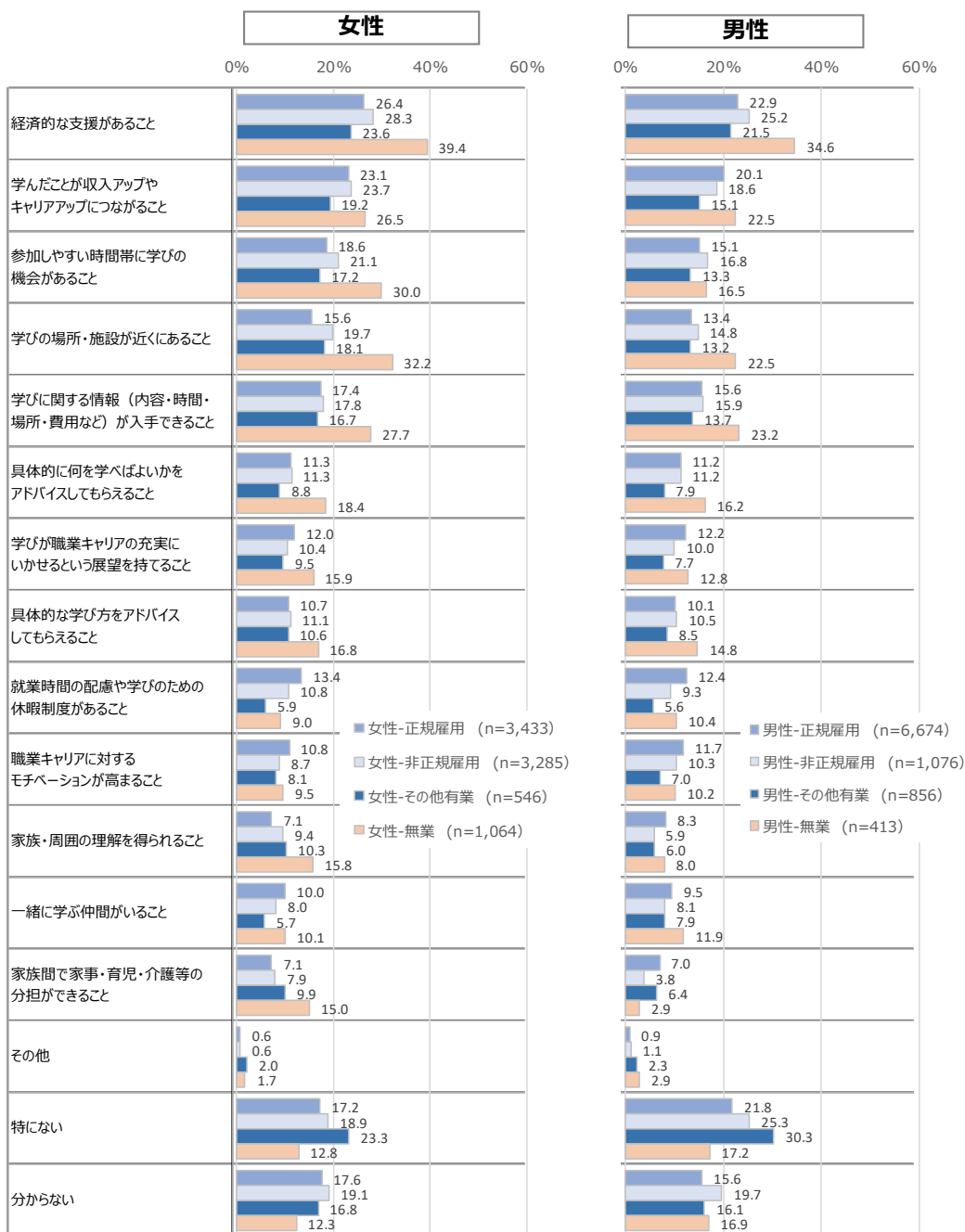
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(13) 仕事や職業キャリアに関する学びの充実のために必要なこと（複数回答・Q46）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q46.あなたは、仕事や職業キャリアのための学び（職場で提供される研修等の機会を除く）を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。

- 就業状態・雇用形態別にみると、男女ともに全ての就業状態・雇用形態で「経済的な支援があること」が最も高く、正規雇用、非正規雇用、その他有業は次いで「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」。無業では、女性は「学びの場所・施設が近くにあること」、男性は「学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できること」が続く。
- 男女差が最も大きい「参加しやすい時間帯に学びの機会があること」をみると、無業で最も差が大きく、女性の方が13.5%ポイント高い。



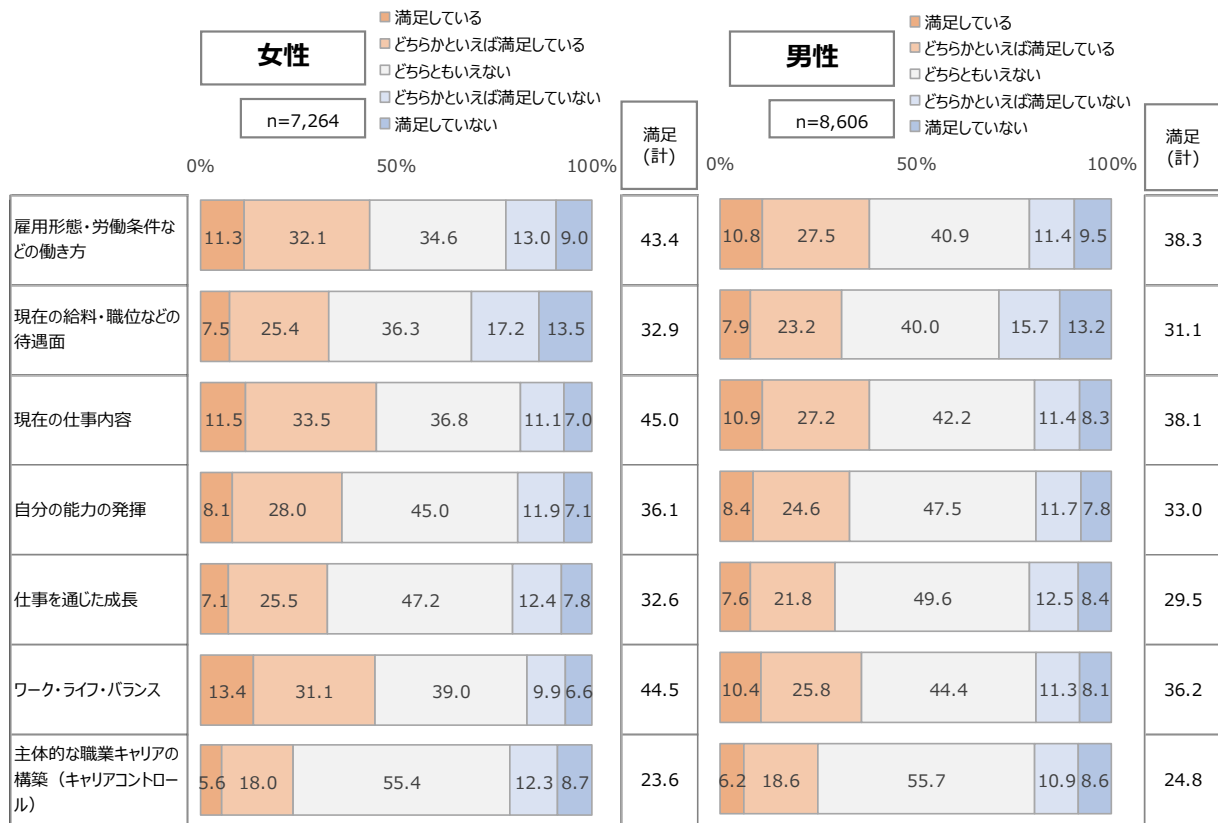
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(14) 仕事やキャリアへの満足度 (単数回答・Q47)

【対象】有業者

Q47.あなたは、現在の仕事や働き方、職業キャリアについて、満足していますか。

- 性別に「満足（計）」をみると、女性は「現在の仕事内容」が45.0%と最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランス」が44.5%。
- 男性は「雇用形態・労働条件などの働き方」が38.3%と最も高く、次いで「現在の仕事内容」が38.1%。
- 男女差が最も大きい項目は「ワーク・ライフ・バランス」で、女性44.5%、男性36.2%と、女性の方が8.3%ポイント高い。



※「満足（計）」＝「満足している」+「どちらかといえば満足している」で算出

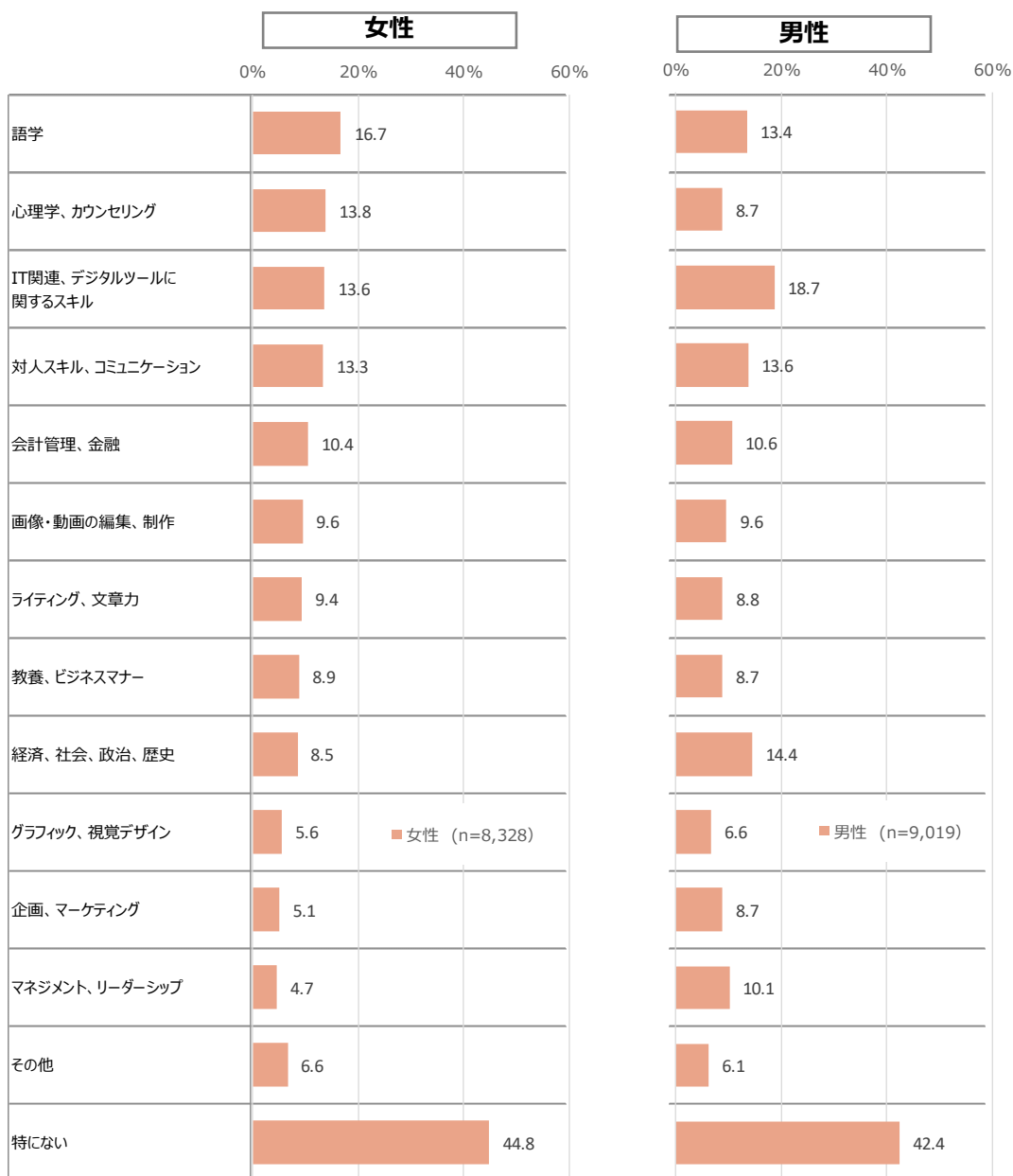
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(15) 仕事や職業キャリアに関して学びたい能力やスキル（複数回答・Q48）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q48.あなたが、仕事や職業キャリアに関して今後学びたい能力やスキルはどのようなことですか。

- 性別にみると、男女とも6割近くが何かしら学びたい能力やスキルがあることがうかがえる。
- 女性は「語学」が16.7%と最も高く、次いで、「心理学、カウンセリング」13.8%。男性は「IT関連、デジタルツールに関するスキル」が18.7%と最も高く、次いで、「経済、社会、政治、歴史」14.4%。
- 男女差が最も大きい項目は「経済、社会、政治、歴史」で、女性8.5%、男性14.4%と、男性の方が5.9%ポイント高い。



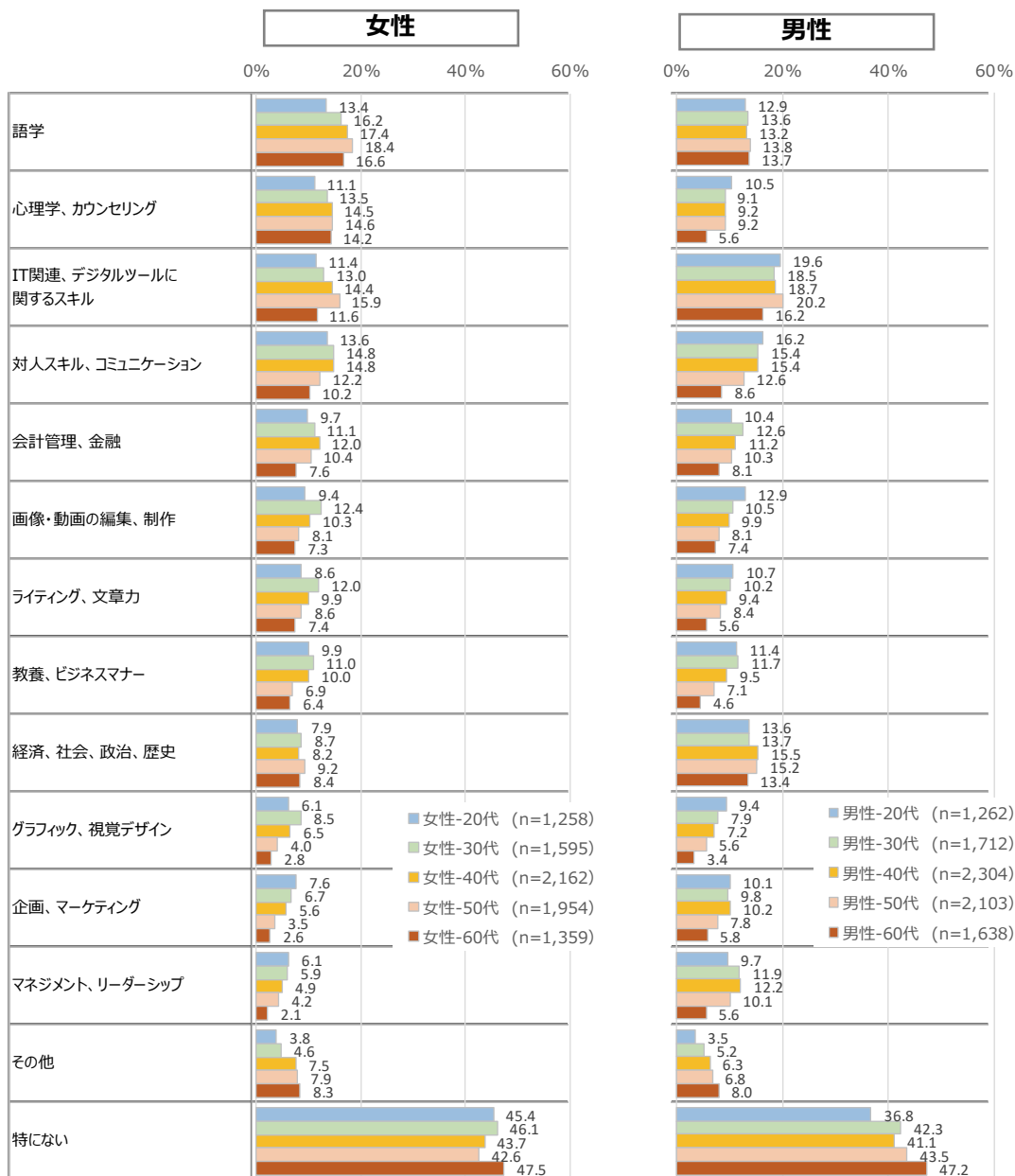
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(15) 仕事や職業キャリアに関して学びたい能力やスキル（複数回答・Q48）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q48.あなたが、仕事や職業キャリアに関して今後学びたい能力やスキルはどのようなことですか。

- 性年代別にみると、女性は20代は「対人スキル、コミュニケーション」、30代から60代は「語学」が最も高い。次いで、20代は「語学」、30代及び40代は「対人スキル、コミュニケーション」、50代は「IT関連、デジタルツールに関するスキル」、60代は「心理学、カウンセリング」。
- 男性は全年代で「IT関連、デジタルツールに関するスキル」が最も高く、次いで20代及び30代は「対人スキル、コミュニケーション」、40代及び50代では、「経済、社会、政治、歴史」、60代は「語学」。
- 男女差が最も大きい「経済、社会、政治、歴史」をみると、40代で最も差が大きく、男性の方が7.3%ポイント高い。



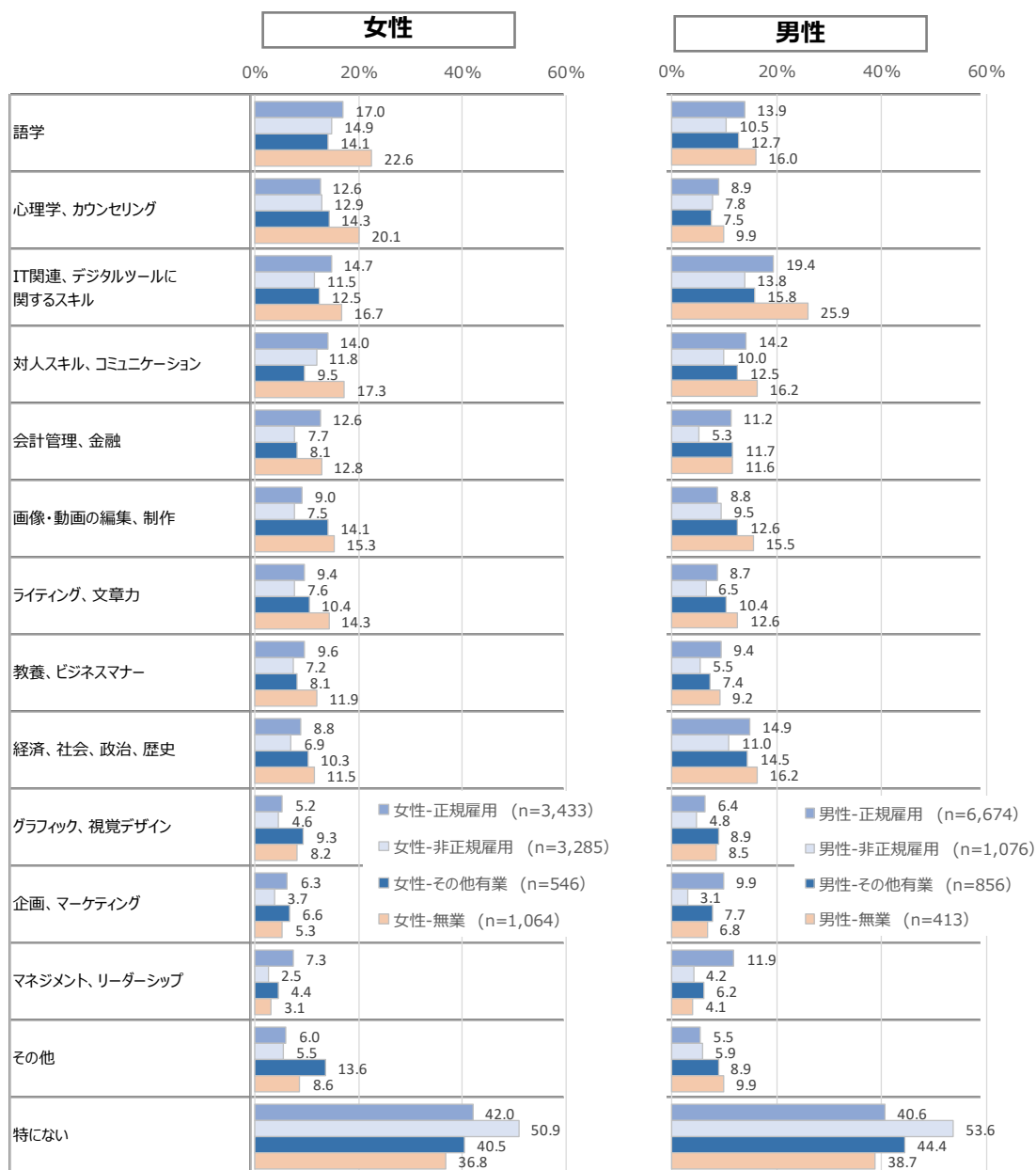
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(15) 仕事や職業キャリアに関して学びたい能力やスキル（複数回答・Q48）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q48.あなたが、仕事や職業キャリアに関して今後学びたい能力やスキルはどのようなことですか。

- 就業状態・雇用形態別にみると、女性は正規雇用、非正規雇用、無業で「語学」が最も高く、その他有業では「心理学、カウンセリング」が最も高い。男性は全ての就業状態・雇用形態で「IT関連、デジタルツールに関するスキル」が最も高く、無業では25.9%と特に高い。
- 男女差が最も大きい「経済、社会、政治、歴史」をみると、正規雇用で最も差が大きく、男性の方が6.1%ポイント高い。



4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識【追加分析】

(1) 仕事や職業キャリアに関する学びへの意欲（単数回答・Q22 i）

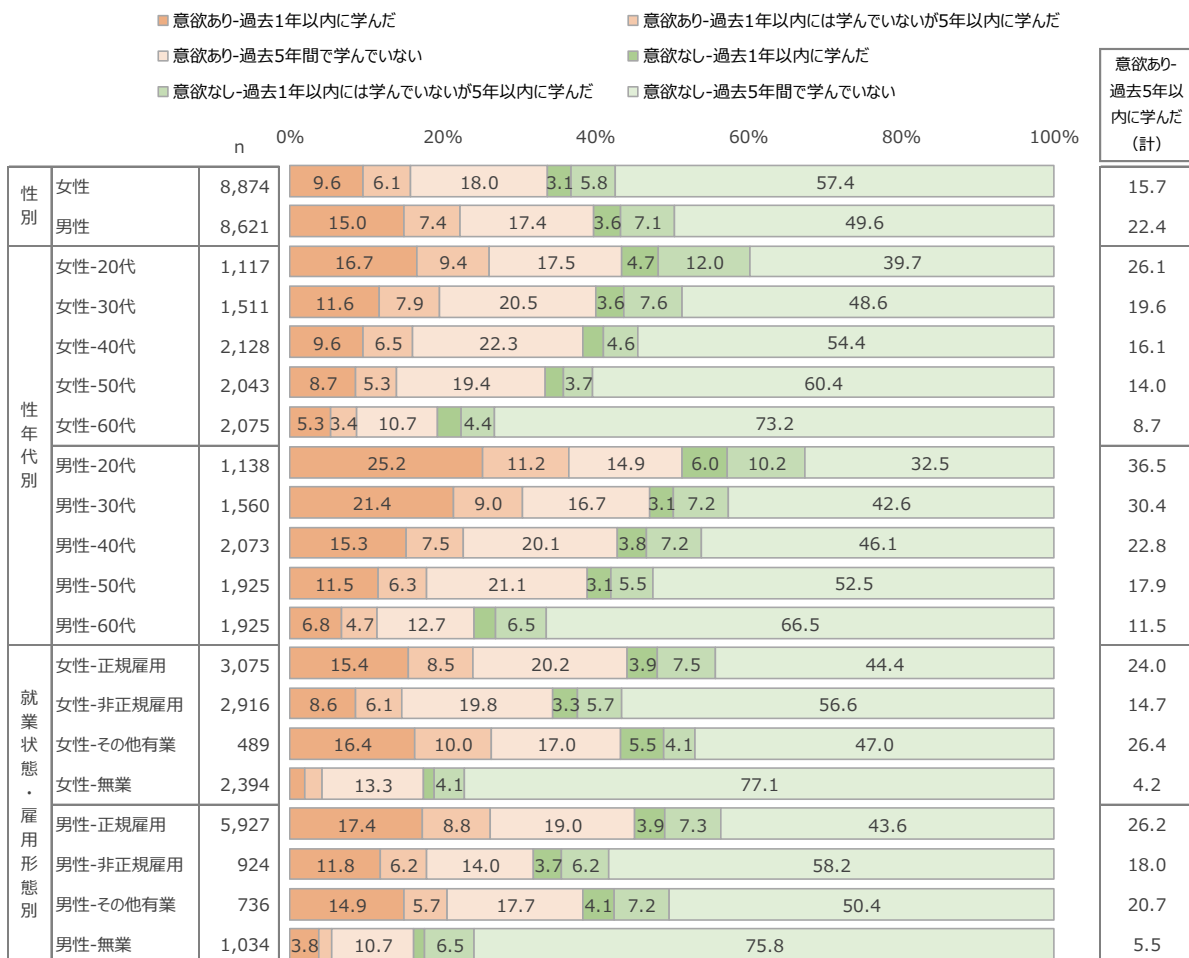
×仕事や職業キャリアに関する学びの経験（単数回答・Q23 i）

【対象】全員

Q22.あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 仕事や職業キャリアに関する学びについて、意欲があり過去5年以内に学んだ割合を性別にみると、女性は15.7%、男性は22.4%と、男性の方が6.7%ポイント高い。
- 「意欲なし-過去5年間で学んでいない」で男女差が最も大きく、女性の方が7.8%ポイント高い。
- 意欲があり過去5年以内に学んだ割合を性年代別にみると、男女とも若い年代ほど高く、20代では女性26.1%、男性36.5%。
- 就業状態・雇用形態別にみると、女性はその他有業が最も高く26.4%、男性は正規雇用が最も高く26.2%。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

※「意欲あり-過去5年以内に学んだ (計)」=「意欲あり-過去1年以内に学んだ」+「意欲あり-過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ」で算出

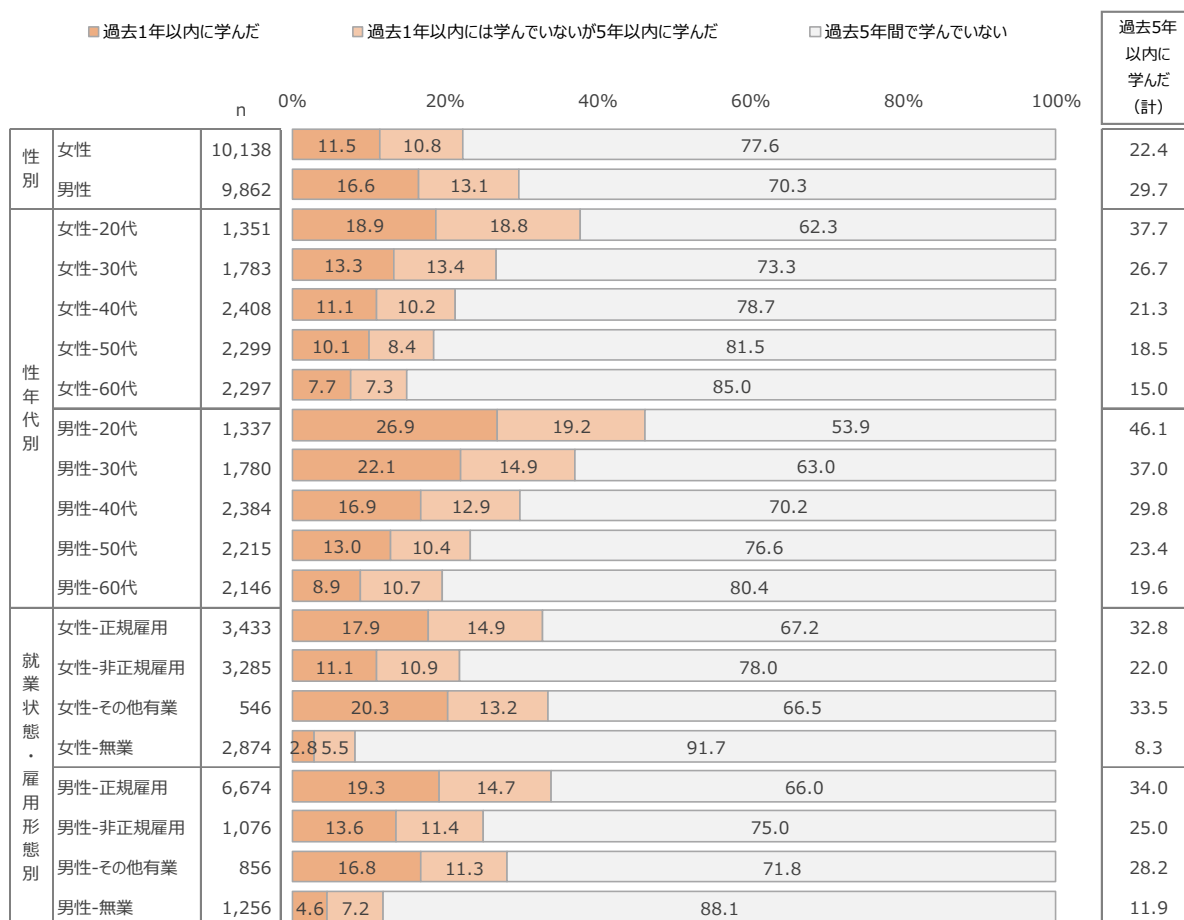
4. 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識【追加分析】

(2) 仕事や職業キャリア（転職・セカンドキャリア等を含む）に関する学びの経験 (単数回答・Q23 i)

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

- 仕事や職業キャリアに関する学びについて、性別に「過去5年以内に学んだ（計）」をみると、女性は22.4%、男性は29.7%と、男性の方が7.3%ポイント高い。
- 性年代別に「過去5年以内に学んだ（計）」をみると、男女とも若い年代ほど高く、20代では、女性37.7%、男性46.1%。
- いずれの年代でも女性よりも男性の方が高いが、男女差が最も大きい年代は30代で、男性の方が10.3%ポイント高い。
- 就業状態・雇用形態別に「過去5年以内に学んだ（計）」をみると、女性はその他有業が33.5%、正規雇用が32.8%と高い。男性は正規雇用が34.0%と高い。



※「過去5年以内に学んだ（計）」＝「過去1年以内に学んだ」＋「過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ」で算出

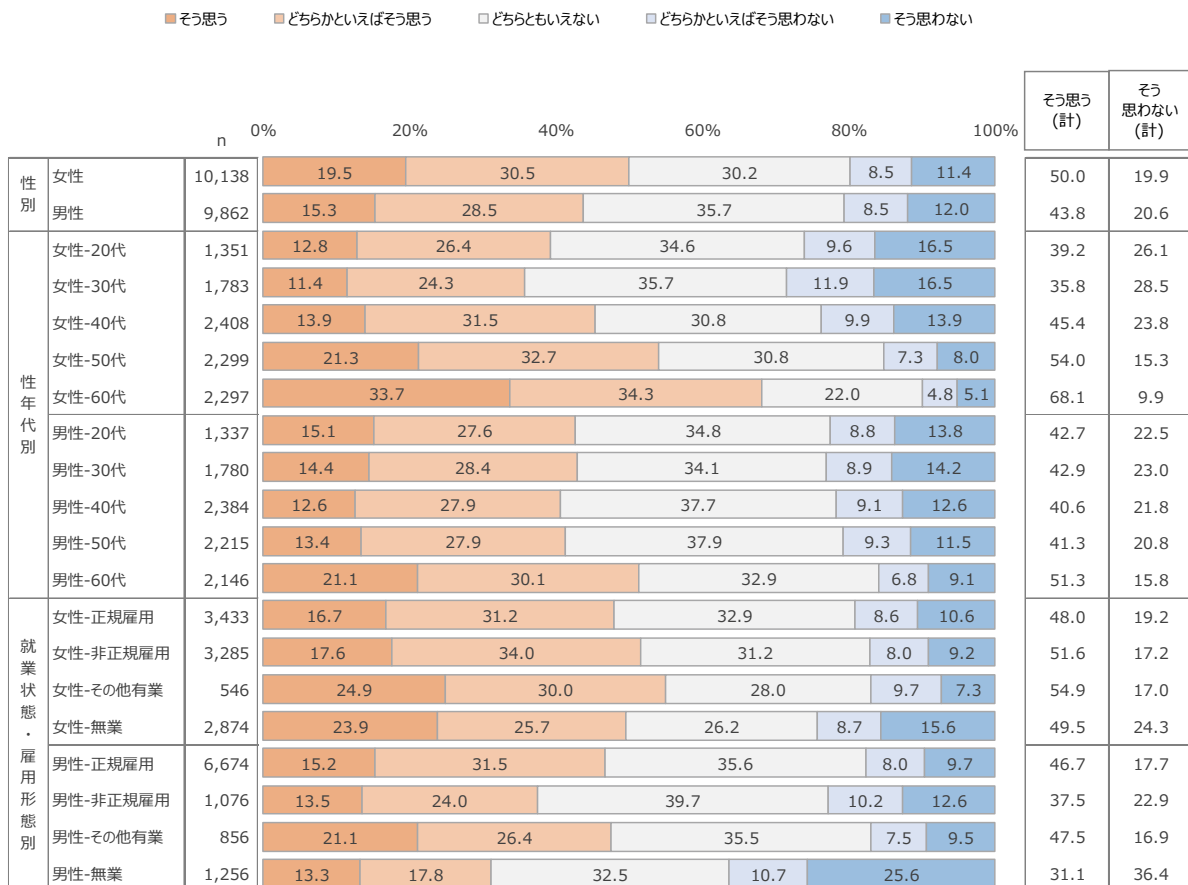
5. 役割や居場所に対する意識

(1) 現在の自分の役割や居場所に対する意識（単数回答・Q49）

【対象】全員

Q49.現在、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所があると感じていますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 性別に「そう思う（計）」をみると、女性50.0%、男性43.8%と、女性の方が6.2%ポイント高い。
- 性年代別にみると、「そう思う（計）」は、男女ともに60代が最も高く、女性では30代、男性では40代が最も低い。男女差をみると、60代で最も差が大きく、女性68.1%、男性51.3%と、女性の方が16.8%ポイント高い。次いで、50代も女性の方が12.7%ポイント高い。一方、「そう思わない（計）」は、30代女性が28.5%で最も高い。
- 就業状態・雇用形態別にみると、「そう思う（計）」は、男女ともにその他有業が最も高く、女性54.9%、男性47.5%と、女性の方が7.4%ポイント高い。また、「そう思わない（計）」は男性の無業で36.4%と最も高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識

(1) 学びの経験 (単数回答・Q23 i ~vi 計)

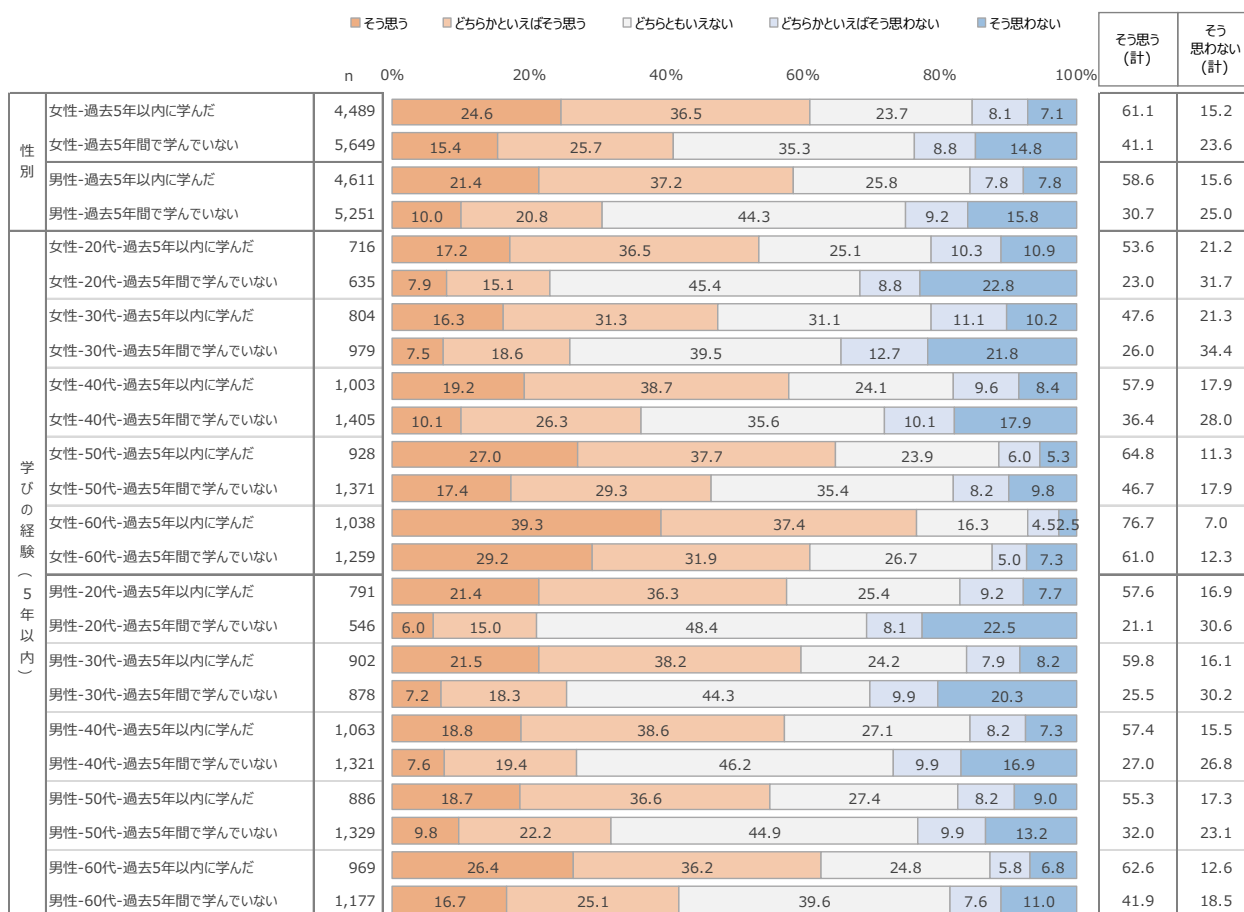
×現在の自分の役割や居場所に対する意識 (単数回答・Q49)

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q49.現在、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所があると感じていますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 学びの経験別にみると、男女ともに、過去5年以内に学びの経験がある方が「そう思う（計）」の割合が高い。特に男性では、学んだ層は58.6%、学んでいない層は30.7%と、27.9%ポイント高い。
- 年代、学びの経験別にみると、全ての性年代で、過去5年以内に学びの経験がある方が「そう思う（計）」の割合が高い。特に20代から40代の男性と20代の女性では、学びの経験がない人の2倍以上。
- 過去5年以内に学びの経験のある人を性年代別にみると、「そう思う（計）」は男女ともに60代で最も高いが、女性76.7%、男性62.6%と、女性の方が14.1%ポイント高い。



※分析軸について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工
 過去5年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」又は「過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ」を選択
 過去5年間で学んでいない : 全ての項目で「過去5年間で学んでいない」を選択

※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識

(1) 学びの経験 (マトリクス項目・単数回答・Q23 i ~ vi 計)

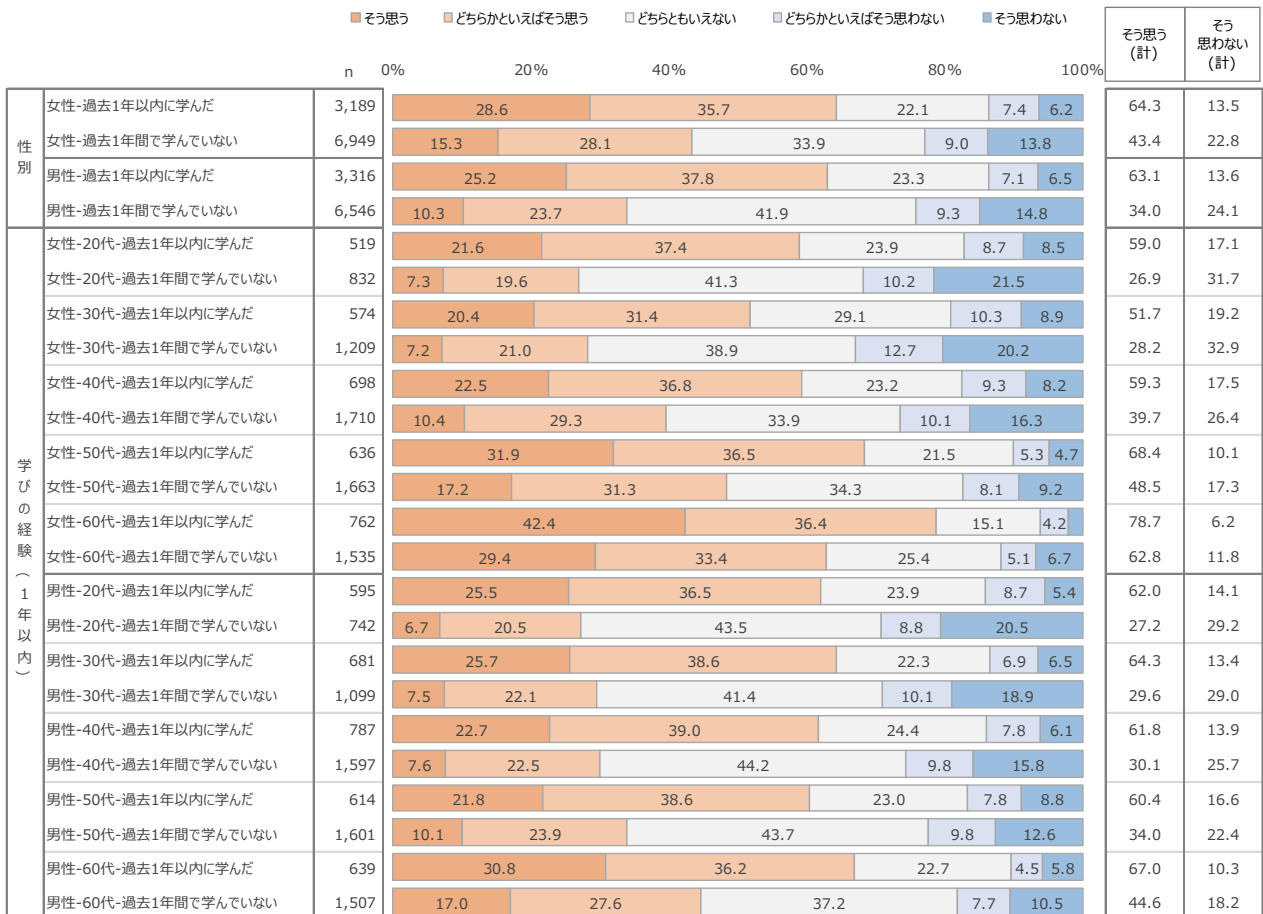
×現在の自分の役割や居場所に対する意識 (単数回答・Q49)

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q49.現在、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所があると感じていますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 学びの経験別にみると、男女ともに、過去1年以内に学びの経験がある方が「そう思う（計）」の割合が高く、過去1年間で学んでいない方はその割合が低い。特に男性では、過去1年以内に学んだ層は63.1%、過去1年間で学んでいない層は34.0%と、29.1%ポイント高い。
- 年代、学びの経験別にみると、全ての性年代で、過去1年以内に学びの経験がある方が「そう思う（計）」の割合が高い。特に20代は男女ともに、学びの経験がない人との差が大きく、男性は34.8%ポイント高い。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

※分析軸について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工

過去1年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」を選択

過去1年間で学んでいない : 全ての項目で「過去1年以内に学んだ」を選択していない

※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」で算出

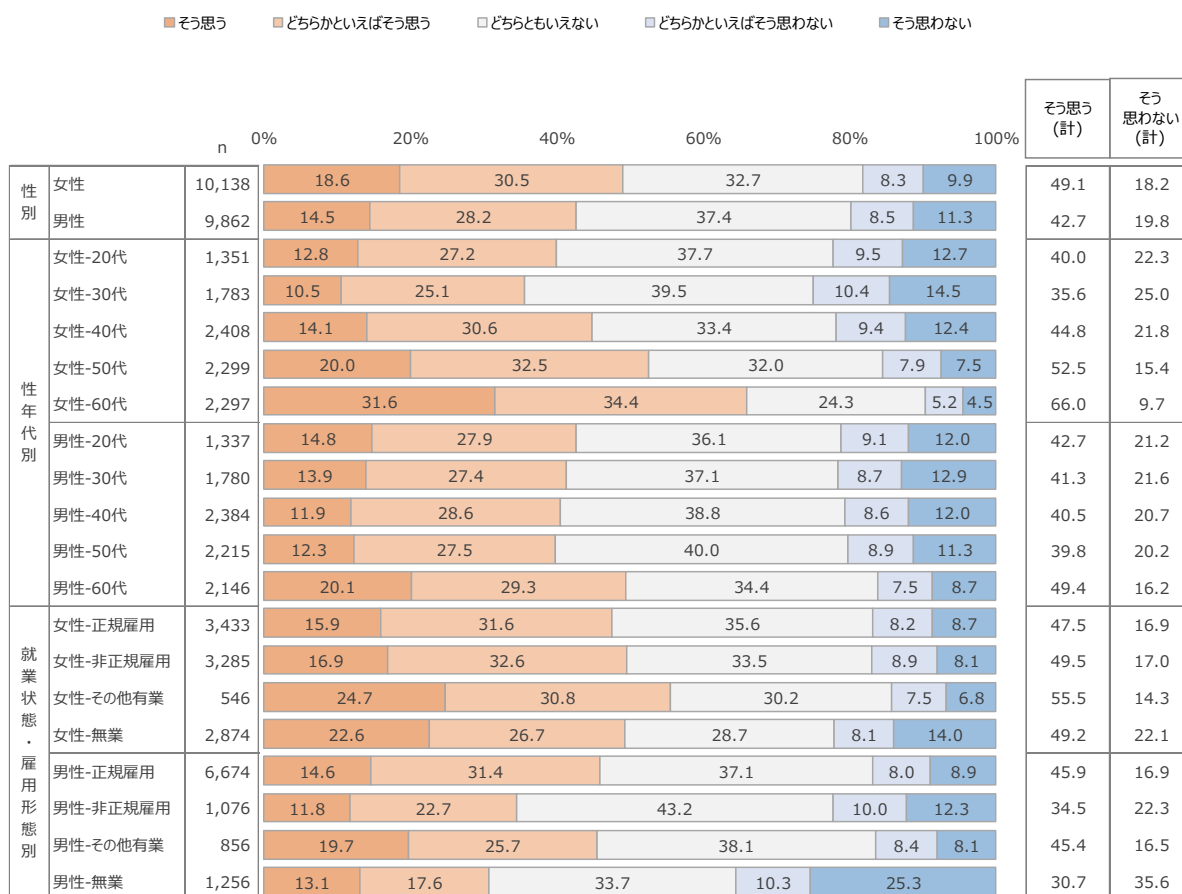
5. 役割や居場所に対する意識

(2) 将来の自分の役割や居場所に対する意識（単数回答・Q50）

【対象】全員

Q50.5年後、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所を持っていると思いますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 性別にみると、「そう思う（計）」は、女性49.1%、男性42.7%と、女性の方が6.4%ポイント高い。
- 性年代別にみると、「そう思う（計）」は男女ともに60代が最も高く、女性66.0%、男性49.4%と、女性の方が16.6%ポイント高い。一方、「そう思わない（計）」は、30代女性が25.0%で最も高い。
- 就業状態・雇用形態別にみると、「そう思う（計）」は女性はその他有業が55.5%と最も高く、男性は正規雇用が45.9%と最も高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識

(2) 学びの経験 (マトリックス項目・単数回答・Q23 i ~vi 計)

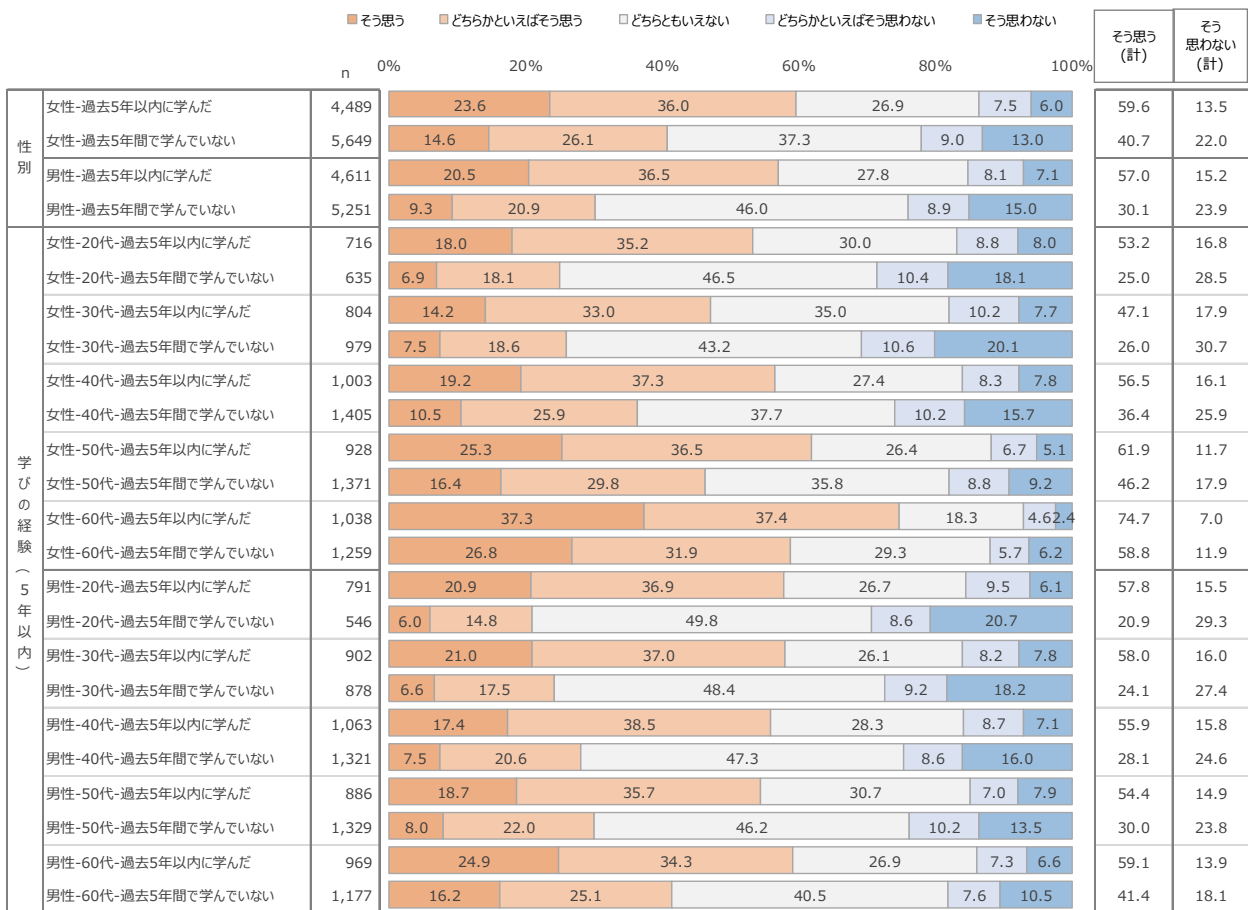
× 将来の自分の役割や居場所に対する意識 (単数回答・Q50)

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日(1回)以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q50.5年後、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所を持っていると思いますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 学びの経験別にみると、男女ともに、過去5年以内に学びの経験がある方が「そう思う(計)」の割合が高い。特に男性では、学んだ層は57.0%、学んでいない層は30.1%と、26.9%ポイント高い。
- 年代、学びの経験別にみると、全ての性年代で、過去5年以内に学びの経験がある方が「そう思う(計)」の割合が高い。特に20代及び30代の男性と、20代の女性では、学びの経験がない人の2倍以上。
- 過去5年以内に学びの経験のある人を性年代別にみると、「そう思う(計)」は男女ともに60代で最も高いが、女性74.7%、男性59.1%と、女性の方が15.6%ポイント高い。



※分析軸について Q23の6項目(「仕事や職業キャリアに関すること」~「その他」)の回答により、以下のように選択肢を加工
 過去5年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」又は「過去1年以内に学んでいないが5年以内に学んだ」を選択
 過去5年間で学んでいない : 全ての項目で「過去5年間で学んでいない」を選択

※「そう思う(計)」=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない(計)」=「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識

(2) 学びの経験 (マトリックス項目・単数回答・Q23 i ~vi 計)

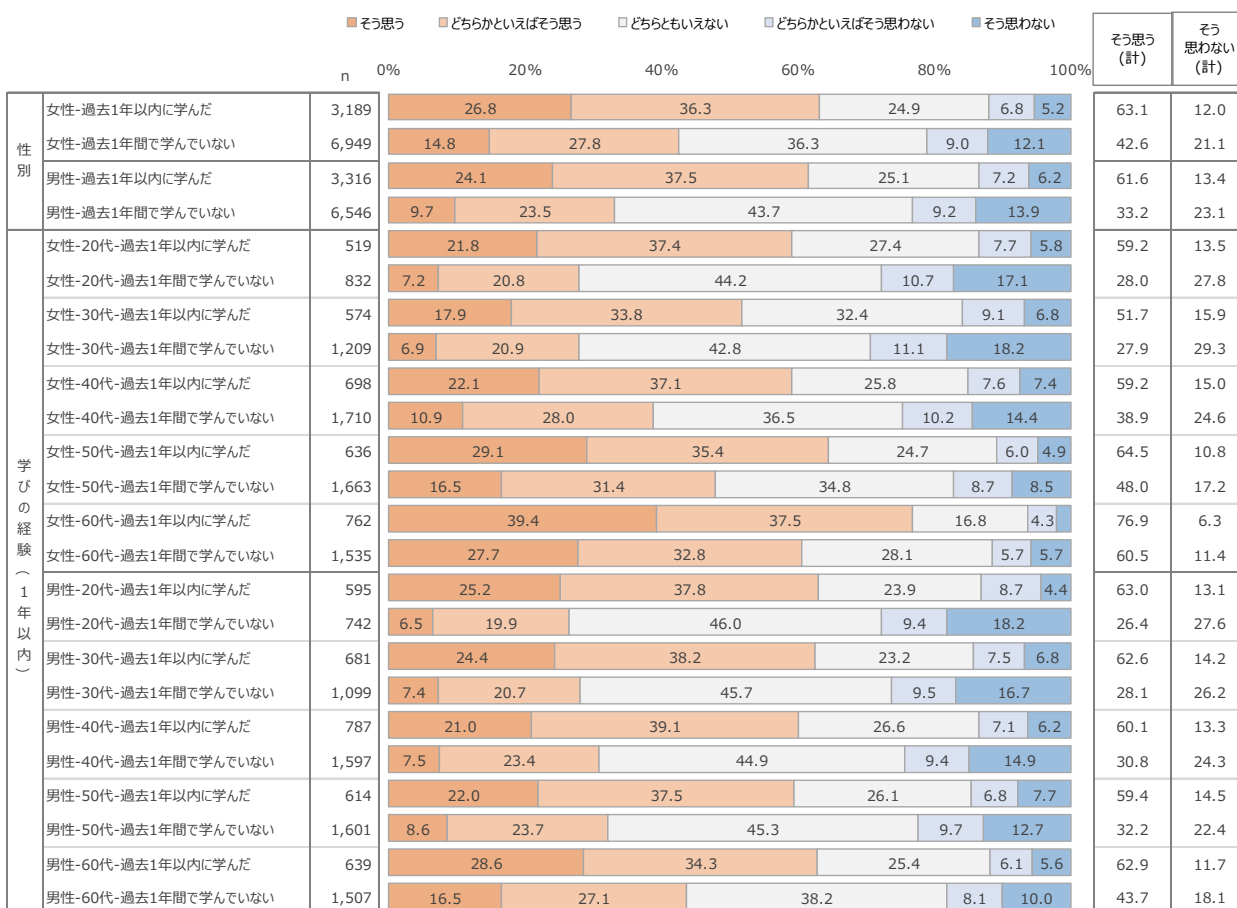
×将来の自分の役割や居場所に対する意識 (単数回答・Q50)

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q50.5年後、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所を持っていると思いますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 学びの経験別にみると、男女ともに、過去1年以内に学びの経験がある方が「そう思う（計）」の割合が高く、過去1年間で学んでいない方はその割合が低い。特に男性では、1年以内に学んだ層は61.6%、過去1年間で学んでいない層は33.2%と、28.4%ポイント高い。
- 年代、学びの経験別にみると、全ての性年代で、過去1年以内に学びの経験がある方が「そう思う（計）」の割合が高い。特に20代は男女ともに、学びの経験がない人との差が大きく、女性は31.2%ポイント、男性は36.6%ポイント高い。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

※分析軸について Q23の6項目（「仕事や職業キャリアに関すること」～「その他」）の回答により、以下のように選択肢を加工

過去1年以内に学んだ : 1つ以上の項目で「過去1年以内に学んだ」を選択

過去1年間で学んでいない : 全ての項目で「過去1年以内に学んだ」を選択していない

※「そう思う（計）」＝「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識【追加分析】

(1) 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態（複数回答・Q24）

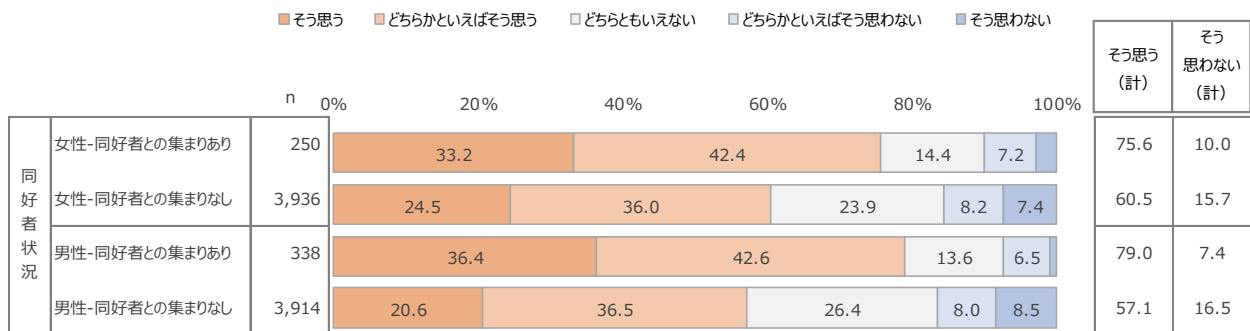
×現在の自分の役割や居場所に対する意識（単数回答・Q49）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q24.どのように学びましたか。有料・無料を問わず、お答えください。

Q49.現在、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所があると感じていますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態別に現在の自分の役割や居場所について、性別に「そう思う（計）」をみると、男女とも「同好者との集まりあり」の方が高く、「同好者との集まりなし」に比べて女性は15.1%ポイント、男性は21.9%ポイント高い。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

※分析軸について

Q24「仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態」の回答により、以下のように分析軸を加工

同好者との集まりあり：選択肢5「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択した

同好者との集まりなし：選択肢5「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択していない

※「そう思う（計）」＝「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」、 「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識【追加分析】

(2) 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態（複数回答・Q24）

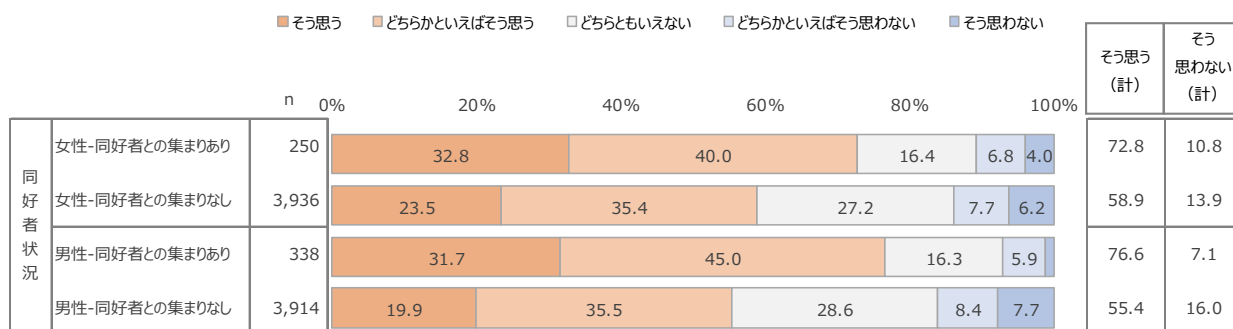
×将来の自分の役割や居場所に対する意識（単数回答・Q50）

【対象】Q23 ii～viのうち1項目以上を過去5年以内に学んだ人

Q24.どのように学びましたか。有料・無料を問わず、お答えください。

Q50.5年後、あなたは普通の暮らしの中で、自分の役割や居場所を持っていると思いますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態別に将来の自分の役割や居場所について、性別に「そう思う（計）」をみると、男女とも「同好者との集まりあり」の方が高く、「同好者との集まりなし」に比べて女性は13.9%ポイント、男性は21.2%ポイント高い。



※ 3%未満は、数値表示を省略しています。

※分析軸について

Q24「仕事や職業キャリア以外の学びの場所・形態」の回答により、以下のように分析軸を加工

同好者との集まりあり：選択肢5「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択した

同好者との集まりなし：選択肢5「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」を選択していない

※「そう思う（計）」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識【追加分析】

(3) 学びの経験（マトリックス項目・単数回答・Q23 i～vi計）

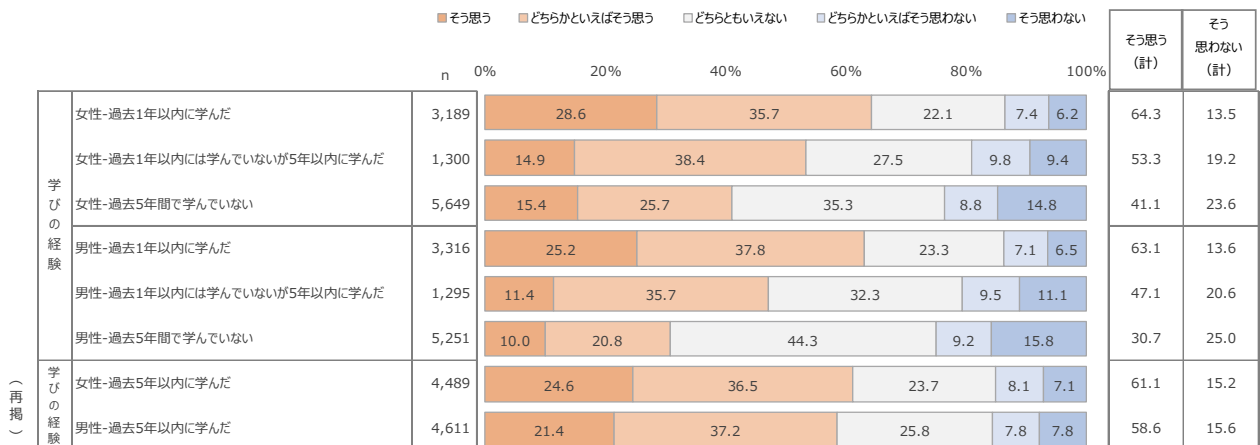
×現在の自分の役割や居場所に対する意識（単数回答・Q49）

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q49.現在、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所があると感じていますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 学びの経験の有無別に現在の自分の役割や居場所についてみると、「そう思う（計）」は、男女とも学んでいない人より学んだ人の方が高く、過去1年以内に学んだ女性は64.3%、男性は63.1%。特に男性は過去5年間で学んでいない人に比べ32.4%ポイント高く、過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ人と比べても16.0%ポイント高い。
- いずれも男性より女性の方が「そう思う（計）」が高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」で算出

5. 役割や居場所に対する意識【追加分析】

(4) 学びの経験（マトリクス項目・単数回答・Q23 i～vi計）

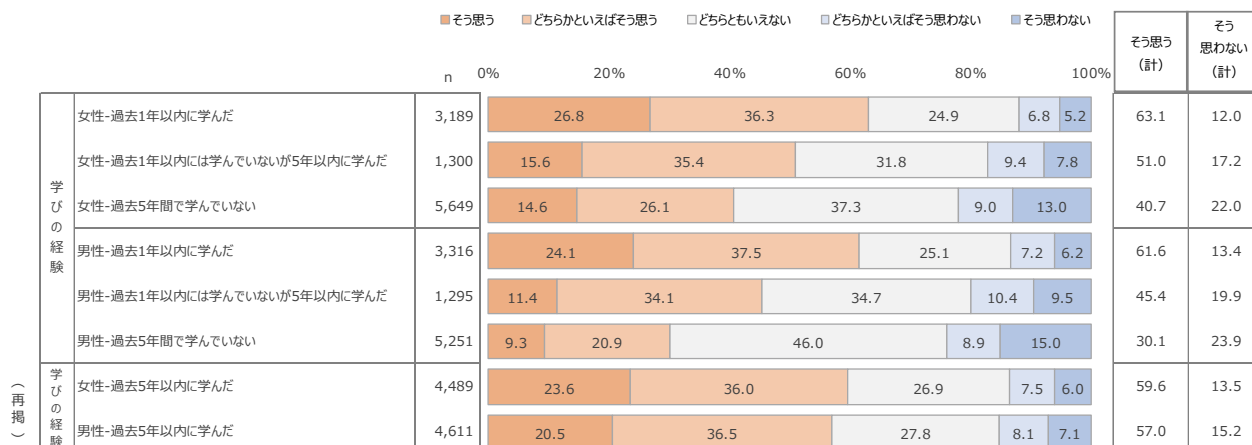
×将来の自分の役割や居場所に対する意識（単数回答・Q50）

【対象】全員

Q23.あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日（1回）以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。

Q50.5年後、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所を持っていると思いますか。あなたの気持ちを教えてください。

- 学びの経験の有無別に将来の自分の役割や居場所についてみると、「そう思う（計）」は、男女とも学んでいない人より学んだ人の方が高く、過去1年以内に学んだ女性は63.1%、男性は61.6%。特に男性は過去5年間で学んでいない人に比べ31.5%ポイント高く、過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ人と比べても16.2%ポイント高い。
- いずれも男性より女性の方が「そう思う（計）」が高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」で算出